# cisco.



### **Cisco DNA Center** リリース **1.3.3.0** 第2世代アプライアンス設置 ガイド

**初版**:2020年1月17日 最終更新:2020年2月5日

#### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー http://www.cisco.com/jp お問い合わせ先:シスココンタクトセンター 0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む) 電話受付時間:平日10:00~12:00、13:00~17:00 http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/ 【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意(www.cisco.com/jp/go/safety\_warning/)をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ド キュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更され ている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照くだ さい。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



第1章

 Cisco DNA Center アプライアンスのハードウェア仕様 1
 アプライアンスのハードウェア仕様 1

 前面パネルと背面パネル 5
 物理仕様 22

 環境仕様 23
 電力仕様 24

第2章 導入の計画 27

プランニング ワークフロー 27
Cisco DNA CenterおよびCisco Software-Defined Access 28
インターフェイスケーブル接続 28
必要な IP アドレスおよびサブネット 34
インターフェイス名とウィザードの設定順序 38
必要なインターネット URL と完全修飾ドメイン名 40
インターネットへのアクセスを保護する 42
必要なネットワークポート 42
必要なポートとプロトコル: Cisco Software-Defined Access 44
必須の設定情報 54
必要な初期設定情報 56

### 第3章 アプライアンスの設置 59

アプライアンスのインストール ワークフロー 59アプライアンスを開梱して点検 59インストール警告とガイドラインの確認 60

ラック要件の確認 62

アプライアンスの接続および電源投入 63

LED の確認 63

第 4 章 アプライアンスの設定準備 69

アプライアンス設定の準備の概要 69
Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化 70
事前設定チェックの実行 75
ネットワーク インターフェイス カードの無効化 78
アプライアンスのイメージの再作成 84
Cisco DNA Center ISO イメージの確認 85
ブート可能な USB ドライブの作成 86
Etcher の使用 86
Linux CLI の使用 87
Mac CLI の使用 88
Cisco DNA Center アプライアンスの仮想ドライブの再初期化 88
Cisco DNA Center ISO イメージのインストール 89
Cisco DNA Centerアプライアンスの設定 90

アプライアンスの設定の概要 91 Maglev ウィザードを使用したプライマリノードの設定 92 Maglev ウィザードを使用したアドオンノードの設定 112 最新の Cisco DNA Center リリースへのアップグレード 132

第6章 ブラウザベースのウィザードを使用した 44/56 コアアプライアンスの設定 133
 アプライアンスの設定の概要 133
 ブラウザベースのウィザードの前提条件 134
 ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノードの設定 134
 ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定 153
 Linux パスワードの生成 172

第5章

最新の Cisco DNA Center リリースへのアップグレード 173

 第7章 ブラウザベースのウィザードを使用した112コアアプライアンスの設定 175 アプライアンスの設定の概要 175 ブラウザベースのウィザードの前提条件 176 ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノードの設定 176 ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定 194 Linux パスワードの生成 211 最新の Cisco DNA Center リリースへのアップグレード 212

第8章 初期設定の完了 213

初期設定ワークフロー 213 互換性のあるブラウザ 213 初回ログイン 214 Cisco ISE と Cisco DNA Center の統合 216 グループベースのアクセスコントロール:ポリシーデータの移行と同期 220 認証サーバとポリシー サーバの設定 223 SNMP プロパティの設定 225

第9章

#### 展開のトラブルシューティング 227

トラブルシューティングタスク 227 ログアウト 227 設定ウィザードを使用したアプライアンスの再設定 228 アプライアンスの電源の入れ直し 230 Cisco IMC GUI を使用 230 SSH を使用 231

付録 A: ハイ アベイラビリティ クラスタの展開シナリオの確認 233 新しい HA の展開 233 標準インターフェイス設定を使用したプライマリノードの既存 HA の展開 234 非標準インターフェイス設定を使用したプライマリノードの既存 HA の展開 235 サービスの再配布 236

HAの展開に関する追加の考慮事項 236

テレメトリ 237

ワイヤレスコントローラ 237



# **Cisco DNA Center** アプライアンス機能の確 認

- •アプライアンスのハードウェア仕様 (1ページ)
- •前面パネルと背面パネル (5ページ)
- •物理仕様 (22ページ)
- •環境仕様 (23ページ)
- •電力仕様 (24ページ)

## アプライアンスのハードウェア仕様

シスコは、ラックマウント可能な物理アプライアンスの形で Cisco Digital Network Architecture (DNA) Center を提供しています。第2世代の Cisco DNA Center アプライアンスは、Cisco Unified Computing System (UCS) C220 M5 小型フォームファクタ (SFF) シャーシまたは Cisco UCS C480 M5 シャーシのいずれかで構成されています。両方とも1つの INTEL X710-DA2 ネッ トワーク インターフェイス カード (NIC) と1つの INTEL X710-DA4 NIC が追加されていま す。次に示す第2世代アプライアンスの6つのバージョンを使用できます。

- •44 コアアプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL
- •44 コア アップグレード アプライアンス: DN2-HW-APL-U
- •56 コアアプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-L
- ・56 コア アップグレード アプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-L-U
- ・112 コアアプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-XL
- •112 コア アップグレード アプライアンス: DN2-HW-APL-XL-U

次の表はアプライアンスのハードウェア仕様をまとめたものです。

#### 表 1:44 コア Cisco DNA Center アプライアンスのハードウェア仕様

機能	説明
シャーシ	1 ラックユニット(1RU)シャーシ
プロセッサ	22 コア Intel 6238 2.1 GHz プロセッサ X 2
メモリ	32 GB DDR4 2933 MHz の登録済み DIMM(RDIMM) X 8
ストレージ	• RAID 1 で 480 GB X 2
	• RAID 1 で 1.9 TB X 2
	• RAID 10 で 1.9 TB X 6
ディスク管理 (RAID)	• スロット1~4の RAID 1
	• スロット 5 ~ 10 の RAID 10
ネットワークおよび管理 I/O	サポートされるコネクタ:
	• Intel X710-DA2 NIC 上の 10 Gbps イーサネットポート X 2
	•1 Gbps RJ-45 管理ポート(Marvell 88E6176)X 1
	<ul> <li>10GBase-T LOM ポート (マザーボードに Intel X550 コントローラを搭載) X 2</li> </ul>
	次のコネクタを使用できますが、通常は Cisco DNA Center の日常業務では 使用されません。
	・RS-232 シリアル ポート(RJ-45 コネクタ)X 1
	・VGA(DB-15)コネクタ X 1
	• USB 3.0 コネクタ X 2
	・USB 2.0 2 個、VGA(DB-15)1 個、シリアル(RS-232)RJ-45 コネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルを使用する前面パネル KVM コネクタ X 1
	10 Gbps イーサネットポート 4 個を提供する Intel X710-DA4 NIC は、今回の Cisco DNA Center リリースでは無効ですが、今後の製品リリースで有効にな ります。ご注意ください。
電源	770 W AC 電源 X 2。
	1+1の冗長構成。
冷却	ホットスワップ可能なファン モジュール(前面から背面に向かう冷却用) X 7。

機能	説明
ビデオ	最大 1920 X 1200、60 Hz 時 16 bpp、最大 512 MB のビデオメモリを搭載した ビデオグラフィックスアレイ (VGA) ビデオ解像度 (デフォルトの割り当 ては 8 MB)。

#### 表 2:56 コア Cisco DNA Center アプライアンスのハードウェア仕様

機能	説明
シャーシ	1 ラックユニット(1RU)シャーシ
プロセッサ	28 コア Intel 8280 2.7 GHz プロセッサ X 2
メモリ	32 GB DDR4 2933 MHz RDIMM X 12
ストレージ	・RAID 1 で 480 GB X 2
	• RAID 1 で 1.9 TB X 2
	・RAID 10 で 1.9 TB X 6
ディスク管理 (RAID)	• スロット1~4の RAID 1
	・スロット 5 ~ 10 の RAID 10
ネットワークおよび管理 I/O	サポートされるコネクタ:
	• Intel X710-DA2 NIC 上の 10 Gbps イーサネットポート X 2
	•1 Gbps RJ-45 管理ポート(Marvell 88E6176)X 1
	<ul> <li>10GBase-T LOM ポート(マザーボードに Intel X550 コントローラを搭載) X 2</li> </ul>
	次のコネクタを使用できますが、通常は Cisco DNA Center の日常業務では 使用されません。
	•RS-232 シリアル ポート(RJ-45 コネクタ)X 1
	•VGA(DB-15)コネクタX1
	• USB 3.0 コネクタ X 2
	<ul> <li>• USB 2.0 2 個、VGA(DB-15) 1 個、シリアル(RS-232) RJ-45 コネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルを使用する前面パネル KVM コネクタ X 1</li> </ul>
	10 Gbps イーサネットポート 4 個を提供する Intel X710-DA4 NIC は、今回の Cisco DNA Center リリースでは無効ですが、今後の製品リリースで有効にな ります。ご注意ください。

機能	説明
電源	770 W AC 電源 X 2。
	1+1 の冗長構成。
冷却	ホットスワップ可能なファン モジュール(前面から背面に向かう冷却用) X 7。
ビデオ	最大 1920 X 1200、60 Hz 時 16 bpp、最大 512 MB のビデオメモリを搭載した ビデオグラフィックスアレイ (VGA) ビデオ解像度 (デフォルトの割り当 ては 8 MB)。

#### 表 3:112 コア Cisco DNA Center アプライアンスのハードウェア仕様

機能	説明
シャーシ	4 ラックユニット(4RU)シャーシ。
プロセッサ	2 個の 28 コア Intel 8276 2.2 GHz プロセッサを搭載した CPU モジュール X 2
メモリ	32 GB DDR4 2933 MHz RDIMM X 24
ストレージ	• RAID 1 で 480 GB X 2
	・RAID 1 で 3.8 TB X 2
	• 1.9 TB (RAID 10) X 16
ディスク管理 (RAID)	・ドライブベイ 1 および 2 の RAID 1
	• スロット 3 ~ 18 の RAID 10
	・ドライブベイ 19 および 20 の RAID 1

機能	説明
ネットワークおよび管理 I/O	サポートされるコネクタ:
	• Intel X710-DA2 NIC 上の 10 Gbps イーサネットポート X 2
	• 10 Base-T Gbps イーサネットポート X 2
	•1 ギガビットイーサネット管理ポート
	次のコネクタを使用できますが、通常は Cisco DNA Center の日常業務では 使用されません。
	•RS-232 シリアル ポート(RJ-45 コネクタ)X 1
	•VGA(DB-15)コネクタX1
	• USB 3.0 コネクタ X 3
	・USB 2.0 2 個、VGA(DB-15)1 個、シリアル(RS-232)RJ-45 コネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルを使用する前面パネル KVM コネクタ X 1
	10 Gbps イーサネットポート 4 個を提供する Intel X710-DA4 NIC は、今回の Cisco DNA Center リリースでは無効ですが、今後の製品リリースで有効にな ります。ご注意ください。
電源	1600 W AC 電源装置 X 4。
	3+1 の冗長構成(Cisco Integrated Management Controller での設定が必須)。
冷却	前面から背面冷却のそれぞれに2個のファンがある4個ホットスワップファ ンモジュールです。
ビデオ	60 Hz で最大 1600 X 1200、16 bpp の VGA ビデオ解像度、最大 256 MB のビ デオメモリ。

# 前面パネルと背面パネル

次の図と表ではCisco DNA Center アプライアンスの前面パネルと背面パネルについて説明します。

図 1:44 および 56 コアアプライアンスの前面パネル



コンポーネン	説明
۲	
1	このアプライアンスでは次のとおり合計 10 個のドライブを使用できます。
	•480 GB SAS SSD X 2 (スロット 1 および 2)。
	・1.9 TB SATA SSD X 8 (スロット 3 ~ 10)。
	取り付けられたドライブにはそれぞれ、障害 LED とアクティビティ LED が 付いています。
	ドライブ障害 LED の状態とその説明:
	・消灯:ドライブは正常に動作中です。
	<ul> <li>オレンジ:ドライブに障害が発生しています。</li> </ul>
	•オレンジの点滅:ドライブの再構成中です。
	ドライブアクティビティ LED の状態とその説明:
	<ul> <li>・消灯:スレッドにドライブが存在しません(アクセスなし、障害なし)。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑:ドライブの準備が完了しています。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑の点滅:ドライブはデータの読み取り中または書き込み中です。</li> </ul>

コンポーネン ト	説明
2	電源ボタン/電源ステータス LED LED の状態とその説明:
	• 消灯:アプライアンスに AC 電力が供給されていません。
	<ul> <li>オレンジ:アプライアンスはスタンバイ電源モードです。Cisco Integrated Management Controller (Cisco IMC)と一部のマザーボード機能にだけ電 力が供給されています。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑:アプライアンスはメイン電源モードです。すべてのサーバコンポー ネントに電力が供給されています。</li> </ul>
3	ユニット識別ボタンと LED。LED の状態とその説明:
	・消灯:ユニット識別機能は非アクティブです。
	• 青 : ユニット識別 LED はアクティブです。
4	システムステータス LED。LED の状態とその説明:
	<ul> <li>・緑:アプライアンスは正常動作状態で稼働しています。</li> </ul>
	<ul> <li>緑の点滅:アプライアンスはシステムの初期化とメモリチェックを行っています。</li> </ul>
	<ul> <li>オレンジの点灯:アプライアンスは縮退運転状態になっています。次の 1つ以上が原因の可能性があります。</li> </ul>
	・電源装置の冗長性が失われている。
	• CPU が一致しない。
	<ul> <li>・少なくとも1つの CPU に障害が発生している。</li> </ul>
	<ul> <li>・少なくとも1つの DIMM に障害が発生している。</li> </ul>
	• RAID 構成内の少なくとも1台のドライブに障害が発生している。
	<ul> <li>オレンジの点滅(2回):システムボードで重度の障害が発生しています。</li> </ul>
	<ul> <li>オレンジの点滅(3回):メモリ(DIMM)で重度の障害が発生しています。</li> </ul>
	•オレンジの点滅(4回): CPU で重度の障害が発生しています。

コンポーネン ト	説明
5	電源装置ステータス LED。LED の状態とその説明:
	<ul> <li>・緑:すべての電源装置が正常に動作しています。</li> </ul>
	•オレンジの点灯:1台以上の電源装置が縮退運転状態にあります。
	•オレンジの点滅:1台以上の電源装置が重大な障害発生状態にあります。
6	ファンステータス LED。LED の状態とその説明:
	<ul> <li>・緑:すべてのファンモジュールが正常に動作中です。</li> </ul>
	•オレンジの点灯:1つのファンモジュールに障害が発生しています。
	<ul> <li>オレンジの点滅:重大な障害。2つ以上のファンモジュールに障害が発生しています。</li> </ul>
7	ネットワーク リンク アクティビティ LED。LED の状態とその説明:
	<ul> <li>消灯:イーサネットリンクがアイドル状態です。</li> </ul>
	<ul> <li>緑の点滅:1つ以上のイーサネットLOMポートでリンクがアクティブになっていて、アクティビティが存在します。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑:1つ以上のイーサネットLOMポートでリンクがアクティブになっていますが、アクティビティは存在しません。</li> </ul>
8	温度ステータス LED。LED の状態とその説明:
	•緑:アプライアンスは正常温度で稼働中です。
	<ul> <li>オレンジの点灯:1つ以上の温度センサが警告しきい値を超過しています。</li> </ul>
	<ul> <li>オレンジの点滅:1つ以上の温度センサが重大しきい値を超過しています。</li> </ul>
9	引き抜きアセットタグ。
10	KVM コネクタ。USB 2.0 コネクタ X 2、VGA コネクタ X 1、シリアルコネク タ X 1 を装備した KVM ケーブルで使用します。

図 2:112コアアプライアンスの前面パネル



コンポーネン	説明
۲	
1	電源ボタン/電源ステータス LED LED の状態とその説明:
	• 消灯:アプライアンスに AC 電力が供給されていません。
	<ul> <li>オレンジ:アプライアンスはスタンバイ電源モードです。Cisco IMC と 一部のマザーボード機構にだけ電源が投入されています。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑:アプライアンスはメイン電源モードです。すべてのサーバコンポー ネントに電力が供給されています。</li> </ul>
2	ユニット識別ボタンと LED。LED の状態とその説明:
	・消灯:ユニット識別機能は非アクティブです。
	・青:ユニット識別 LED はアクティブです。

コンポーネン	説明
1*	
3	システムステータス LED。LED の状態とその説明:
	<ul> <li>・緑:アプライアンスは正常動作状態で稼働しています。</li> </ul>
	<ul> <li>オレンジの点灯:アプライアンスは縮退運転状態になっています。次の 1つ以上が原因の可能性があります。</li> </ul>
	・電源装置の冗長性が失われている。
	• CPU が一致しない。
	<ul> <li>・少なくとも1つの CPU に障害が発生している。</li> </ul>
	・少なくとも1つの DIMM に障害が発生している。
	•RAID 構成内の少なくとも1台のドライブに障害が発生している。
	<ul> <li>オレンジの点滅:アプライアンスは重大な障害が発生している状態であり、次の1つ以上が原因の可能性があります。</li> </ul>
	・ブートの失敗
	<ul> <li>修復不能なプロセッサーまたはバスエラーが検出された</li> </ul>
	• 過熱状態
4	
4	ファンステータス LED。LED の状態とその説明:
	<ul> <li>・緑:すべてのファンモジュールが正常に動作中です。</li> </ul>
	<ul> <li>オレンジの点灯:ファンモジュールが縮退運転状態にあります。1つの ファンモジュールに障害があります。</li> </ul>
	•オレンジの点滅:2つ以上のファンモジュールに障害があります。
5	温度ステータス LED。LED の状態とその説明:
	<ul> <li>・緑:アプライアンスは正常温度で稼働中です。エラーが検出されませんでした。</li> </ul>
	<ul> <li>オレンジの点灯:1つ以上の温度センサが警告しきい値を超過しています。</li> </ul>
	<ul> <li>オレンジの点滅:1つ以上の温度センサが重要な回復不能なしきい値を 超過しています。</li> </ul>

コンポーネン ト	説明
6	電源装置ステータス LED。LED の状態とその説明:
	<ul> <li>・緑:すべての電源装置が正常に動作しています。</li> </ul>
	•オレンジの点灯:1台以上の電源装置が縮退運転状態にあります。
	•オレンジの点滅:1台以上の電源装置が重大な障害発生状態にあります。
7	ネットワーク リンク アクティビティ LED。LED の状態とその説明:
	• 消灯 : イーサネット LOM ポートリンクがアイドル状態です。
	<ul> <li>・緑:1つ以上のイーサネットLOMポートでリンクがアクティブになっていますが、アクティビティは存在しません。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑の点滅:1つ以上のイーサネットLOMポートでリンクがアクティブになっていて、アクティビティが存在します。</li> </ul>
8	このアプライアンスでは次のとおり合計 20 個のドライブを使用できます。
	•480 GB SATA SSD X 2(ドライブベイ 1 および 2 内)。
	・1.9 TB SATA SSD X 16 (スロット 3 $\sim$ 18)。
	・3.8 TB SATA SSD X 2(ドライブベイ19 および 20)。
	(注) ドライブベイ21~24は、このアプライアンスでは使用されません。
	取り付けられたドライブにはそれぞれ、障害 LED とアクティビティ LED が 付いています。
	ドライブ障害 LED の状態とその説明:
	・消灯:ドライブは正常に動作中です。
	•オレンジ:ドライブに障害が発生しています。
	•オレンジの点滅:ドライブの再構成中です。
	ドライブアクティビティ LED の状態とその説明:
	<ul> <li>・消灯:スレッドにドライブが存在しません(アクセスなし、障害なし)。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑:ドライブの準備が完了しています。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑の点滅:ドライブはデータの読み取り中または書き込み中です。</li> </ul>
9	KVM コネクタ。USB 2.0 コネクタ X 2、VGA コネクタ X 1、シリアルコネク タ X 1 を装備した KVM ケーブルで使用します。

コンポーネン ト	説明
10	引き抜きアセットタグ。
11	CPU モジュールベイ 1。
12	CPU モジュールベイ 2。

図 3:44 および 56 コアアプライアンスの背面パネル



コンポーネント	説明
1	モジュラ LAN-on-motherboard (mLOM) カードベイ (x16 PCIe レーン)
2	USB 3.0 ポート X 2
3	1 Gbps/10 Gbps 管理ポート(1、eno1、ネットワークアダプタ1): このイー サネットポートはアプライアンスのマザーボードに搭載されており、リンク パートナーの機能に応じて1 Gbps、10 Gbps をサポートできます。これは背 面パネルでは1、Maglev 設定ウィザードでは Eno1 とネットワークアダプタ 1として識別されます。このポートはエンタープライズ管理ネットワークに アクセスできるスイッチに接続します。
	このポートにはリンクステータス LED とリンク速度 LED が付いています。 ステータス LED の状態とその説明:
	<ul> <li>・消灯:リンクが確立されていません。</li> <li>・緑の点滅:アクティブなリンクにトラフィックが存在します。</li> <li>・緑:リンクはアクティブですが、トラフィックは存在しません。</li> </ul>
	速度 LED の状態とその説明: ・消灯:リンク速度は 10 Mbps 以下です。 ・緑:リンク速度は 1 Gbps です。 ・オレンジ:リンク速度は 100 Mbps です。

コンポーネント	説明
4	1 Gbps/10 Gbps クラウドポート(2、eno2、ネットワークアダプタ2):この イーサネットポートはアプライアンスのマザーボードに搭載されており、リ ンクパートナーの機能に応じて1 Gbps、10 Gbps をサポートできます。これ は、背面パネルでは2、Maglev 設定ウィザードでは Eno2 とネットワークア ダプタ2 として識別されます。このポートは、10 Gbps エンタープライズ ポートではインターネット接続ができない場合に任意で代用します。イン ターネットに接続しているインターネットサーバまたはプロキシサーバに接 続します。
	このポートにはリンクステータス LED とリンク速度 LED が付いています。 リンクステータス LED の状態とその説明:
	<ul> <li>消灯:リンクが確立されていません。</li> </ul>
	<ul> <li>緑の点滅:アクティブなリンクにトラフィックが存在します。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑:リンクはアクティブですが、トラフィックはありません。</li> </ul>
	速度 LED の状態とその説明:
	<ul> <li>消灯:リンク速度は10 Mbps以下です。</li> </ul>
	•緑:リンク速度は1 Gbps です。
	・オレンジ:リンク速度は 100 Mbps です。
5	VGA ビデオポート (DB-15)。

コンポーネント	説明
6	1 Gbps Cisco IMC ポート: これは VGA ビデオポートの右側にある組み込み ポートで、RJ45 シリアルポートの左側にあります。アプライアンスの Cisco IMC GUI に対するブラウザアクセスを有効にしていると、IP アドレスが割 り当てられます(「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザ アクセスの有効化」を参照)。このポートは、アプライアンスのシャーシお よびソフトウェアのアウトオブバンド管理用に予約されています。このポー トはエンタープライズ管理ネットワークにアクセスできるスイッチに接続し ます。
	このポートにはリンクステータス LED とリンク速度 LED が付いています。 リンクステータス LED の状態とその説明:
	・消灯:リンクが確立されていません。
	<ul> <li>・緑の点滅:アクティブなリンクにトラフィックが存在します。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑:リンクはアクティブですが、トラフィックは存在しません。</li> </ul>
	速度 LED の状態とその説明:
	<ul> <li>消灯:リンク速度は10 Mbps以下です。</li> </ul>
	•緑:リンク速度は1 Gbps です。
	•オレンジ:リンク速度は100 Mbps です。
7	シリアルポート(RJ-45 コネクタ)
8	ユニット背面の ID ボタンと LED

コンポーネント	説明
9	電源装置(最大2台、1+1の冗長構成)各電源装置には、電源障害 LED と AC 電源 LED が付いています。
	障害 LED の状態とその説明:
	・消灯:電源装置は正常に動作中です。
	<ul> <li>オレンジの点滅:イベント警告しきい値に達しましたが、電源装置は動作し続けています。</li> </ul>
	<ul> <li>オレンジの点灯:重大障害しきい値に達し、電源装置がシャットダウンしています(ファンの障害や過熱状態など)。</li> </ul>
	AC 電源 LED の状態とその説明:
	• 消灯:電源に AC 電力が供給されていません。
	•緑の点灯:AC 電力供給も、DC 出力も OK です。
	・緑の点滅:AC 電力供給は OK ですが、DC 出力は使用できません。
	詳細については「電力仕様」を参照してください。
10	アプライアンスの PCIe ライザ2/スロット2 にある Intel X710-DA4 ネットワー クインターフェイスカード (NIC)。このカードは、この Cisco DNA Center リリースでは無効になっており、今後のリリースで有効になることに注意し てください。
	重要 このカードがアプライアンスで有効になっている場合は、無効に する必要があります。カードを無効にしない場合、アプライアン スには4つの追加インターフェイスが含まれているため、設定に 悪影響を及ぼす可能性があります。カードを無効にするには「ネッ トワークインターフェイスカードの無効化(78ページ)」を参 照してください。

コンポーネント	説明
11	10 Gbps クラスタポート (enp94s0f1、ネットワークアダプタ4) : これはア プライアンス PCIe ライザー 1/スロット 1 の Intel X710-DA2 NIC の右側にあ る 10 Gbps ポートです。これは Maglev 設定ウィザードでは enp94s0f1 とネッ トワークアダプタ4として識別されます。このポートをクラスタ内のほかの ノードに接続しているスイッチに接続します。
	このポートにはリンクステータス (ACT) LED とリンク速度 (リンク) LED が付いています。
	リンクステータス LED の状態とその説明:
	・消灯:リンクが確立されていません。
	<ul> <li>・緑の点滅:アクティブなリンクにトラフィックが存在します。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑:リンクはアクティブですが、トラフィックは存在しません。</li> </ul>
	リンク速度 LED の状態とその説明:
	<ul> <li>消灯:リンク速度は100 Mbps 以下です。</li> </ul>
	•緑:リンク速度は10 Gbps です。
	•オレンジ:リンク速度は1Gbpsです。
	(注) 低速でも動作可能ですが、エンタープライズポートとクラスタポー トは 10 Gbps でのみ動作するように設計されています。

コンポーネント	説明
12	10 Gbps エンタープライズポート (enp94s0f0、ネットワークアダプタ 3) : これはアプライアンス PCIe ライザー 1/スロット 1 の Intel X710-DA2 NIC の 左側にある 10 Gbps ポートです。これは Maglev 設定ウィザードでは enp94s0f0 とネットワークアダプタ 3 として識別されます。このポートを、エンタープ ライズ ネットワークに接続しているスイッチに接続します。
	このポートにはリンクステータス (ACT) LED とリンク速度 (リンク) LED が付いています。
	リンクステータス LED の状態とその説明:
	・消灯:リンクが確立されていません。
	<ul> <li>・緑の点滅:アクティブなリンクにトラフィックが存在します。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑:リンクはアクティブですが、トラフィックは存在しません。</li> </ul>
	速度 LED の状態とその説明:
	• 消灯:リンク速度は 100 Mbps 以下です。
	•緑:リンク速度は 10 Gbps です。
	•オレンジ:リンク速度は1 Gbps です。
	(注) 低速でも動作可能ですが、エンタープライズポートとクラスタポー トは 10 Gbps でのみ動作するように設計されています。
13	二重孔アース ラグ用ネジ穴。





#### 図 5:112コアアプライアンスの背面パネルのスロット



コンポーネント	説明
1	シリアル ポート COM 1(DB-9 コネクタ)
2	VGA ビデオ ポート(DB-15 コネクタ)
3	現時点ではサポートされていません。
4	1 Gbps/10 Gbps 管理ポート(1、enp53s0f0、ネットワークアダプタ1): こ のイーサネットポートはアプライアンスのマザーボードに組み込まれてお り、リンクパートナーの機能に応じて1 Gbps および10 Gbps をサポートで きます。これは、背面パネルでは1、Maglev 設定ウィザードでは Enp53s0f0 とネットワークアダプタ1として識別されます。このポートはエンタープラ イズ管理ネットワークにアクセスできるスイッチに接続します。
	このポートにはリンクステータス LED とリンク速度 LED が付いています。 ステータス LED の状態とその説明:
	・消灯:リンクが確立されていません。
	<ul> <li>・緑の点滅:アクティブなリンクにトラフィックが存在します。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑:リンクはアクティブですが、トラフィックは存在しません。</li> </ul>
	速度 LED の状態とその説明:
	<ul> <li>消灯:リンク速度は 10 Mbps 以下です。</li> </ul>
	•緑:リンク速度は1 Gbps です。
	•オレンジ:リンク速度は 100 Mbps です。

説明
1 Gbps/10 Gbps クラウドポート(2、enp53s0f1、ネットワークアダプタ2): このイーサネットポートはアプライアンスのマザーボードに搭載されてお り、リンクパートナーの機能に応じて1 Gbps、10 Gbps をサポートできま す。これは、背面パネルでは2、Maglev 設定ウィザードでは Enp53s0f1 と ネットワークアダプタ2 として識別されます。このポートは、10 Gbps エン タープライズポートではインターネット接続ができない場合に任意で代用し ます。インターネットに接続しているインターネットサーバまたはプロキシ サーバに接続します。
このポートにはリンクステータス LED とリンク速度 LED が付いています。 リンクステータス LED の状態とその説明:
・消灯:リンクが確立されていません。
<ul> <li>・緑の点滅:アクティブなリンクにトラフィックが存在します。</li> </ul>
<ul> <li>・緑:リンクはアクティブですが、トラフィックはありません。</li> </ul>
速度 LED の状態とその説明:
<ul> <li>消灯:リンク速度は10 Mbps以下です。</li> </ul>
•緑:リンク速度は1 Gbps です。
•オレンジ:リンク速度は100 Mbps です。

説明
1 Gbps Cisco IMC ポート: これは管理ポートの右側にある10/100/1000 イーサ ネット専用管理ポート (Base-T) です。背面パネルでは3として識別されま す。アプライアンスの Cisco IMC GUI に対するブラウザアクセスを有効にし ていると、このポートにIP アドレスが割り当てられます(「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」を参照)。アプ ライアンスのシャーシおよびソフトウェアのアウトオブバンド管理用に予約 されています。このポートはエンタープライズ管理ネットワークにアクセス できるスイッチに接続します。
このポートにはリンクステータス LED とリンク速度 LED が付いています。 リンクステータス LED の状態とその説明:
・消灯:リンクが確立されていません。
<ul> <li>・緑の点滅:アクティブなリンクにトラフィックが存在します。</li> </ul>
<ul> <li>・緑:リンクはアクティブですが、トラフィックは存在しません。</li> </ul>
速度 LED の状態とその説明:
<ul> <li>消灯:リンク速度は10 Mbps 以下です。</li> </ul>
•緑:リンク速度は1 Gbps です。
•オレンジ:リンク速度は 100 Mbps です。
背面 ID ボタン/LED
USB 3.0 ポート× 3
電源装置 1 ~ 4 : ホットスワップ可能、3+1 の冗長構成(Cisco IMC で設定)。
詳細については「電力仕様」を参照してください。
二重孔アース ラグ用ネジ穴。
<ul> <li>アプライアンスのPCIe ライザ2/スロット12に設置されている Intel X710-DA4</li> <li>ネットワークインターフェイスカード(NIC)。このカードは、この Cisco</li> <li>DNA Center リリースでは無効になっており、今後のリリースで有効になる</li> <li>ことに注意してください。</li> <li>重要 このカードがアプライアンスで有効になっている場合は、無効に</li> <li>する必要があります。カードを無効にしない場合、アプライアン</li> <li>スには4つの追加インターフェイスが含まれているため、設定に</li> <li>悪影響を及ぼす可能性があります。カードを無効にするには「ネットワーク インターフェイス カードの無効化 (78 ページ)」を参照してください。</li> </ul>

コンポーネント	説明
12	10 Gbps クラスタポート (enp69s0f1、ネットワークアダプタ4) : これはア プライアンスの PCIe スロット 9 に搭載されている Intel X710-DA2 NIC の下 にある 10 Gbps ポートです。これは Maglev 設定ウィザードでは enp69s0f1 と ネットワークアダプタ4として識別されます。このポートをクラスタ内のほ かのノードに接続しているスイッチに接続します。
	このポートにはリンクステータス (ACT) LED とリンク速度 (リンク) LED が付いています。
	リンクステータス LED の状態とその説明:
	・消灯:リンクが確立されていません。
	<ul> <li>・緑の点滅:アクティブなリンクにトラフィックが存在します。</li> </ul>
	<ul> <li>・緑:リンクはアクティブですが、トラフィックは存在しません。</li> </ul>
	リンク速度 LED の状態とその説明:
	• 消灯:リンク速度は100 Mbps 以下です。
	•緑:リンク速度は 10 Gbps です。
	•オレンジ:リンク速度は1 Gbps です。
	(注) 低速でも動作可能ですが、エンタープライズポートとクラスタポー トは 10 Gbps でのみ動作するように設計されています。

コンポーネント	説明
13	10 Gbps エンタープライズポート (enp69s0f0、ネットワークアダプタ3) : これはアプライアンスの PCIe スロット 9 に搭載されている Intel X710 DA2 NIC の下にある 10 Gbps ポートです。これは Maglev 設定ウィザードでは enp69s0f0 とネットワークアダプタ 3 として識別されます。このポートを、 エンタープライズ ネットワークに接続しているスイッチに接続します。
	このポートにはリンクステータス (ACT) LED とリンク速度 (リンク) LED が付いています。
	リンクステータス LED の状態とその説明:
	・消灯:リンクが確立されていません。
	・緑の点滅:アクティブなリンクにトラフィックが存在します。
	<ul> <li>・緑:リンクはアクティブですが、トラフィックは存在しません。</li> </ul>
	速度 LED の状態とその説明:
	• 消灯:リンク速度は 100 Mbps 以下です。
	•緑:リンク速度は 10 Gbps です。
	・オレンジ:リンク速度は1Gbpsです。
	(注) 低速でも動作可能ですが、エンタープライズポートとクラスタポー トは 10 Gbps でのみ動作するように設計されています。

### 物理仕様

次の表にアプライアンスの物理仕様を示します。別途指定のない限り、44、56、および112コ アアプライアンスにはこの仕様が適用されます。

#### 表 4:物理仕様

説明	仕様
高さ	44および56コアアプライアンス:4.32cm(1.7 インチ)
	112コアアプライアンス:17.6cm (6.9インチ)

説明	仕様
幅	44 および 56 コアアプライアンス:
	•ハンドルなし:43.0 cm(16.9インチ)
	•ハンドルを含む:48.3 cm(19.0 インチ)
	112 コアアプライアンス:48.3cm(19.0 イン チ)
奥行(長さ)	44 および 56 コアアプライアンス:
	•ハンドルなし:75.6 cm(29.8 インチ)
	•ハンドルを含む:78.7 cm(30.98 インチ)
	112 コアアプライアンス:83.1cm(32.7イン チ)
前面のスペース	76 mm (3 インチ)
周囲と側面の間に必要な隙間	25 mm (1インチ)
背面のスペース	152 mm(6インチ)
最大重量(フル装備シャーシ)	44および56コアアプライアンス:17.0kg (37.5 ポンド)
	112コアアプライアンス:66.2kg(146ポンド)

### 環境仕様

次の表に Cisco DNA Center アプライアンスの環境仕様を示します。別途指定のない限り、44、 56、および 112 コアアプライアンスにはこの仕様が適用されます。

#### 表 5:環境仕様

説明	仕様
動作時温度	$41 \sim 95 ^{\circ}\text{F}  (5 \sim 35 ^{\circ}\text{C})$
	海抜 305 m(1000 フィート)ごとに最高温度 が1℃低下します。
非動作時温度(アプライアンスが倉庫にある か運送中の場合)	$-40 \sim 149 ^{\circ}\text{F} (-40 \sim 65 ^{\circ}\text{C})$
湿度(RH)(動作時)	10~90%(28°C(82°F)時、結露なし)

説明	仕様
非動作時湿度(RH)(アプライアンスが倉庫 にあるか運送中の場合)	5~93%(28°C(82°F)時)
動作時高度	0~10,000 フィート (0~3,048 m)
非動作時高度(アプライアンスが倉庫にある か運送中の場合)	0~40,000 フィート (0~12,192 m)
音響出力レベル、ISO7779 に基づく A 特性 LWAd (B) を測定、23°C (73°F) での動作時	44 および 56 コアアプライアンス:5.5
	112 コアアプライアンス:
	•最低設定:7.08
	•標準設定:7.67
	•最大設定:8.24
音圧レベル、ISO 7779 に基づく A 特性 LpAm (dBA)を測定、23°C(73 °F)での動作時	44 および 56 コアアプライアンス:40
	112 コアアプライアンス:
	•最低設定:57.6
	•標準設定:63.5
	•最大設定:70.5

### 電力仕様

Cisco DNA Center アプライアンスに同梱されている電源の仕様は、下表に一覧表示されていま す。44 および 56 コアアプライアンスには、770W 電源モジュール(シスコ製品番号 UCSC-PSU1-770W)が2個付属しており、112 コアアプライアンスには1600W AC 電源モジュー ル(シスコ製品番号 UCSC-PSU1--6)が4 個付属しています。別途指定のない限り、両方の電 源装置にこの仕様が適用されます。

表 6:AC 電源の仕様

説明	仕様
AC 入力電圧	770 W :
	• 公称範囲:100~120 VAC、200~240 VAC
	•範囲:90~132 VAC、180~264 VAC
	1600 W :
	• 公称範囲:AC 200 ~ 240 V
	• 範囲:AC 180 ~ 264 V
AC 入力周波数	公称範囲: 50 ~ 60 Hz
	(範囲:47~63 Hz)
最大 AC 入力電流	770 W :
	・100 VAC で 9.5 A
	・208 VAC で 4.5 A
	1600 W : 9.5 A @ AC 200 V
最大入力電圧	770 W : 950 VA @ AC 100 V
	1600 W : 1250 VA @ AC 200 V
PSU あたりの最大出力電力	770 W @ AC 100 $\sim$ 120 V
	$1600 \text{ W}$ : AC $200 \sim 240 \text{ V}$
最大突入電流	770 W : 15 A @ 35°C
	1600 W : 15 A @ 35°C
最大保留時間	770 W : 12 ms
	1600 W : 80 ms @
電源装置の出力電圧	12 VDC
電源装置のスタンバイ電圧	12 VDC
· 勃率評価	Climate Savers Platinum Efficiency (80 Plus Platinum 認証済み)
フォームファクタ	RSP2
入力コネクタ	IEC320 C14



(注) 次の URL にある Cisco UCS Power Calculator を使用すると、ご使用のアプライアンス設定の電源に関する詳細情報を取得できます。http://ucspowercalc.cisco.com



### 導入の計画

- •プランニング ワークフロー (27ページ)
- Cisco DNA CenterおよびCisco Software-Defined Access (28 ページ)
- •インターフェイスケーブル接続(28ページ)
- 必要な IP アドレスおよびサブネット (34 ページ)
- 必要なインターネット URL と完全修飾ドメイン名 (40 ページ)
- ・インターネットへのアクセスを保護する (42ページ)
- 必要なネットワークポート(42ページ)
- ・必要なポートとプロトコル: Cisco Software-Defined Access (44 ページ)
- 必須の設定情報 (54ページ)
- 必要な初期設定情報(56ページ)

### プランニング ワークフロー

Cisco DNA Center アプライアンスの設置、設定、セットアップを試みる前に、次の計画と情報 収集のタスクを実行する必要があります。これらのタスクを完了したあと、データセンターに アプライアンスを物理的に設置すると続行できます。

(注) 詳細については「Cisco DNA CenterおよびCisco Software-Defined Access」を参照してください。

- 1. スタンドアロン設置とクラスタ設置で推奨されるケーブル接続とスイッチングの要件を確認します。詳細については「インターフェイスケーブル接続」を参照してください。
- 2. アプライアンスの設定時に適用するIPアドレッシング、サブネット化などのIPトラフィック情報を収集します。詳細については「必要なIPアドレスおよびサブネット」を参照してください。
- 3. 必要なWebベースのリソースに対するアクセスのソリューションを準備します。詳細については「必要なインターネット URL と完全修飾ドメイン名」と「インターネットへのアクセスを保護する」を参照してください。

- Cisco DNA Center トラフィックのファイアウォールとセキュリティポリシーを再設定しま す。詳細については「必要なネットワークポート」を参照してください。Cisco DNA Center を使用して Cisco Software-Defined Access(SD-Access)ネットワークを管理している場合は 「必要なポートとプロトコル: Cisco Software-Defined Access」も参照してください。
- 5. アプライアンスの構成時と初回設定時に使用される追加情報を収集します。詳細について は「必須の設定情報」と「必要な初期設定情報」を参照してください。

### Cisco DNA CenterおよびCisco Software-Defined Access

Cisco SD-Access ファブリックアーキテクチャを使用するネットワークも含め、すべてのネット ワークタイプで Cisco DNA Centerを使用できます。Cisco SD-Accessは、従来のネットワークを インテントベースのネットワークに変換します。これにより、ビジネスロジックがネットワー クの物理的な部分になり、構成、プロビジョニング、トラブルシューティングなどの日常的な タスクを簡単に自動化できるようになります。Cisco SD-Access ソリューションは、ネットワー クをビジネスニーズに合わせ、問題解決を改善し、セキュリティ侵害の影響を軽減するために 必要な時間を短縮します。

Cisco SD-Access ソリューションの詳細については、このガイドの範囲外です。Cisco DNA Center で使用する Cisco SD-Access ファブリックアーキテクチャの実装を計画しているネットワーク アーキテクトや管理者は、次のリソースから追加情報とガイダンスを入手できます。

- ・通常のネットワークのアプローチと技術では不可能なソリューションを自動化するために、Cisco DNA Center が Cisco SD-Access を活用する方法については、『ソフトウェア定義型アクセス:インテントベースのネットワーキングの実現』を参照してください。
- Cisco SD-Access アクセスセグメンテーションを使用したネットワークセキュリティの強化 に関するガイダンスについては、『SD-Accessアクセスセグメンテーション設計ガイド』 を参照してください。
- Cisco DNA Center での SDA の展開に関するガイダンスは、『ソフトウェア定義型アクセス導入ガイド』を参照してください。
- Cisco DNA Center と Cisco SD-Access ソリューションの基盤であるデジタル ネットワーク アーキテクチャの詳細と、この革新的なアーキテクチャで他のシスコ製品やソリューション、サードパーティの製品やソリューションが果たす役割については、『Cisco DNA Design Zone』を参照してください。

### インターフェイスケーブル接続

次のタイプのネットワークアクセスを提供するスイッチに、アプライアンスのポートを接続し ます。Cisco DNA Center の機能に必要なため、最低でも企業およびクラスタのポートインター フェイスを設定する必要があります。



- アフライアンス設定中、Maglev設定ワイサートは、**クラスタリンク**オフションをインター フェイスに割り当てるまで続行できません。実稼働環境の単一ノード展開と3ノード展開 の両方で、次のポートをクラスタリンクとして割り当てます。
  - 第2世代44および56コア Cisco DNA Center アプライアンス(シスコ製品番号 DN2-HW-APL および DN2-HW-APL-L)で、ポート enp94s0fl を割り当てます。
  - 第2世代 112 コアアプライアンス(シスコ製品番号 DN2-HW-APL-XL)で、ポート enp69s0f1 を割り当てます。

クラスタリンクとしてマークされたインターフェイスは、設定が完了した後は変更できな いことに注意してください。後で、クラスタリンクとしてマークされたインターフェイス を変更する必要がある場合は、アプライアンスのイメージを作成しなおす必要がありま す。Cisco DNA Center アプライアンスのイメージを作成し直すために完了する必要がある タスクの説明については、アプライアンスのイメージの再作成 (84ページ)を参照して ください。将来的に3ノードクラスタに拡張できるようにするため、IP アドレスを使用し てクラスタポートを設定するようお勧めします。また、クラスタ リンク インターフェイ スがスイッチポートに接続されており、稼働状態になっていることを確認します。

- (オプション)1 Gbps または 10 Gbps の管理ポート(1、eno1/enp53s0f0、ネットワーク アダプタ1): このポート(背面パネルに1というラベル付き)が Cisco DNA Center の GUI にアクセスするため、ユーザはアプライアンス上でソフトウェアを使用できます。企業管 理ネットワークに接続しているスイッチにこのポートを接続し、ポートのサブネットマス クを使用して IP アドレスを1 つ設定します。
- (オプション)1 Gbps または10 Gbpsのクラウドポート(eno2/enp53s0f1、ネットワーク アダプタ2):このポートは、背面パネルに2というラベルが付いており、オプションで す。10 Gbpsのエンタープライズポート(enp94s0f0/enp69s0f0、ネットワークアダプタ3) を使用してアプライアンスをインターネット(インターネットプロキシサーバを含む) に接続できない場合にのみ使用してください。クラウドポートを使用する必要がある場合 は、インターネットプロキシサーバーに接続しているスイッチに接続し、ポートのサブ ネットマスクを使用して IP アドレスを1つ設定します。
- (必須) 10 Gbps エンタープライズポート(enp94s0f0/enp69s0f0、ネットワークアダプタ
   3): このポートの目的は、Cisco DNA Center がネットワークと通信し、ネットワークを 管理できるようにすることです。このポートを、エンタープライズネットワークに接続しているスイッチに接続し、ポートのサブネットマスクを使用して IP アドレスを1つ設定 します。
  - •44と56のコアアプライアンスでは、これはアプライアンスのPCIeスロット1に搭載 されている Intel X710-DA2 NIC の左側にあるポートです。

- ・112 コアアプライアンスでは、これはアプライアンスの PCIe スロット 12 に搭載され ている Intel X710-DA2 NIC の上にある 10 Gbps ポートです。
- (必須) 10 Gbps クラスタポート (enp94s0f1 または enp69s0f1、ネットワークアダプタ
   4) :このポートの目的は、クラスタ内のプライマリノードとアドオンノード間の通信を可能にすることです。このポートをクラスタ内の他のノードに接続しているスイッチに接続し、ポートのサブネットマスクを使用して IP アドレスを1つ設定します。
  - ・44 および 56 コアアプライアンスでは、これはアプライアンスの PCIe スロット1 に搭 載されている Intel X710-DA2 NIC の右側にあるポートです。
  - •112 コアアプライアンスでは、これはアプライアンスの PCIe スロット 12 に搭載され ている Intel X710-DA2 NIC の下にある 10 Gbps ポートです。

アプライアンス設定中、Maglev設定ウィザードは、クラスタリンクオプションをインターフェイスに割り当てるまで続行できません。ポート enp94s0fl または enp69s0fl をクラスタリンクとして指定するようお勧めします。ただし、クラスタリンクとしてマークされたインターフェイスは、設定が完了した後は変更できないことに注意してください。後で、クラスタリンクとしてマークされたインターフェイスを変更する必要がある場合は、アプライアンスのイメージを作成しなおす必要があります。将来的に3ノードクラスタに拡張できるようにするため、IPアドレスを使用してクラスタポートを設定するようお勧めします。また、クラスタリンクインターフェイスがスイッチポートに接続されており、稼働状態になっていることを確認します。



- (注) Cisco DNA Center アプライアンスのイメージを作成しなおすため に完了する必要があるタスクの説明については「アプライアンス のイメージの再作成」を参照してください。
  - (オプション、ただし強く推奨)1 Gbps CIMC ポート: このポートで、Cisco Integrated Management Controller (CIMC) アウトオブバンドアプライアンス管理インターフェイス とそのGUIにブラウザがアクセスします。その目的は、アプライアンスとそのハードウェ アを管理できるようにすることです。企業管理ネットワークに接続しているスイッチにこ のポートを接続し、ポートのサブネットマスクを使用してIP アドレスを1つ設定します。

次の図は、シングルノード Cisco DNA Center クラスタで推奨される接続を示しています。


図 6: シングルノードクラスタで推奨されるケーブル接続:44 および 56 コアアプライアンス

次の図は、3ノードの Cisco DNA Center クラスタで推奨される接続を示しています。3ノード クラスタ内の各ノードの接続は1つ以外すべて、シングルノードクラスタの場合と同じであ り、同じポートを使用します。例外はクラスタポート(enp94s0f1 または enp69s0f1、ネット ワークアダプタ4)であり、これは3ノードクラスタ内の各ホストが他のホストと通信できる ようにするために必要です。

#### 図8:3ノードクラスタで推奨されるケーブル接続:44および56コアアプライアンス



 1 Gbps/10 Gbps Management Port (1, eno1, Network Adapter 1)



図 9:3ノードクラスタで推奨されるケーブル接続:112コアアプライアンス

(注) マルチノードクラスタの導入では、すべてのメンバノードを同じサイトの同じネットワーク内にする必要があります。アプライアンスは、複数のネットワークまたはサイト間でのノードの配布をサポートしていません。

10 Gbps のエンタープライズポートとクラスタポートを接続する場合は、ポートで次のメディ アタイプのみがサポートされていることに注意してください。

• SFP-10G-SR (ショートレンジ、MMF)

- SFP-10G-SR-S (ショートレンジ、MMF)
- •SFP-10G-LR (ロングレンジ、SMF)
- SFP-H10GB-CU1M (Twinax ケーブル、パッシブ、1 m)
- SFP-H10GB-CU3M (Twinax ケーブル、パッシブ、3 m)
- SFP-H10GB-CU5M (Twinax ケーブル、パッシブ、5 m)
- SFP-H10GB-ACU7M (Twinax ケーブル、アクティブ、7m)

# 必要な IP アドレスおよびサブネット

設置を開始する前に、使用する予定の各アプライアンスポートに割り当てるのに十分な IP ア ドレスがネットワークにあることを確認する必要があります。アプライアンスを単一ノードク ラスタとして設置するか、3 ノードクラスタのプライマリまたはアドオンノードとして設置す るかによって、次のアプライアンスポート (NIC) アドレスが必要になります。

- エンタープライズポートアドレス(Enterprise Port Address)(必須): サブネットマス クを持つ1つの IP アドレス。
- クラスタポートアドレス(Cluster Port Address)(必須): サブネットマスクを持つ1つのIP アドレス。
- 管理ポートアドレス(Management Port Address) (オプション):1つのIPアドレスと サブネットマスク。
- クラウドポートアドレス(Cloud Port Address)(オプション): サブネットマスクを持つ1つのIPアドレス。これはオプションのポートであり、エンタープライズポートを使用してクラウドに接続できない場合にのみ使用されます。この目的で使用する必要がある場合を除き、クラウドポートのIPアドレスは必要ありません。
- ・CIMCポートアドレス(CIMC Port Address)(オプション、ただし強く推奨):サブネットマスクを持つ1つの IP アドレス。

(注) これらの要件で要求されるすべての IP アドレスは、有効な IPv4 ネットマスクを持つ有効な IPv4 アドレスである必要があります。アドレスと対応するサブネットが重複していないことを 確認します。重複している場合、サービスの通信の問題が発生する可能性があります。

また、次の追加の IP アドレスと専用 IP サブネットが必要になります。これは、アプライアンスの設定時に入力が求められ、適用されます。

 クラスタ仮想 IP アドレス(Cluster Virtual IP Addresses): クラスタごとに設定された ネットワークインターフェイスごとに1つの仮想 IP(VIP)アドレス。この要件は3ノー ドクラスタと、将来3ノードクラスタに変換される可能性のある単一ノードクラスタに適 用されます。設定するネットワークインターフェイスごとに VIPを指定する必要がありま す。各 VIP は、対応する設定済みインターフェイスの IP アドレスと同じサブネットから のものである必要があります。各アプライアンスには、エンタープライズ、クラスタ、管 理、およびクラウドの4つのインターフェイスがあります。Cisco DNA Center の機能に必 要なため、最低でも企業およびクラスタのポートインターフェイスを設定する必要があり ます。サブネットマスクと1つ以上の関連ゲートウェイまたはスタティックルートととも に IP をインターフェイスに指定すると、そのインターフェイスは設定されていると見な されます。設定時にインターフェイスを完全にスキップすると、そのインターフェイスは 設定されていないと見なされます。

次の点に注意してください。

- ・単一ノード設定で、今後3ノードクラスタに変換する予定がない場合は、VIPアドレスを指定する必要はありません。ただし、これを行う場合は、設定されているすべてのネットワークインターフェイスに VIPアドレスを指定する必要があります(3ノードクラスタの場合と同様)。
- 単一ノードクラスタのクラスタ内リンクがダウンすると、管理インターフェイスとエンタープライズインターフェイスに関連付けられているVIPアドレスもダウンします。これが発生すると、クラスタ内リンクが復元されるまでCisco DNA Centerを使用できません(ソフトウェアイメージ管理[SWIM]とCisco Identity Services Engine [ISE]の統合が動作しません。またネットワークデータプラットフォーム[NDP]コレクタから情報を収集できないため、Cisco DNAアシュアランスデータが表示されません)。
- リンクローカルIPアドレスをホストインターフェイスに使用することはできません。
- ・デフォルトゲートウェイ IP アドレス(Default Gateway IP Address): ネットワークの優 先デフォルトゲートウェイのIP アドレス。他のルートがトラフィックに一致しない場合、 トラフィックはこのIP アドレスを経由してルーティングされます。通常は、インターネッ トにアクセスするネットワーク設定内のインターフェイスにデフォルトゲートウェイを割 り当てる必要があります。Cisco DNA Center の導入時に留意すべきセキュリティ上の考慮 事項については、『Cisco DNA Center Security Best Practices Guide』を参照してください。
- DNS サーバーの IP アドレス (DNS Server IP Addresses) :1 つ以上のネットワークの優先 DNS サーバーの IP アドレス。設定時に、複数の DNS サーバーの IP アドレスとネット マスクを、スペースで区切ったリストとして入力することによってそれらを指定できます。
- (オプション)スタティックルートアドレス(Static Route Addresses):1つ以上のスタ ティックルートの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイ。設定時に、複 数のスタティックルートの IP アドレス、ネットマスク、およびゲートウェイを、スペー スで区切ったリストとして入力することによってそれらを指定できます。

アプライアンスの任意のインターフェイスに対して1つ以上のスタティックルートを設定 できます。デフォルトゲートウェイ以外の特定の方向でトラフィックをルーティングする 場合は、スタティックルートを指定する必要があります。スタティックルートを持つ各イ ンターフェイスは、IP route コマンドテーブルでトラフィックがルーティングされるデバ イスとして設定されます。このため、トラフィックが送信されるインターフェイスとスタ ティックルートの方向を一致させることが重要です。 スタティックルートは、スイッチやルータで使用されるようなネットワークデバイスの ルーティングテーブルでは推奨されません。この場合はダイナミック ルーティング プロ トコルの方が適しています。ただし、他の方法では到達できないネットワークの特定の部 分にアプライアンスがアクセスできるようにするには、必要に応じてスタティックルート を追加する必要があります。

• NTP サーバの IP アドレス (NTP Server IP Addresses) : DNS 解決可能なホスト名、また は1つ以上の Network Time PROTOCOL (NTP) サーバの IP アドレス。

設定時に、複数のNTPサーバーのIPやマスクまたはホスト名をスペースで区切ったリストとして入力することによって、それらを指定できます。実稼働環境への展開では、少なくとも3台のNTPサーバを設定することを推奨します。

これらのNTPサーバは、事前にハードウェアを同期するときに指定し、クラスタ内の各 アプライアンスでソフトウェアを設定する際に再度指定します。時刻の同期は、マルチホ ストクラスタ全体でのデータの精度と処理の調整にとって重要です。アプライアンスを実 稼働環境に展開する前に、アプライアンスのシステムクロックの時刻が現在の時刻である こと、および指定したNTPサーバが正確な時刻を維持していることを確認してください。 アプライアンスをISEと統合する予定の場合は、ISEがアプライアンスと同じNTPサーバ と同期していることも確認する必要があります。

- ・サービスサブネット(Services Subnet): Cisco DNA アシュアランス などの内部アプリ ケーションサービス間の通信用 IP を管理し、取得する際にアプライアンスが使用する 1 つの専用 IP サブネットを識別します。専用 IPv4 サービスサブネットは、Cisco DNA Center の内部ネットワークまたは任意の外部ネットワークで使用されている他のサブネットと競 合したり、重複したりすることはできません。サブネットの最小サイズは21 ビットです。 IPv4 サービスサブネットは、次のアドレス範囲をサポートするプライベートネットワーク の IETF RFC 1918 および 6598 仕様に準拠している必要があります。
  - 10.0.0/8
  - 172.16.0.0/12
  - 192.168.0.0/16
  - 100.64.0.0/10

詳細については、RFC 1918 では『プライベートインターネット用のアドレス割り当て』 を、RFC 6598 では『IANA-Reserved IPv4 Prefix For Shared Address Space』を参照してくだ さい。



- ・有効なCIDRサブネットが指定されていることを確認します。
   そうでない場合、172.17.1.0/20および172.17.61.0/20サブネットに誤ったビットが表示されます。
  - Cisco DNA Center アプライアンスの設定が完了したら、最初 にアプライアンスを再イメージ化せずに別のサブネットを割 り当てることはできません(詳細については「アプライアン スのイメージの再作成」を参照してください)。

- クラスタサービスサブネット(Cluster Services Subnet): データベースアクセス、メッ セージバスなどのインフラストラクチャ サービス間の通信用 IP を管理および取得する際 にアプライアンスが使用する1つの専用 IP サブネットを識別します。専用 IPv4 クラスタ サービス サブネットは、Cisco DNA Center の内部ネットワークまたは任意の外部ネット ワークで使用されている他のサブネットと競合したり、重複したりすることはできませ ん。サブネットの最小サイズは21 ビットです。IPv4 クラスタサービスサブネットは、次 のアドレス範囲をサポートするプライベートネットワークの IETF RFC 1918 および 6598 仕様に準拠している必要があります。
  - 10.0.0/8
  - 172.16.0.0/12
  - 192.168.0.0/16
  - 100.64.0.0/10

詳細については、RFC 1918 では『プライベートインターネット用のアドレス割り当て』 を、RFC 6598 では『IANA-Reserved IPv4 Prefix For Shared Address Space』を参照してくだ さい)

サービスサブネットとして 10.10.10.0/21 を指定する場合は、これら2つのサブネットは重 複しないため、10.0.8.0/21 のクラスタサービスサブネットを指定することもできます。ま た、設定ウィザードによって、これらのサブネット間の重複(存在する場合)が検出さ れ、重複を修正するように求められることにも注意してください。

### C)

- 重要
   ・有効なCIDRサブネットが指定されていることを確認します。

   そうでない場合、172.17.1.0/20および172.17.61.0/20サブネットに誤ったビットが表示されます。
  - Cisco DNA Center アプライアンスの設定が完了したら、最初 にアプライアンスを再イメージ化せずに別のサブネットを割 り当てることはできません(詳細については「アプライアン スのイメージの再作成」を参照してください)。

2つのサービスとクラスタサービスのサブネットで推奨される合計IPアドレス空間には、4096 のアドレスが含まれており、それぞれ 2048 のアドレスの 2/21 サブネットに分割されていま す。2/21 サブネットを重複させることはできません。Cisco DNA Center の内部サービスは、専 用のIPアドレスセットの動作に必要です(Cisco DNA Center マイクロサービスアーキテクチャ の要件)。この要件に対応するには、Cisco DNA Center システムごとに 2 つの専用サブネット を割り当てる必要があります。

アプライアンスがこのようなアドレス空間を必要とする理由の1つは、システムパフォーマン スを維持するためです。東西(ノード間)通信には内部ルーティングおよびトンネリングテク ノロジーが使用されているため、重複するアドレス空間を使用すると、アプライアンスが仮想 ルーティングを実行し、内部的に FIB を転送(FIB) するように強制されることがあります。 これにより、1つのサービスから別のサービスに送信されるパケットに対して複数のencap/decap が発生し、高いレイヤでのカスケードの影響により、非常に低いレベルの高い内部遅延が発生 します。

もう1つの理由はCisco DNA Center Kubernetes ベースのサービスコンテナ化アーキテクチャで す。各アプライアンスはKubernetes K8 ノードごとにこの空間のIP アドレスを使用します。複 数のノードが1つのサービスを構成できます。現在、Cisco DNA Center は、複数のIP アドレス を必要とするサービスを100余りサポートしており、新しい機能と対応するサービスが常に追 加されています。IP アドレスが不足したり、お客様がシステムをアップグレードするためだけ に連続するアドレス空間を再割り当てすることを要求したりすることなく、シスコが新しい サービスや機能を追加できるようにするために、アドレス空間の要件は最初は意図的に大きく 維持されています。

これらのサブネットでサポートされているサービスは、レイヤ3でも有効になっています。ク ラスタサービススペースは、特に、アプリケーションサービスとインフラストラクチャサービ スの間でデータを伝送し、頻繁に使用されます。

RFC 1918 および RFC 6598 の要件は、クラウドからパッケージとアップデートをダウンロード するための Cisco DNA Center の要件によるものです。選択した IP 範囲が RFC 1918 および RFC 6598 に準拠していない場合、すぐにパブリック IP の重複の問題につながる可能性があります。

## インターフェイス名とウィザードの設定順序

インターフェイス名と、これらのインターフェイスを Maglev 設定ウィザードで設定する順序 は、次の表に示すように、Cisco DNA Center アプライアンスの第1世代と第2世代とで異なり ます。お使いのアプライアンスが第1世代と第2世代のどちらかを判断するには、次のとおり シスコ製品番号を参照してください。

- 第1世代 44 コアアプライアンス: DN1-HW-APL
- 第2世代:
  - •44 コアアプライアンス: DN2-HW-APL
  - •44 コア アップグレード アプライアンス: DN2-HW-APL-U
  - •56 コアアプライアンス: DN2-HW-APL-L
  - •56 コア アップグレード アプライアンス: DN2-HW-APL-L-U
  - •112 コアアプライアンス: DN2-HW-APL-XL
  - •112 コア アップグレード アプライアンス: DN2-HW-APL-XL-U

表7:インターフェイス名とウィザードの設定順序

機能	<b>Cisco DNA Center</b> アプ ライアンスの種類	インターフェイス名	<b>Maglev</b> 設定ウィザード での設定順序
管理 (Management):管 理えいトロークから	第1世代	enp1s0f0	ネットワークアダプタ #2
理ネットワークから Cisco DNA Center GUI にアクセスできます。	第2世代	<ul> <li>・44 および 56 コア アプライアンス: eno1</li> <li>・112 コアアプライ アンス: enp53s0f0</li> </ul>	ネットワークアダプタ #1
<b>クラウド(Cloud)</b> : この目的で別のイン	第1世代	enp1s0f1	ネットワークアダプタ #3
ターフェイスを使用で きない場合にインター ネットアクセスを提供 します。	第2世代	<ul> <li>・44 および 56 コア アプライアンス : eno2</li> <li>・112 コアアプライ アンス : enp53s0f1</li> </ul>	ネットワークアダプタ #2
エンタープライズ (Enterprise):アプ	第1世代	enp9s0	ネットワークアダプタ #4
ライアンスをエンター プライズネットワーク にリンクします。	第2世代	<ul> <li>・44 および 56 コア アプライアンス : enp94s0f0</li> <li>・112 コアアプライ アンス : enp69s0f0</li> </ul>	ネットワークアダプタ #3
クラスタ(Cluster): アプライアンスをクラ	第1世代	enp10s0	ネットワークアダプタ #1
スタノートにリンクし ます。	第2世代	<ul> <li>・44 および 56 コア アプライアンス : enp94s0f1</li> <li>・112 コアアプライ アンス : enp69s0f1</li> </ul>	ネットワークアダプタ #4

# 必要なインターネット URL と完全修飾ドメイン名

アプライアンスでは、次のURLと完全修飾ドメイン名(FQDN)の表へのセキュアなアクセスが必要です。

この表では、各 URL と FQDN を使用する機能について説明します。IP トラフィックがアプラ イアンスとこれらのリソースとの間を移動できるように、ネットワークファイアウォールまた はプロキシサーバのいずれかを設定する必要があります。リストされている URL と FQDN に このアクセスを提供できない場合は、関連付けられている機能が損なわれるか、または動作不 能になります。

インターネットへのプロキシアクセスの要件の詳細については、「インターネットへのアクセ スを保護する」を参照してください。

目的	Cisco DNA Center がアクセスする必要がある URL と FQDN
システムとアプリケーション パッケージ ソフトウェアにアップデートをダウンロー ドし、製品チームにユーザーからのフィー ドバックを送信します。	推奨:*.ciscoconnectdna.com:443 <sup>1</sup> ワイルドカードを回避したいお客様は、代わりに 次の URL を指定できます。 ・https://www.ciscoconnectdna.com ・https://cdn.ciscoconnectdna.com ・https://registry.ciscoconnectdna.com ・https://registry.ciscoconnectdna.com
Cisco DNA Center パッケージの更新	https://*.ciscoconnectdna.com/*
スマートアカウントおよび SWIM ソフト ウェアのダウンロード	https://apx.cisco.com https://cloudsso.cisco.com/as/token.oauth2 https://*.cisco.com/*
クラウドドメインでの認証	https://dnaservices.cisco.com
ユーザーフィードバック	https://dnacenter.uservoice.com

#### 表 8: 必要な URL と FQDN アクセス

目的	Cisco DNA Center がアクセスする必要がある URL と FQDN
Cisco Meraki との統合	推奨:*.meraki.com:443
	ワイルドカードを回避したいお客様は、代わりに 次の URL を指定できます。
	• dashboard.meraki.com:443
	• api.meraki.com:443
	• n63.meraki.com : 443
Cisco.com とシスコ スマートライセンスと	*.cisco.com : 443
	ワイルドカードを回避したいお客様は、代わりに 次の URL を指定できます。
	software.cisco.com
	cloudsso.cisco.com
	• cloudsso1.cisco.com
	cloudsso2.cisco.com
	apiconsole.cisco.com
	• api.cisco.com
	• apx.cisco.com
	• sso.cisco.com
	• apmx-prod1-vip.cisco.com
	apmx-prod2-vip.cisco.com
	• tools.cisco.com
サイトとロケーションマップで正確な情報	• www.mapbox.com
をレンダリング	• *. tiles.mapbox.com/*: 443 プロキシの場合、宛 先は *.tiles.mapbox.com/* です。
Cisco AI Network Analytics のデータ収集では、クラウドホストへのアウトバウンド	<ul> <li>https://api.use1.prd.kairos.ciscolabs.com(米国東部リージョン)</li> </ul>
HTTPS (TCP 443) アクセスを許可するようにネットワークまたはHTTPプロキシを 設定	• https://api.euc1.prd.kairos.ciscolabs.com(欧州 中央リージョン)

<sup>1</sup> シスコはciscoconnectdna.comとそのサブドメインを所有し、維持しています。Cisco Connect DNA インフラストラクチャは、シスコのセキュリティおよび信頼に関するガイドライン を満たし、継続的なセキュリティテストを実施しています。このインフラストラクチャ

は堅牢であり、組み込みのロードバランシング機能と自動化機能を備えています。24時間 365 日の可用性を確保するために、クラウド運用チームが監視と保守を行います。

# インターネットへのアクセスを保護する

デフォルトでは、アプライアンスは、インターネット経由でアクセスして、ソフトウェアアッ プデート、ライセンス、デバイスソフトウェアをダウンロードしたり、最新のマップ情報、 ユーザフィードバックなどを提供したりするように設定されています。これらの目的でイン ターネット接続を提供することは必須要件です。

HTTPS プロキシサーバを使用することは、リモート URL に安全にアクセスするための信頼性 の高い方法です。「必要なインターネット URL と完全修飾ドメイン名」に記載されている URL にアプライアンスがアクセスするために必要なアクセス権を付与するには、HTTPS プロキシ サーバを使用するようお勧めします。アプライアンス設置時に、この目的で使用するプロキシ サーバの URL とポート番号を、プロキシのログインクレデンシャルとともに入力するように 求められます(プロキシが必要な場合)。

このリリースでは、アプライアンスはHTTPを介したプロキシサーバとの通信のみをサポート しています。HTTPS プロキシサーバをネットワーク内の任意の場所に配置できます。プロキ シサーバは HTTPS を使用してインターネットと通信しますが、アプライアンスは HTTP 経由 でプロキシサーバと通信します。そのためアプライアンスの設定中、プロキシを設定するとき にプロキシの HTTP ポートを指定するようお勧めします。

設定後にプロキシ設定を変更する必要が生じた場合は、GUIを使用して行うことができます。

## 必要なネットワークポート

次の表にアプライアンスが使用する既知のネットワークサービスポートを一覧表示します。こ れらのポートが、ファイアウォール設定またはプロキシゲートウェイのどちらで開くかを問わ ず、アプライアンスとの間で送受信されるトラフィックフローに対して開いていることを確認 する必要があります。

SDAインフラストラクチャを採用するネットワークにアプライアンスを導入する場合は、追加 のポート、プロトコル、およびトラフィックタイプに対応している必要があります。詳細につ いては、「必要なポートとプロトコル: Cisco Software-Defined Access」を参照してください。

(注) Cisco DNA Center の展開時に留意すべきセキュリティ上の考慮事項については、『Cisco Digital Network Architecture Center セキュリティ ベスト プラクティス ガイド』を参照してください。

表 9: ポート:着信トラフィック

ポート番号	許可されるトラフィック	プロトコル(TCP または UDP)
22	SSH	[TCP]

ポート番号	許可されるトラフィック	プロトコル(TCP または UDP)
67	BOOTP	UDP
80	НТТР	ТСР
111	NFS(アシュアランスのバッ クアップに使用)	TCP および UDP
123	NTP	UDP
162	SNMP	UDP
443	HTTPS	ТСР
2049	NFS(アシュアランスのバッ クアップに使用)	TCP および UDP
2222	SSH	[TCP]
9991	マルチキャストドメインネー ム システム(mDNS)	ТСР
20048	NFS(アシュアランスのバッ クアップに使用)	TCP および UDP
32767	NFS(アシュアランスのバッ クアップに使用)	TCP および UDP

### 表 10:ポート:発信トラフィック

ポート番号	許可されるトラフィック	プロトコル(TCP また は UDP)
22	SSH(ネットワーク デバイスと Cisco ISE へ)	ТСР
23	Telnet (ネットワークデバイスへ)	ТСР
53	DNS	UDP

ポート番号	許可されるトラフィック	プロトコル(TCP また は UDP)
80	ポート 80 は発信プロキシ設定に使用できます。	ТСР
	プロキシが設定ウィザードによって設定されている場合(プロキシがすでにネットワークに使用されている 場合)、ほかの一般的なポート(8080 など)も使用 できます。	
	シスコのサポートする証明書プールとトラストプール にアクセスするには、アプライアンスから次のリスト に記載されたシスコのアドレスに対する発信 IP トラ フィックを許可するようにネットワークを設定しま す。 https://www.cisco.com/security/pki/	
123	NTP	UDP
161	SNMP エージェント	UDP
443	HTTPS	ТСР
5222、8910	Cisco ISE XMP (PxGrid 用)	ТСР
9060	Cisco ISE ERS API トラフィック	ТСР

(注) ほかにもアプライアンスからシスコのアドレス (https://www.cisco.com/security/pki/) に対する 発信 IP トラフィックを許可するようネットワークを設定する方法があります。アプライアン スからシスコがサポートする証明書およびトラストプールにアクセスするには、上述の URL に記載されている IP アドレスを使用します。

# 必要なポートとプロトコル: Cisco Software-Defined Access

このトピックでは、次の図に示すような一般的な Cisco SD-Access ファブリック展開にネイティ ブなポート、プロトコル、およびトラフィックのタイプについて詳しく説明します。



図 10: Cisco SD-Access ファブリック インフラストラクチャ

ネットワークにCisco SD-Access を実装している場合は、次の表の情報を使用して、ネットワーク管理の自動化に必要なアクセス権をCisco SD-Access に提供しながら、Cisco DNA Center インフラストラクチャを適切に保護するファイアウォールとセキュリティポリシーを計画します。

I

### 表 11 : Cisco DNA Center トラフィック

送信元ポー ト <sup>2</sup>	送信元	宛先ポー ト	接続先	説明
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	UDP 53	DNS Server	Cisco DNA Center から DNS サーバ の間で使用
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 22	ファブリックア ンダーレイ	Cisco DNA Center からファブリッ クスイッチのループバックの間で SSH に使用
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 23	ファブリックア ンダーレイ	Cisco DNA Center からファブリッ クスイッチのループバックの間で Telnet に使用
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	UDP 161	ファブリックア ンダーレイ	Cisco DNA Center からファブリッ クスイッチのループバックの間で SNMP デバイス検出に使用
ICMP	Cisco DNA Center	ICMP	ファブリックア ンダーレイ	Cisco DNA Center からファブリッ クスイッチのループバックの間で SNMP デバイス検出に使用
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	ファブリックア ンダーレイ	Cisco DNA Center からファブリッ クスイッチの間でソフトウェア アップグレードに使用(プロキシ がない場合はインターネットへの 間でも使用)
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	UDP 6007	スイッチとルー タ	Cisco DNA Center からスイッチお よびルータの間で NetFlow に使用
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 80	ファブリックア ンダーレイ	Cisco DNA Center からファブリッ クスイッチの間でプラグアンドプ レイ (PnP) に使用 (プロキシが ない場合はインターネットへの間 でも使用)
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 830	ファブリックア ンダーレイ	Cisco DNA Center からファブリッ クスイッチの間で NETCONF に使 用(Cisco SD-Access 組み込みワイ ヤレス)
UDP 123	Cisco DNA Center	UDP 123	ファブリックア ンダーレイ	Cisco DNA Center からファブリッ クスイッチの間で LAN 自動化中 の初回期間に使用

いずれか (Any)	Cisco DNA Center	UDP 123	NTP Server	Cisco DNA Center から NTP サーバ の間で使用
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 22、 UDP 161	シスコ ワイヤレ ス コントローラ	Cisco DNA Center からシスコ ワイ ヤレス コントローラの間で使用
ICMP	Cisco DNA Center	ICMP	シスコ ワイヤレ ス コントローラ	Cisco DNA Center からシスコ ワイ ヤレス コントローラの間で使用
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 80、 TCP 443	AP	Cisco DNA Center からセンサ、ア クティブセンサ(Cisco Aironet 1800S)の AP の間で使用
いずれか (Any)	AP	TCP 32626	Cisco DNA Center	Cisco DNA アシュアランスインテ リジェントキャプチャ(gRPC)機 能で使用されるトラフィック統計 情報とパケットキャプチャデータ の受信に使用されます。

<sup>2</sup>のクラスタ、PKI、SFTP サーバ、プロキシポートのトラフィックは、この表には含まれていません。

表12:インターネット接続トラフィック

送信元ポート	送信元	宛先ポー ト	接続先	説明
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	registry.ciscoconnectdna.com	Cisco DNA Center パッケージ更新のダ ウンロード
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	www.ciscoconnectdna.com	Cisco DNA Center パッケージ更新のダ ウンロード
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	registry-cdn.ciscoconnectdna.com	Cisco DNA Center パッケージ更新のダ ウンロード
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	cdn.ciscoconnectdna.com	Cisco DNA Center パッケージ更新のダ ウンロード
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	software.cisco.com	デバイスソフトウェ アのダウンロード
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	cloudsso.cisco.com	Cisco.com とスマー トアカウントのクレ デンシャルの検証

いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	cloudsso1.cisco.com	Cisco.com とスマー トアカウントのクレ デンシャルの検証
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	cloudsso2.cisco.com	Cisco.com とスマー トアカウントのクレ デンシャルの検証
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	apiconsole.cisco.com	CSSM スマートライ センス API
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	sso.cisco.com	CCOとスマートライ センス
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	api.cisco.com	CCOとスマートライ センス
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	apx.cisco.com	CCOとスマートライ センス
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	dashboard.meraki.com	Meraki の統合
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	api.meraki.com	Meraki の統合
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	n63.meraki.com	Meraki の統合
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	dnacenter.uservoice.com	ユーザフィードバッ クの送信
いずれか (Any)	Cisco DNA Center Admin Client	TCP 443	*.tiles.mapbox.com	ブラウザでのマップ のレンダリング (プ ロキシ経由のアクセ スの場合、宛先は *.tiles.mapbox.com/*)
いずれか (Any)	Cisco DNA Center	TCP 443	www.mapbox.com	マップとシスコワイ ヤレスコントローラ の国番号の識別

表 13 : Cisco Software-Defined Access	ファブリック	アンダーレイ	トラフィック
--------------------------------------	--------	--------	--------

送信元ポー	送信元	宛先ポート	接続先	説明
<b>ト</b> <sup>2</sup>				

UDP 68	ファブリックア ンダーレイ	UDP 67	DHCP サー バ	ファブリックスイッチ、ルー タからDHCPサーバの間で、 ファブリックエッジノードに よって開始されるDHCPリ レーパケットに使用。
いずれか (Any)	ファブリックア ンダーレイ	TCP 80	Cisco DNA Center	ファブリックスイッチ、ルー タループバック IP から Cisco DNA Center の間で PnP に使 用
いずれか (Any)	ファブリックア ンダーレイ	TCP 443	Cisco DNA Center	ファブリックスイッチ、ルー タループバック IP から Cisco DNA Center の間でイメージ のアップグレードに使用
いずれか (Any)	ファブリックア ンダーレイ	UDP 162	Cisco DNA Center	ファブリックスイッチ、ルー タループバック IP から Cisco DNA Center の間で SNMP ト ラップに使用
いずれか (Any)	ファブリックア ンダーレイ	UDP 514	Cisco DNA Center	ファブリックスイッチ、ルー タから Cisco DNA アシュアラ ンス
いずれか (Any)	ファブリックア ンダーレイ	UDP 6007	Cisco DNA Center	ファブリックスイッチおよび ルータから Cisco DNA Center の間で NetFlow に使用
いずれか (Any)	ファブリックア ンダーレイ	UDP 123	Cisco DNA Center	ファブリックスイッチから Cisco DNA Center の間で LAN 自動化時に使用
ICMP	ファブリックア ンダーレイ	ІСМР	Cisco DNA Center	ファブリックスイッチ、ルー タループバックから Cisco DNA Center の間で SNMP デ バイス検出に使用
UDP 161	ファブリックア ンダーレイ	いずれか (Any)	Cisco DNA Center	ファブリックスイッチ、ルー タループバックから Cisco DNA Center の間で SNMP デ バイス検出に使用
いずれか (Any)	ファブリックア ンダーレイ	UDP 53	DNS Server	ファブリックスイッチ、ルー タから DNS サーバの間で名 前解決に使用

TCP および UDP 4342	ファブリックア ンダーレイ	TCP および UDP 4342	ファブリッ クルータお よびスイッ チ	LISP でカプセル化された制 御メッセージ
TCP および UDP 4342	ファブリックア ンダーレイ	いずれか (Any)	ファブリッ クルータお よびスイッ チ	LISP コントロールプレーン 通信
いずれか (Any)	ファブリックア ンダーレイ	UDP 4789	ファブリッ クルータお よびスイッ チ	ファブリックカプセル化デー タパケット(VXLAN-GPO)
いずれか (Any)	ファブリックア ンダーレイ	UDP 1645/1646/1812/1813	ISE	ファブリックスイッチ、ルー タループバック IP から ISE の間で RADIUS に使用
ICMP	ファブリックア ンダーレイ	ICMP	ISE	ファブリックスイッチ、ルー タから ISE の間でトラブル シューティングに使用
UDP 1700/3799	ファブリックア ンダーレイ	いずれか (Any)	ISE	ファブリックスイッチから ISE の間で気付アドレス (CoA)に使用
いずれか (Any)	ファブリックア ンダーレイ	UDP 123	NTP Server	ファブリックスイッチ、ルー タループバック IP から NTP サーバの間で使用
いずれか (Any)	control-plane	UDP および TCP 4342/4343	シスコ ワイ ヤレス コン トローラ	コントロールプレーンのルー プバック IP からシスコ ワイ ヤレス コントローラの間で ファブリック対応ワイヤレス に使用

<sup>3</sup> ボーダー ルーティング プロトコル、SPAN、プロファイリング、およびテレメトリトラフィックは、この表には含まれていません。

表 14:シスコ ワイヤレス コントローラ トラフィック

送信元ポート	送信元	宛先ポート	接続先	説明
UDP 5246/5247/5248	シスコ ワイヤレス コントローラ	いずれか (Any)	AP IP プール	シスコワイヤレスコントロー ラから AP サブネットの間で CAPWAP に使用

E	I	r	I	1
ICMP	シスコ ワイヤレス コントローラ	ICMP	AP IP プール	シスコワイヤレスコントロー ラから AP の間でトラブル シューティング目的の ping を 許可するために使用
いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	TCP 25103	Cisco DNA Center	シスコワイヤレスコントロー ラから Cisco DNA Center の間 で アシュアランス に使用
いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	UDP 69/5246/5247 TCP 22	AP IP プール	シスコワイヤレスコントロー ラから AP サブネットの間で CAPWAP に使用
いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	UDPおよび TCP 4342/4343	コントロール プレーン	シスコワイヤレスコントロー ラからコントロールプレーン のループバック IP の間で使用
いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	TCP 22	Cisco DNA Center	シスコワイヤレスコントロー ラから Cisco DNA Center の間 でデバイス検出に使用
UDP 161	シスコ ワイヤレス コントローラ	いずれか (Any)	Cisco DNA Center	シスコワイヤレスコントロー ラから Cisco DNA Center の間 で SNMP に使用
いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	UDP 162	Cisco DNA Center	シスコワイヤレスコントロー ラから Cisco DNA Center トラッ プの間で SNMP トラップに使 用
いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	TCP 16113	Cisco Mobility Services Engine (MSE) と Cisco SPECTRUM EXPERT	シスコワイヤレスコントロー ラから Cisco MSE、 SPECTRUM EXPERT の間で NMSP に使用
ІСМР	シスコ ワイヤレス コントローラ	ICMP	Cisco DNA Center	シスコワイヤレスコントロー ラからトラブルシューティン グ目的の ping を許可するため に使用
いずれか (Any)	HA サーバー	TCP 1315	Cisco DNA Center	データベースサーバー HA (QoS)
いずれか (Any)	HA サーバー	TCP 1316 ~ 1320	Cisco DNA Center	HA データベースポート
いずれか (Any)	HA Web サーバー	TCP 8082	Cisco DNA Center	HA Web サーバーのヘルスモ ニターポート

いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラと各種 Syslog サーバ	UDP 514	シスコ ワイ ヤレス コン トローラ	Syslog (オプション)
いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	UDP 53	DNS Server	シスコワイヤレスコントロー ラから DNS サーバの間で使用
いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	TCP 443	ISE	シスコワイヤレスコントロー ラから ISE の間でゲスト SSID Web 認証に使用
いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	UDP 1645、 1812	ISE	シスコワイヤレスコントロー ラから ISE の間で RADIUS 認 証に使用
いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	UDP 1646、 1813	ISE	シスコワイヤレスコントロー ラから ISE の間で RADIUS ア カウンティングに使用
いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	UDP 1700、 3799	ISE	シスコワイヤレスコントロー ラから ISE の間で RADIUS CoA に使用
ICMP	シスコ ワイヤレス コントローラ	ICMP	ISE	シスコワイヤレスコントロー ラから ISE ICMP の間でトラブ ルシューティングに使用
いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	UDP 123	NTP サーバ	シスコワイヤレスコントロー ラから NTP サーバの間で使用

表 15: ファブリック対応ワイヤレス AP IP プールトラフィック

送信元ポー ト	送信元	宛先ポート	接続先	説明
UDP 68	AP IP プー ル	UDP 67	DHCP サーバ	AP IP プールから DHCP サー バーの間で使用。
ICMP	AP IP プー ル	ІСМР	DHCP サーバ	AP IP プールから ICMP の間で トラブルシューティングに使 用。
いずれか (Any)	AP IP プー ル	514	各種	Syslog:宛先設定可能。Default is 255.255.255.255.
いずれか (Any)	AP IP プー ル	UDP 69/5246/5247/5248	シスコワイヤレ スコントローラ	AP IP プールからシスコ ワイヤ レス コントローラの間で CAPWAP に使用。

I

ICMP	AP IP プー	ICMP	シスコワイヤレ	APIPプールからシスコワイヤ
	ル		スコントローラ	レス コントローラの間でトラ
				ブルシューティング目的のping
				を許可するために使用。

### 表 16: ISE トラフィック

送信元ポート <sup>4</sup>	送信 元	宛先ポート	接続先	説明
いずれか (Any)	ISE	TCP 64999	Border	ISE からボーダーノードの間で SGT Exchange Protocol (SXP) に 使用
いずれか (Any)	ISE	UDP 514	Cisco DNA Center	ISE から Syslog サーバ(Cisco DNA Center)の間で使用
UDP 1645/1646/1812/1813	ISE	いずれか (Any)	ファブリックアン ダーレイ	ISEからファブリックスイッチ、 ルータの間で RADIUS と認証用 に使用
いずれか (Any)	ISE	UDP 1700/3799	ファブリックアン ダーレイ	ISEからファブリックスイッチ、 ルータループバック IP の間で CoA に使用
ІСМР	ISE	ICMP	ファブリックアン ダーレイ	ISE からファブリックスイッチ の間でトラブルシューティング に使用
いずれか (Any)	ISE	UDP 123	NTP Server	ISE と NTP サーバの間で使用
UDP 1812/1645/1813/1646	ISE	いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	ISE からシスコ ワイヤレス コン トローラの間で RADIUS に使用
ІСМР	ISE	ICMP	シスコ ワイヤレス コントローラ	ISE からシスコ ワイヤレス コン トローラの間でトラブルシュー ティングに使用

4 注:高可用性およびプロファイリングトラフィックは、この表には含まれていません。

#### 表 17: DHCP サーバトラフィック

送信元ポー ト	送信元	宛先ポー ト	接続先	説明
UDP 67	DHCP サー バ	UDP 68	AP IP プール	DHCP サーバからファブリック AP の間で使用
ICMP	DHCP サー バ	ICMP	AP IP プール	トラブルシューティング用の ICMP:ファブリックからDHCPの 間で使用

UDP 67	DHCP サー バ	UDP 68	ファブリックアン ダーレイ	DHCPからファブリックスイッチ、 ルータの間で使用
ICMP	DHCP サー バ	ICMP	ファブリックアン ダーレイ	トラブルシューティング用の ICMP:ファブリックからDHCPの 間で使用
UDP 67	DHCP サー バ	UDP 68	ユーザー IP プール	DHCP サーバからファブリックス イッチ、ルータの間で使用
ICMP	DHCP サー バ	ICMP	ユーザー IP プール	トラブルシューティング用の ICMP:ユーザとDHCPの間で使用

#### 表 18:NTPサーバトラフィック

送信元ポー ト	送信元	宛先ポート	接続先	説明
UDP 123	NTP Server	いずれか (Any)	ISE	NTP サーバから ISE の間で使 用
UDP 123	NTP Server	いずれか (Any)	Cisco DNA Center	NTP サーバから Cisco DNA Center
UDP 123	NTP Server	いずれか (Any)	ファブリックアン ダーレイ	NTP サーバからファブリック スイッチ、ルータループバッ クの間で使用
UDP 123	NTP Server	いずれか (Any)	シスコ ワイヤレス コントローラ	NTP サーバからシスコ ワイヤ レス コントローラの間で使用

### 表 19:DNS トラフィック

送信元ポー ト	送信元	宛先ポート	接続先	説明
UDP 53	DNS Server	いずれか (Any)	ファブリックアン ダーレイ	DNS サーバからファブリッ クスイッチの間で使用
UDP 53	DNS Server	いずれか (Any)	シスコワイヤレスコ ントローラ	DNS サーバからシスコ ワイ ヤレス コントローラの間で 使用

# 必須の設定情報

アプライアンスの設定中、必要な IP アドレスおよびサブネットに加えて、次の情報を入力するように求められます。

- Linux ユーザ名(Linux User Name): これは maglev です。このユーザ名はプライマリ ノードとアドオンノードの両方を含む、クラスタ内のすべてのアプライアンスで共通して おり、変更できません。
- Linux パスワード(Linux Password): Linux ユーザ名 maglev のパスワードを指定します。このパスワードは、Linux コマンドラインを使用して各アプライアンスへのセキュアなアクセスを保証します。必要に応じてクラスタ内の各アプライアンスのLinux ユーザ名 maglev ごとに異なる Linux パスワードを割り当てることができます。

デフォルト値はないため、ユーザが Linux パスワードを作成する必要があります。パス ワードは次の要件を満たしている必要があります。

- 長さは8文字以上にすること。
- タブも改行も含まないこと。
- 次のうち少なくとも3つのカテゴリの文字を含むこと。
  - •アルファベットの大文字
  - •アルファベットの小文字
  - 数字
  - •特殊文字(!や#など)

Linux パスワードは暗号化され、Cisco DNA Center データベースにハッシュされます。マ ルチノードクラスタを展開している場合は、各アドオンノードにプライマリノードのLinux パスワードを入力するように求められます。

- パスワード生成シード(Password Generation Seed)(オプション): Linux パスワードを 作成する代わりに、シードフレーズを入力し、[パスワードの生成(Generate Password)]
   を押す方法もあります。[Maglev Configuration] ウィザードでは、このシードフレーズを 使用してランダムで安全なパスワードが生成されます。[Auto Generated Password]フィー ルドを使用すると、生成されたパスワードをさらに編集できます。
- 管理者パスフレーズ(Administrator Passphrase): クラスタ内の Cisco DNA Center への Webアクセスに使用されるパスワードを指定します。これはスーパーユーザ権限を持つ管 理者のアカウント admin のパスワードであり、初めて Cisco DNA Center にログインする ときに使用します(「初回ログイン」を参照)。初めてログインすると、このパスワード を変更するよう求められます。

このパスワードにはデフォルトがないため、作成する必要があります。管理者のパスフレーズは、上述の Linux パスワードと同じ要件を満たす必要があります。

CISCO IMC ユーザパスワード: Cisco IMC GUI へのアクセスに使用するパスワードを指定します。工場出荷時のデフォルトは「password」ですが、Webブラウザを使用してアクセスするために CIMC を初めて設定するとき、変更を求められます(「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」を参照)。

Cisco IMC ユーザパスワードは、上述の Linux パスワードと同じ要件を満たす必要があり ます。工場出荷時の初期状態にリセットした場合にのみ、*password* に戻すことができま す。

 ・プライマリノード IP アドレス(Primary Node IP Address): クラスタにアドオンノード をインストールする場合にのみ必要です。これは、プライマリノード上のクラスタポート の IP アドレスです(「インターフェイスケーブル接続」を参照)。

## 必要な初期設定情報

アプライアンスを設定したら、Cisco DNA Center にログインして、必須の設定タスクを完了し ます。この初回設定では次の情報が必要になります。

- スーパーユーザ権限を持つ管理者の新しいパスワード(New Admin Superuser Password): Cisco DNA Center 管理者の新しいスーパーユーザパスワードを入力するように求められま す。スーパーユーザ権限を持つ管理者のパスワードをリセットすると、運用上のセキュリ ティが向上します。これはたとえば Cisco DNA Center アプライアンスを設置して設定した 企業スタッフが Cisco DNA Center のユーザまたは管理者ではない場合に特に重要です。
- Cisco.com ログイン情報(Cisco.com Credentials): ソフトウェアのダウンロードを登録し、電子メールでシステム通信を受信するために組織が使用する Cisco.com ユーザ ID とパスワード。
- シスコスマートアカウントのクレデンシャル(Cisco Smart Account Credentials): 組織 がデバイスとソフトウェアライセンスの管理に使用する Cisco.com スマートアカウントの ユーザ ID とパスワード。
- IP アドレスマネージャの URL とクレデンシャル (IP Address Manager URL and Credentials) : Cisco DNA Center で使用する予定のサードパーティ製 IP アドレスマネー ジャ (IPAM) サーバのホスト名、URL、管理者ユーザ名、管理者パスワード。このリリー スでは InfoBlox と Bluecat がサポートされています。
- ・プロキシURL、ポート、クレデンシャル(Proxy URL, Port and Credentials): Cisco DNA Center ソフトウェアのアップデートの取得、デバイスライセンスの管理などのダウンロー ド可能なコンテンツの取得のために Cisco DNA Center で使用するプロキシサーバの URL (ホスト名または IP アドレス)、ポート番号、ユーザ名、ユーザパスワード。
- Cisco DNA Centerユーザ(Users): 作成する新規 Cisco DNA Center ユーザのユーザ名、 パスワード、権限の設定。シスコは通常の Cisco DNA Center 操作すべてで、常にこれらの 新しいユーザアカウントのいずれかを使用するよう推奨しています。Cisco DNA Center の 再設定や、スーパーユーザ権限が明示的に必要となるその他の操作を除き、管理者用スー パーユーザアカウントは使用しないようにしてください。

この情報を入力する初回セットアップウィザードを起動して対応する方法の詳細については、 「初回ログイン」を参照してください。 また残りの設定タスクを完了するために次の情報が必要になります。これは初回ログイン後に 実行できます。

ISE サーバーの IP とログイン情報(ISE Server IP and Credentials): Cisco ISE サーバーの IP アドレス、管理ユーザー名、パスワードが必要です。これらは「Cisco ISE と Cisco DNA Center の統合の統合」で説明されているように、組織の ISE サーバにログインして Cisco DNA Center とのデータ共有設定を行うために必要です。

新規またはアップグレードのインストールではCisco DNA Center 1.3.3.0 が設定され、Cisco ISEが認証およびポリシー(AAA)サーバとして設定されているかどうかを確認します。 正しいバージョンの Cisco ISE がすでに設定されている場合、Cisco ISE から Cisco DNA Center へのグループポリシーデータの移行を開始できます。

Cisco ISE が設定されていない場合、または必要なバージョンの Cisco ISE が存在しない場合は、Cisco DNA Center がインストールされますが、グループベースのポリシーは無効になります。Cisco ISE をインストールまたはアップグレードして、Cisco DNA Center に接続する必要があります。その後はデータ移行を開始できます。

Cisco DNA Center 以前のバージョンに存在するデータは、アップグレード時に保持されま す。データ移行操作では Cisco DNA Center と Cisco ISE のデータがマージされます。移行 で競合が発生した場合は Cisco ISE のデータが優先されます。

Cisco DNA Center が使用できなくなった場合、さらに Cisco DNA Center より前のポリシー を管理する必要がある場合、Cisco ISE には読み取り専用設定を上書きするオプションがあ ります。これで Cisco ISE のポリシーを直接変更できます。Cisco DNA Center が再び使用 可能になったら、Cisco ISE の読み取り専用設定を無効にして、Cisco DNA Center の[グルー プベースのアクセスコントロール設定(Group Based Access Control Settings)] ページを同 期しなおす必要があります。Cisco ISE で直接行われた変更は Cisco DNA Center に反映さ れないため、絶対に必要な場合にのみこのオプションを使用してください。

認証およびポリシーサーバ情報(Authorization and Policy Server Information):認証サーバまたポリシーサーバとして Cisco ISE を使用している場合、前項目と同じ情報が必要になるほか、ISE CLI ユーザ名、CLI パスワード、サーバ FQDN、サブスクライバ名(cdnac など)、ISE SSH キー(オプション)、プロトコル選択(RADIUS または TACACS)、認証ポート、アカウンティングポート、再試行、タイムアウトの設定が必要となります。

Cisco ISE 以外の認証サーバ、ポリシーサーバを使用している場合、サーバの IP アドレス、 プロトコルの選択(RADIUS または TACACS)、認証ポート、アカウンティングポート、 再試行、タイムアウトの設定が必要になります。

この情報は、選択した認証サーバー、ポリシーサーバーと Cisco DNA Center を統合するために必要です。詳細については「認証サーバとポリシー サーバの設定」で説明しています。

 SNMPの再試行とタイムアウト値(SNMP Retry and Timeout Values): これは「SNMP プロパティの設定」で説明されているように、デバイスのポーリングとモニタリングを セットアップするために必要です。

I



# アプライアンスの設置

- アプライアンスのインストールワークフロー (59ページ)
- •アプライアンスを開梱して点検 (59ページ)
- •インストール警告とガイドラインの確認 (60ページ)
- ラック要件の確認(62ページ)
- アプライアンスの接続および電源投入(63ページ)
- LED の確認 (63 ページ)

# アプライアンスのインストール ワークフロー

Cisco DNA Center アプライアンスを物理的に設置するには、この章で説明されているタスクを 実行します。設置するアプライアンスごとにこれらのタスクを実行します。なおプライマリ ノードを設定する前に、すべてのアプライアンスを設置してください。

これらのタスクがすべて完了したら、「アプライアンス設定の準備の概要」で説明されている 手順に進みます。

# アプライアンスを開梱して点検

# Â

注意 内部アプライアンスのコンポーネントを取り扱うときは、静電気防止用ストラップを着用し、 モジュールのフレームの端のみを持つようにしてください。

- **ステップ1** 段ボール箱からアプライアンスを取り出します。(将来、アプライアンスの輸送が必要になったときに備 え)梱包材はすべて保管しておいてください。
- ステップ2 カスタマーサービス担当者から提供された機器リストと梱包品の内容を照合します。すべての品目が揃っていることを確認してください。
- **ステップ3** 破損や不一致がないことを確認し、万一不備があった場合は、シスコカスタマーサービス担当者にご連絡 ください。次の情報を用意しておきます。

- •発送元の請求書番号(梱包明細を参照)
- ・破損している装置のモデルとシリアル番号
- 破損状態の説明
- •破損による設置への影響

# インストール警告とガイドラインの確認



Â

警告 システムの過熱を防ぐため、最大推奨周囲温度の 35℃ (95°F)を超えるエリアで操作しない でください。

ステートメント 1047

### ß

警告 いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。

ステートメント 1019

Â

警告 この製品は、設置する建物に短絡(過電流)保護機構が備わっていることを前提に設計されて います。保護デバイスの定格 250 V、15 A を超えないようにしてください。ステートメント 1005 警告 装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

ステートメント 1074

### 

Â

警告 この装置は、立ち入りが制限された場所への設置を前提としています。立ち入りが制限された 場所とは、特殊な器具、錠と鍵、またはその他の保安手段を使用しないと入れない場所を意味 します。

ステートメント 1017

次の4つは112コアアプライアンスに固有の警告です。

### Â

警告 この装置は、アースさせる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかはっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

ステートメント 1024

### Â

警告 北欧諸国(ノルウェー、フィンランド、スウェーデン、デンマーク)では、このシステムは、 すべての機器のメインアース接続の電圧が同じ(等電位接地)であり、システムが接地された 電源コンセントに接続されている、アクセス制限区域に設置する必要があります。

ステートメント 328

### Â

警告 システムの電源接続の前に高リーク電流アース接続を行う必要があります。 ステートメント 342

### Â

警告本機器は、電力を供給する前に、お客様が準備した地線を使用して外部接地する必要があります。アースが適切かどうかはっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

ステートメント 366

⚠

注意 アプライアンスを取り付ける際は、適切なエアーフローを確保するために、レールキットを使用する必要があります。レールキットを使用せずに、ユニットを別のユニットの上に物理的に置く(つまり積み重ねる)と、アプライアンスの上部にある通気口がふさがれます。これは、過熱したり、ファンの回転が速くなったり、電力消費が高くなったりする原因となります。アプライアンスをラックに取り付けるときは、アプライアンス間で必要な最小の間隔を確保できるレールキットのマウントを推奨します。レールキットを使用してユニットをマウントする場合は、アプライアンス間の間隔を余分にとる必要はありません。

注意 鉄共振テクノロジーを使用するUPSモデルは使用しないでください。これらのUPSモデルは、 Cisco UCS などのシステムに使用すると、データトラフィックパターンの変化によって入力電 流が大きく変動し、動作が不安定になるおそれがあります。

アプライアンスを設置する際には、次のガイドラインに従ってください。

- アプライアンスを設置する前に、設置場所を検討して準備します。設置場所を計画する際に推奨される作業については、『Cisco UCS サイト計画および準備作業(Cisco UCS Site Preparation Guide)』を参照してください。
- アプライアンスの作業に支障がないように、また適切なエアーフローが確保されるよう
   に、アプライアンス周辺に十分なスペースを確保できることを確認してください。このアプライアンスでのエアーフローは、前面から背面に流れます。
- ・設置場所の空調が「環境仕様」に記載された温度要件に適合していることを確認します。
- キャビネットまたはラックが、「ラック要件の確認」に記載された要件に適合していることを確認します。
- 設置場所の電源が、「電力仕様」に記載された要件に適合していることを確認します。使 用可能な場合は、電源障害に備えて UPS を使用してください。

## ラック要件の確認

適切な操作を行うため、アプライアンスを設置するラックは次の要件を満たす必要がありま す。

- ・標準的な 19 インチ(48.3 cm) 幅 4 支柱 EIA ラック(ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠した英国ユニバーサル ピッチに適合するマウント支柱付き)。
- ・付属のスライドレールを使用する場合、ラック支柱の穴は、9.6mm(0.38インチ)の正方形、7.1mm(0.28インチ)の丸形、#12-24 UNC、または#10-32 UNC になります。
- サーバごとのラックの垂直方向のスペースは次を満たす必要があります。

- •44 および 56 コアアプライアンスの場合、1 RU は1.75 インチ(44.45 mm) に相当しま す。
- •112 コアアプライアンスの場合、7.0 インチ(177.8 mm)に相当する RU が 4 つありま す。

## アプライアンスの接続および電源投入

この項では、アプライアンスの電源をオンにして、それが機能していることを確認する方法について説明します。

**ステップ1** 付属の電源コードをアプライアンスの各電源装置に接続してから、接地付き AC 電源出力に接続します。 詳細については「電力仕様」を参照してください。

初回のブートアップ時には、アプライアンスがブートしてスタンバイ電源モードになるまでに約2分かかります。

電源ステータス LED は、次のとおりアプライアンスの電源ステータスを示します。

- 消灯:アプライアンスにはAC電力が供給されていません。
- オレンジ:アプライアンスはスタンバイ電源モードです。CIMC と一部のマザーボード機能にだけ電力が供給されています。
- •緑:アプライアンスはメイン電源モードです。電力は、すべてのアプライアンスコンポーネントに供給されています。

電源ステータス LED などのアプライアンス LED の詳細については、「前面パネルと背面パネル」を参照 してください。

ステップ2 前面パネルの KVM コネクタに接続されている付属の KVM ケーブルを使用して、USB キーボードと VGA モニタをサーバに接続します。または、背面パネルの VGA および USB ポートを使用することもできます。 一度に接続できる VGA インターフェイスは1つのみです。

## LED の確認

アプライアンスの電源を投入したら、前面パネルと背面パネルのLEDとボタンの状態をチェックし、機能していることを確認します。

次の図は、物理的な設置と初回の電源投入が終わった後(設定前)動作しているアプライアン スの LED を示しています。 図 11:44 および 56 コアアプライアンスの前面パネル LED





LED	望ましいステータスインジケータ
1	• ドライブ障害 LED : 消灯
	・ドライブアクティビティ LED:緑
2	電源ステータス:緑
3	ユニット識別:消灯
4	システムステータス:緑
5	電源装置ステータス:緑
6	ファンステータス:緑
7	ネットワーク リンク アクティビティ : 消灯

LED	望ましいステータスインジケータ
8	温度ステータス:緑

図 12:112コアアプライアンスの前面パネル LED



LED	望ましいステータスインジケータ
1	電源ステータス:緑
2	ユニット識別:消灯
3	システムステータス:緑
4	ファンステータス:緑
5	温度ステータス:緑
6	電源装置ステータス:緑
7	ネットワーク リンク アクティビティ:消灯
8	ドライブ障害 LED:消灯
9	ドライブアクティビティ LED : 緑
10	CPU モジュール電源のステータス:緑
11	CPU モジュール障害:消灯

図 13:44 および 56 コアアプライアンスの背面パネル LED



LED	望ましいステータスインジケータ
1	正常であれば、最初の電源投入時にはすべてのポートのリンクステータスと リンク速度 LED がオフになります。
	Maglev 設定ウィザード(「Maglev ウィザードを使用したプライマリノードの設定」と「Maglevウィザードを使用したアドオンノードの設定」を参照) またはブラウザベースの設定ウィザード(「ブラウザベースのウィザードを 使用したプライマリノードの設定」と「ブラウザベースのウィザードを使用 したアドオンノードの設定」を参照)を使用して、ネットワーク設定が設定 され、テストされたあと、ケーブル接続済みポートのリンクステータスとリ ンク速度を表す LED は、すべて緑になる必要があります。すべてのケーブ ル接続されていないポートの LED は変化しません。
2	AC 電源ステータス LED : 緑





LED	望ましいステータスインジケータ
1	正常であれば、最初の電源投入時にはすべてのポートのリンクステータスと リンク速度 LED がオフになります。
	Maglev 設定ウィザード(「Maglev ウィザードを使用したプライマリノード の設定」と「Maglev ウィザードを使用したアドオンノードの設定」を参照) またはブラウザベースの設定ウィザード(「ブラウザベースのウィザードを 使用したプライマリノードの設定」と「ブラウザベースのウィザードを使用 したアドオンノードの設定」を参照)を使用して、ネットワーク設定が設定 され、テストされたあと、ケーブル接続済みポートのリンクステータスとリ ンク速度を表す LED は、すべて緑になる必要があります。すべてのケーブ ル接続されていないポートの LED は変化しません。
LED	望ましいステータスインジケータ
-----	--------------------
2	AC 電源ステータス LED : 緑

以上に示されていない色の LED が表示される場合は、問題の状態が発生している可能性があ ります。そのステータスの考えられる原因については、前面パネルと背面パネルを参照してく ださい。アプライアンスの設定に進む前に、問題の状態を修正してください。



# アプライアンスの設定準備

- •アプライアンス設定の準備の概要 (69 ページ)
- Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化 (70ページ)
- ・事前設定チェックの実行 (75ページ)
- ネットワーク インターフェイス カードの無効化 (78ページ)
- •アプライアンスのイメージの再作成 (84ページ)
- Cisco DNA Centerアプライアンスの設定 (90ページ)

# アプライアンス設定の準備の概要

Cisco DNA Center アプライアンスを正常に設定するには、まず、次のタスクを実行します。

- 1. アプライアンスのCisco IMC に対するアクセスを有効にします(「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」を参照)。
- 2. Cisco IMC を使用して、ハードウェアとスイッチの重要な設定を確認、調整します(「事前設定チェックの実行」を参照)。
- アプライアンスに付属する Intel X710-DA4 ネットワーク インターフェイス カード (NIC) が現在有効になっている場合は、これを無効にする必要があります(「ネットワークイン ターフェイス カードの無効化(78ページ)」を参照)。
- Cisco DNA Center ソフトウェアはあらかじめアプライアンスにインストールされています が、状況によってはソフトウェアを再インストールする必要が生じる場合があります(現 在のクラスタリンク設定を変更する前など)。このような場合は、「アプライアンスのイ メージの再作成」で説明されているタスクも実行する必要があります。



- (注) アプライアンスのイメージを作成しなおす必要がない場合は、使用する設定ウィザードに固有の「アプライアンスの設定の概要」のトピックに進みます。
  - •アプライアンスの設定の概要
  - •アプライアンスの設定の概要
  - •アプライアンスの設定の概要

# Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザ アクセスの有効化

「アプライアンスのインストールワークフロー」の説明に従ってアプライアンスをインストー ルした後、Cisco IMC 設定ユーティリティを使用して、アプライアンスの CiIMC ポートに IP アドレスとゲートウェイを割り当てます。この操作で Cisco IMC GUI にアクセスできるように なります。これはアプライアンスを設定するとき使用する必要があります。

Cisco IMC の設定が完了したら、Cisco IMC にログインし、「事前設定チェックの実行」に記載されているタスクを実行して、設定が正しいことを確認します。

 $\mathcal{O}$ 

- **ヒント** お客様の環境のセキュリティを確保するため、アプライアンスの初回ブート時は、Cisco IMC ユーザのデフォルトパスワードを変更するように求められます。Cisco IMC ユーザパスワード を後で変更するには、次のように Cisco IMC GUI を使用します。
  - 1. GUI の左上隅から [Toggle Navigation] アイコン (2) をクリックし、[Admin] > [User Management] を選択します。

[Local User Management] タブがすでに選択されている必要があります。

2. ユーザ1のチェックボックスをオンにして、[Modify user] をクリックします。

[Modify User Details] ダイアログボックスが開きます。

- 3. [Change Password] チェックボックスをオンにします。
- 4. 新しいパスワードを入力して確認し、[Save] をクリックします。

**ステップ1** 次のいずれかを接続して、アプライアンスコンソールにアクセスします。

アプライアンスの前面パネルにある KVM コネクタ(「前面パネルと背面パネル」の前面パネル図のコンポーネント11)に接続する KVM ケーブルか、

- •アプライアンスの背面パネルにある USB ポートと VGA ポート (「前面パネルと背面パネル」の背面パネル図のコンポーネント2 および5) に接続するキーボードとモニタ。
- **ステップ2** アプライアンスの電源コードが接続され、電源がオンになっていることを確認します。
- **ステップ3** 前面パネルの電源ボタンを押して、アプライアンスをブートします。

Cisco IMC 設定ユーティリティの次のようなブート画面が表示されます。



**ステップ4** ブート画面が表示されたら、すぐに **F8**キーを押して Cisco IMC 設定を実行してください。 次に示すように、Cisco IMC 設定ユーティリティに [CIMC User Details] 画面が表示されます。

CIMC User Details	(Press Enter to Sav	e / Continue)
Enter current CIMC pass	sword [	]
Enter new CIMC password	1 E	]
Re-Enter new CIMC pass	iond [	1

- **ステップ5** デフォルトの CIMC ユーザパスワード(新規アプライアンスで付与されるデフォルトのパスワードは 「*password*」)を [Enter current CIMC Password]フィールドに入力します。
- **ステップ6** 次に [Enter New CIMC Password] フィールドと [Re-Enter New CIMC Password] フィールドに新しい CIMC ユーザパスワードを入力して確認します。

[**Re-Enter New CIMC Password**] フィールドで **Enter** を押すと、次に示すように、Cisco IMC 設定ユーティ リティに [**NIC Properties**] 画面が表示されます。

Cisco IMC Configu	uration Utility	Version 2.0 Cisco Syst	ems, Inc.
NTC Properties		~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	and an
NTC mode		NTC redundancu	
Dedicated:	[X]	None:	[X]
Shared LOM:		Active-standby:	
Cisco Card:		Active-active:	
Riser1:	[]	VLAN (Advanced)	
Riser2:	[]	VLAN enabled:	[]
MLom:	[]	VLAN ID:	1
Shared LOM Ext:	[]	Priority:	0
IP (Basic)			
IPV4:	[X] IPV6:	[]	
DHCP enabled	[]		
CIMC IP:	172.23.		
Prefix/Subnet:	255.255.0.0		
Gateway:	172.23.		
Pref DNS Server:	171.70.		
<up down="">Selection</up>	n <f10>Save</f10>	<space>Enable/Disable</space>	<f5>Refresh <esc>Exit</esc></f5>
<f1>Additional set</f1>	tings		

### **ステップ1** 次のアクションを実行します。

- •NIC モード(NIC mode): [Dedicated] を選択します。
- •**IP**(基本):[**IPV4**]を選択します。
- CIMC IP: CIMC ポートの IP アドレスを入力します。

- ・プレフィックス/サブネット(Prefix/Subnet): CIMC ポート IP アドレスのサブネットマスクを入力 します。
- ・ゲートウェイ(Gateway):優先するデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。
- ・ **優先DNSサーバ(Pref DNS Server)**: 優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。
- •NIC 冗長性(NIC Redundancy): [なし(None)]を選択します。
- ステップ8 F1 を押して [Additional Settings] を指定します。

次に示すように、Cisco IMC 設定ユーティリティに [Common Properties] 画面が表示されます。

Cisco IMC Configuration	Utility Version 2.0	) Cisco Systems, Inc.			
			aleieleieleieleiek		
Common Properties	2				
	.2				
Dynamic DNS: []					
FactoruDefaults					
	r 1				
Factory Default:	LJ				
Default User(Basic)					
Default password:					
Reenter password:					
Port Properties					
Auto Negotiation:	[X]				
	Admin Mode	Operation Mode			
Speed [1000/100/10Mbps]:	Auto	1000			
Duplex mode[half/full]:	Auto	full			
Port Profiles					
Reset:	[]				
Name:					
******					
<up down="">Selection <f10< td=""><td>&gt;Save <space>Enat</space></td><td>ble/Disable <f5>Refresh</f5></td><td><esc>Exit</esc></td></f10<></up>	>Save <space>Enat</space>	ble/Disable <f5>Refresh</f5>	<esc>Exit</esc>		
<f2>PreviousPageettings</f2>					

ステップ9 次のアクションを実行します。

- •ホスト名(Hostname):このアプライアンスで使用する CIMC のホスト名を入力します。
- ・ダイナミックDNS(Dynamic DNS): チェックボックスをオフにすると、この機能が無効になります。
- ・出荷時の初期状態(Factory Defaults):チェックボックスをオフにして、この機能を無効にします。
- ・デフォルトのユーザ(基本設定) (Default User (Basic)) : フィールドを空白のままにします。
- ポートのプロパティ(Port Properties):新しい設定を入力するか、フィールドに表示されるデフォルト値を受け入れます。

ポートプロファイル(Port Profiles): チェックボックスをオフにすると、この機能が無効になります。

- ステップ10 F10を押して、設定を保存します。
- **ステップ11** Esc キーを押して終了し、アプライアンスをリブートします。
- ステップ12 設定が保存され、アプライアンスのリブートが完了したら、アプライアンスがインストールされている サブネットへのアクセスが可能なクライアントマシンで互換性のあるブラウザを開き、次のURLを入力 します。

https://CIMC\_ip\_address (このCIMC\_ip\_address は先ほどステップ7で入力した Cisco IMC ポート IP アドレスです。

次に示すような Cisco IMC GUI のメインログインウィンドウがブラウザに表示されます。

iliilii cisco
C220-FCH212
Cisco Integrated Management Controller
Usemame
Password Language : English
Log In
Claco Systems, Inc. Claco, Claco Systems and Claco Systems logo are registered trademarks of Claco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and certain other countries

ステップ13 ステップ5で設定した Cisco IMC ユーザのユーザ ID とパスワードを使用してログインします。

ログインに成功すると、以下と同じような [Cisco Integrated Management Controller Chassis Summary] ウィンドウがブラウザに表示されます。

cisco Cisco	Integrated Management Co	ntroller	_	🐥 🗹 0 admin@1042 - C220-FC	CH212
Chassis / Sum	mary ★			Refresh   Host Power   Launch KVM   Ping   Reboot   Loca	itor LED   🔞
Server Proper	ties	Cisco Integrated M	lanagement Controlle	er (Cisco IMC) Information	
Product Name:		Hostname:	C220-FCH212		
Serial Number:	FCH212	IP Address:	172223		
PID:	DN2-HW-APL	MAC Address:	70:69: :48		
UUID:	AF0FFF4C-638C-4EC8-AB03-	Firmware Version:	3.1(2c)		
BIOS Version:	C220M5.3.1.2b.0.1025170315	Current Time (UTC):	Thu May 16 51 2019		
Description:		Local Time:	Thu May 16 51 2019 UTC	+0000	
Asset Tag:	Unknown	Timezone:	UTC	Select Timezone	
Chassis Statu	5	Server Utilization			
Power	State: On	Overall Utilizatio	on (%): N/A		
Overall Server S	Status: 🗹 Good	CPU Utilizatio	on (%): N/A		
Tempe	rature: 🗹 Good	Memory Utilizatio	on (%): N/A		
Overall DIMM S	Status: 🗹 Good	IO Utilizatio	on (%): N/A		
Power Su	pplies: 🗹 Good				
	Fans: 🖾 Good				
Locato	r LED: Off				
Overall Storage S	Status: 🗹 Good				

## 事前設定チェックの実行

アプライアンスをインストール(「アプライアンスのインストールワークフロー」の説明どお り)し、Cisco IMC の GUI へのアクセスを設定(「Cisco Integrated Management Controller に対 するブラウザアクセスの有効化」の説明どおり)した後、Cisco IMC を使用して次の事前設定 タスクを実行します。この操作は、正しい設定と展開の確実な実行に役立ちます。

- アプライアンスハードウェアを、ネットワークの管理に使用する Network Time Protocol (NTP)サーバと同期します。同期する NTP サーバは、「必要な IP アドレスおよびサブ ネット」で説明されているように、実装の計画時に収集したホスト名または IP を持つ NTP サーバである必要があります。Cisco DNA Center データがネットワーク全体で正しく同期 されるよう徹底するには、このタスクが不可欠です。
- **2.** 10 Gbps アプライアンスポートに接続されているスイッチを再設定して、高スループット 設定がサポートされるようにします。

ステップ1 「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」で設定した CISCO imc IP ア ドレス、ユーザ ID、パスワードを使用して、アプライアンスの Cisco IMC にログインします。

> ログインに成功すると、次に示すような [Cisco Integrated Management Controller Chassis Summary] ウィ ンドウがブラウザに表示されます。

cisco Cisco	Integrated Management Cc	ontroller		+ 🗹 0	admin@1042 - C	220-FCH212
Chassis / Sum	mary ★		Re	fresh   Host Power   Lau	nch KVM   Ping   Reboot	Locator LED
Server Proper	ties	Cisco Integrated M	lanagement Controller (C	Cisco IMC) Inform	nation	
Product Name:		Hostname:	C220-FCH212			
Serial Number:	FCH212	IP Address:	172223			
PID:	DN2-HW-APL	MAC Address:	70:69: :48			
UUID:	AF0FFF4C-638C-4EC8-AB03-	Firmware Version:	3.1(2c)			
BIOS Version:	C220M5.3.1.2b.0.1025170315	Current Time (UTC):	Thu May 16 51 2019			
Description:		Local Time:	Thu May 16 51 2019 UTC +000	0		
Asset Tag:	Unknown	Timezone:	UTC	Select Timezo	one	
Chassis Statu	S	Server Utilization				
Power	State: On	Overall Utilization	on (%): N/A			
Overall Server	Status: 🗹 Good	CPU Utilizatio	on (%): N/A			
Tempe	rature: 🗹 Good	Memory Utilizatio	on (%): N/A			
Overall DIMM	Status: 🗹 Good	IO Utilizatio	on (%): N/A			
Power Su	pplies: 🗹 Good					
	Fans: Sood					
Locato	or LED: Off					
Overall Storage	Status: 🔽 Good					

- **ステップ2** 次に示すように、アプライアンスハードウェアを、ネットワークの管理に使用する Network Time Protocol (NTP) サーバと同期します。
  - a) Cisco IMC GUI の左上隅から、[Toggle Navigation] アイコン (<sup>1</sup>) をクリックします。
  - b) Cisco IMC メニューから [Admin] > [Networking] を選択し、[NTP Setting] タブを選択します。
  - c) [NTP Enabled] チェックボックスがオンになっていることを確認してから、次に示す例のように、4つの番号付きサーバフィールドに最大4つのNTPサーバホスト名またはアドレスを入力します。

, און און אין אין אין אין אין אין אין אין אין אי	Cisco Integrated Managemen	t Controller	Ļ	1	admin@1	-C220-FCH212		
A / / Netv	working / NTP Setting ★		Refresh   Host Power	Launch KVM	Ping CIMC Reboo	ot Locator LED	0	(
Network	Network Security NTP Setting							_
NTP Proj NTP Enabl Serve Serve Serve Serve Stat	ed: r1: 1.ntp.example.com r2: 2.ntp.example.com r3: 3.ntp.example.com r4: us: NTP service disabled	) ) Ø						

Save Changes Reset Values

d) [Save Changes] をクリックします。Cisco IMC はエントリを検証した後、アプライアンスハードウェア の時刻と NTP サーバの時刻の同期を開始します。

- (注) 第1世代の Cisco DNA Center アプライアンスとは異なり、第2世代のアプライアンスでは仮 想インターフェイスカード(VIC)が使用されません。Cisco IMC で高スループットをサポー トするために、第2世代アプライアンスにインストールされているネットワークインターフェ イスカード(NIC)を設定する必要はありません。すでにデフォルトで有効になっているた めです。
- **ステップ3** アプライアンスの高スループット設定と一致するようにスイッチを再設定します。
  - a) セキュアシェル (SSH) クライアントを使用して、設定するスイッチにログインし、スイッチプロンプ トで EXEC モードを開始します。
  - b) スイッチポートを設定します。

Cisco Catalyst スイッチで、次のコマンドを入力します。次に例を示します。

MySwitch#Config terminal MySwitch(config)#interface tengigabitethernet 1/1/3 MySwitch(config-if)#switchport mode access MySwitch(config-if)#switchport access vlan 99 MySwitch(config-if)#speed auto MySwitch(config-if)#duplex full MySwitch(config-if)#mtu 1500 MySwitch(config-if)#mto shut MySwitch(config-if)#end MySwitch(config-if)#end MySwitch(config)#copy running-config startup-config

Cisco Nexus スイッチで、次のコマンドを入力して、Link Layer Discovery Protocol (LLDP) およびプラ イオリティフロー制御 (PFC) を無効にします。次に例を示します。

```
N7K2# configure terminal
N7K2(config)# interface eth 3/4
N7K2(config-if)# no priority-flow-control mode auto
N7K2(config-if)# no lldp transmit
N7K2(config-if)# no lldp receive
```

次の点に注意してください。

- •これらのコマンドは単なる例です。
- ・正常に機能させるには、第2世代 Cisco DNA Center アプライアンスのスイッチポートをアクセス モードに設定する必要があります。トランクモードは、第1世代のアプライアンスのモードであ るため、サポートされていません。
- c) show interface tengigabite thernet という *portID* コマンドを実行して、ポートが接続されて動作していること、正しい MTU、デュプレックス、リンクタイプが設定されていることをコマンド出力で確認します。次に例を示します。

```
MySwitch#show interface tengigabitethernet 1/1/3
TenGigabitEthernet1/1/3 is up, line protocol is up (connected)
Hardware is Ten Gigabit Ethernet, address is XXXe.310.8000 (bia XXX.310.8000)
MTU 1500 bytes, BW 10000000 Kbit/sec, DLY 10 usec,
    reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA, loopback not set
Keepalive not set
Full-duplex, 10GB/s, link type is auto, media type is SFP-10Gbase-SR
```

d) show run interface tengigabite thernet という *portID* コマンドを実行して、X710-DA2 NIC ポートからのケー ブルが接続されているスイッチポートを設定します。次に例を示します。 MySwitch#show run interface tengigabitethernet 1/1/3
Building configuration...
Current configuration : 129 bytes
! interface TenGigabitEthernet1/1/3
switchport access vlan 99
ip device tracking maximum 10
end

MySwitch#

MySwitch#

e) show mac address-table interface tengigabitethernet という portID コマンドを実行して、コマンド出力で MAC アドレスを確認します。次に例を示します。

### 次のタスク

このタスクが完了したら、次のいずれかを実行します。

- アプライアンスを設定する前に Cisco DNA Center ソフトウェアを再インストールする必要 がある場合は、「アプライアンスのイメージの再作成」を参照してください。
- アプライアンスを設定する準備ができている場合は、使用する設定ウィザードに固有の 「アプライアンス設定の概要」のトピックに進みます。
  - •アプライアンスの設定の概要
  - •アプライアンスの設定の概要

# ネットワーク インターフェイス カードの無効化

アプライアンスが Intel X710-DA4 ネットワーク インターフェイス カード (NIC) を有効にし た状態で出荷されている場合は、次の手順を実行して無効にする必要があります。カードを無 効にしない場合、アプライアンスには4つの追加インターフェイスが含まれているため、設定 に悪影響を及ぼす可能性があります。

- **ステップ1** Cisco DNA Center アプライアンスがあること、INTEL X710-DA4 NIC がインストールされていることを確認します。
  - a) アプライアンスの Cisco IMC にログインします。
  - b) [概要(Summary)]ウィンドウの[サーバプロパティ(Server Properties)]エリアに次の値が設定され ていることを確認します。

- PID: 44 コアアプライアンスの場合は DN2-HW-APL、56 コアアプライアンスの場合は DN2-HW-APL-L、112 コアアプライアンスの場合は DN2-X-HW-APL-XLです(次の例を参照)。
- •BIOS バージョン:この値は44 および56 コアアプライアンスのC220M5、または112 コアアプラ イアンスのC480M5 のいずれかで開始する必要があります(次の例を参照)。

Server Properties		Cisco Integrated N	lanagement Controller
Product Name:		Hostname:	C480-FCH224
Serial Number:	FCH224	IP Address:	10.195.
PID:	DN2-HW-APL-XL	MAC Address:	A8:B4:56:
UUID:	6FF202AA-EEF9-4DF4-9FE4-	Firmware Version:	4.0(1a)
BIOS Version:	C480M5 4.0.1c.0.0706181854	Current Time (UTC):	Wed Nov 6 18:51:54 2019
Description:		Local Time:	Wed Nov 6 10:51:54 2019 PST -08
Asset Tag:	Unknown	Timezone:	America/Los_Angeles

- c) ≤>[シャーシ (Chassis)]>[インベントリ (Inventory)]>[ネットワークアダプタ (Network Adaptor)] を選択します。
- d) [ネットワークアダプタ (Network Adapters)]表で、次のスロットのいずれかにINTEL X710-DA4 Quad Port ネットワークアダプタが表示されていることを確認します。
  - ・44 または 56 コアアプライアンスの場合はスロット 2。
  - •112 コアアプライアンスの場合はスロット12 (次の例を参照)。

÷	😕 🔐 Cisco Integrated Management Controller							
/	/ Invento	ry / Network Ad	apters ★					
CPU	Memory	PCI Adapters	Power Supplies	Cisco VIC Adapters	Network Adapters	Storage	SAS E	xpan
Net	work Ada	pters				Total	з ф	Ŧ
SL	at D	roduct Namo		Number Of Interfaces	External Ethe	ernet Interfaces		
51		router Name		Number Of Interfaces	ID	MAC Address		
					1	3c:fd:fe:		
9	In	tel X710-DA2 Dual Port 1	0Gb SFP+ conver	2	2	3c:fd:fe:		
					4	3c:fd:fe:		
					3	3c:fd:fe:		
12	In	Intel X710-DA4 Quad Port 10Gb SFP+ conver		4	1 📐	3c:fd:fe:		
					2	3c:fd:fe:		
					1	2c:f8:9b:		
L	С	isco(R) LOM X550-T2		2	2	2c:f8:9b:		

ステップ2 次の要領でアプライアンスの PCIe カードが無効になっていることを確認します。

a) <sup>2</sup>>[コンピューティング(Compute)] を選択します。

[BIOS > BIOS の設定(Configure BIOS) > I/O)] タブが開きます。

- b) 次のパラメータを[Disabled (無効)]に設定してから、[保存 (Save)]をクリックします。
  - ・44 または 56 コアアプライアンスの場合、PCIe スロット 2 OptionROM と PCIe スロット 2 リンク 速度。
  - 112 コアアプライアンスの場合は PCIe スロット 12 OptionROM および PCIe スロット 12 リンク速度(次の例を参照)。

差 🔐 Cisco Integrated Management Controller							
) / Compute / BIOS ★							
BIOS Remote Management Troubl	eshooting Power F	Policies PID	Catalog				
Enter BIOS Setup   Clear BIOS CMOS   Restore	Manufacturing Custom Se	ttings   Restore [	Defaults				
Configure BIOS Configure Boot Order	Configure BIOS Pr	ofile					
I/O Server Management Security	Processor Me	emory Pow	er/Performance				
Noto: Dofault volues are shown in	hold						
Note. Default values are shown in	bold.						
Reboot Host Immediately:							
Intel VT for directed IO:	Enabled	•		Legacy USB Support:	Enabled		
Intel VTD ATS support:	Enabled	•		Intel VTD coherency support:	Disabled		
LOM Port 1 OptionRom:	Enabled	•		All Onboard LOM Ports:	Enabled		
Pcie Slot 1 OptionRom:	Enabled	•		LOM Port 2 OptionRom:	Enabled		
Pcie Slot 3 OptionRom:	Enabled	•		Pcie Slot 2 OptionRom:	Enabled		
Pcie Slot 5 OptionRom:	Enabled	•		Pcie Slot 4 OptionRom:	Enabled <b>v</b>		
Pcie Slot 7 OptionRom:	Enabled	•		Pcie Slot 6 OptionRom:	Enabled		
Pcie Slot 9 OptionRom:	Enabled	•		Pcie Slot 8 OptionRom:	Enabled		
Pcie Slot 11 OptionRom:	Enabled	•		Pcie Slot 10 OptionRom:	Enabled		
RAID OptionRom:	Enabled	•		Pcie Slot 12 OptionRom:	Disabled 🔻		
Front NVME 2 OptionRom:	Enabled	•		Front NVME 1 OptionRom:	Enabled		
Front NVME 12 OptionRom:	Enabled	•		Front NVME 11 OptionRom:	Enabled <b>v</b>		
Front NVME 14 OptionRom:	Enabled	•		Front NVME 13 OptionRom:	Enabled		
Front NVME 16 OptionRom:	Enabled	•		Front NVME 15 OptionRom:	Enabled		
Front NVME 18 OptionRom:	Enabled	•		Front NVME 17 OptionRom:	Enabled		
Front NVME 20 OptionRom:	Enabled	•		PCIe Slot 12 Link Speed:	Disabled		

- c) 次のいずれかを実行します。
  - •アプライアンスでこれらの2つのパラメータを無効に設定できる場合は、アプライアンスをリブートして、設定を続行します。この手順の残りを実行する必要はありません。
  - ・お使いの112コアアプライアンスで[**I/O**] タブにこれらのパラメータのいずれか1つのみ表示され る場合は、ステップ3に進み、残りの手順を実行します。
- ステップ3 アプライアンスの BIOS を起動します。
  - a) Cisco IMC から KVM セッションを開始します。
  - b) [ホスト電源(Host Power)] リンクをクリックしてから[電源の再投入(Power Cycle)]を選択し、ア プライアンスの電源を再投入します。
  - c) 起動時に、次の画面が表示されたらすぐにF2キーを押してアプライアンスの BIOS を起動し、Aptio セットアップユーティリティを開きます。



- ステップ4 次の要領で PCIe カードを無効にします。
  - a) Aptio セットアップユーティリティの [メイン (Main)] タブで [詳細 (Advanced)] タブを選択し、 [LOM と PCIe スロットの設定 (LOM and PCIe Slots Configuration)] を選択します。

Aptio Setup Utility – Copyright (C) 2019 Americ Main Advanced Server Mgmt Security Boot Option	c <b>an Megatrends, Inc.</b> ∩s Save & Exit
<ul> <li>Trusted Computing</li> <li>Serial Port Console Redirection</li> <li>PCI Subsystem Settings</li> <li>USB Configuration</li> <li>LOM and PCIe Slots Configuration</li> </ul>	LOM, PCIe Slots OptionROM dispatching configuration and PCIe slots inventory.
<ul> <li>Network Stack Configuration</li> <li>iSCSI Configuration</li> <li>All Cpu Information</li> </ul>	
<ul> <li>Driver Health</li> <li>Platform Configuration</li> <li>Socket Configuration</li> </ul>	<pre>++: Select Screen t↓: Select Item Enter: Select +/-: Change Opt. F1: General Help F9: Optimized Defaults F10: Save &amp; Reset System ESC: Exit K/M: Scroll help UP/DOWN</pre>

b) [LOM および PCIe スロットの設定(LOM and PCIe Slots Configuration)] タブで [PCIe リンク速度の 設定(PCIe Link Speed Configuration)] を選択します。

Aptio Setup Utility – Copyright (C) 2019 American Megatrends, Inc. LOM and PCIe Slots Configuration		
Current Boot Mode SecureBoot Support	LEGACY Disabled	PCIE Link Speed Configuration
SWRAID Configuration pSATA SATA OpROM M.2 SATA OpROM	[DISABLED] [AHCI]	
M.2 HWRAID Controller MSTOR-RAID Option ROM Mode	[Enabled]	
LOW and PCTo Slote Con	figuration	++: Select Screen
All Onboard LOM Ports	[Enabled]	Enter: Select
CDN Support for LOMS	[Disabled]	+/-: Change Opt. F1: General Help
▶ PCIe Slots Inventory D	etails	F9: Optimized Default:
▶ PCIE Link Speed Config	uration	F10: Save & Reset Sys
PCI OpROM Configuratio	n	ESC: Exit K/M: Scroll help UP/D

- c) [PCIe リンク速度の設定(PCIe Link Speed Configuration)] タブを下向きにスクロールして PCIe SlotID: 12 の [リンク有効化(Link Enable)] オプションを見つけ、Enter を押します。
- d) [無効化 (Disable)]を選択し、Enter を押します。

次の例のような画面が表示されます。

Aptio Setup Utili PCIE Link Spea	ity – Copyright (C) ed Configuration	2019 American Megatrends, Inc.
PCIE SlotID:8 Link Enable Link Speed PCIE SlotID:9 Link Enable	[Auto] [Auto] [Auto]	▲ Enable or Disable the Port
Link Speed PCIE SlotID:10 Link Enable Link Speed PCIE SlotID:11	[Auto] [Auto] [Auto]	
Link Enable Link Speed PCIE SlotID:12	[Auto] [Auto]	<pre>++: Select Screen  f↓: Select Item Enter: Select +/-: Change Opt</pre>
PCIE SlotID:RAID Link Enable Link Speed	[Auto] [Auto] 0	<ul> <li>F1: General Help</li> <li>F9: Optimized Defaults</li> <li>F10: Save &amp; Reset System</li> <li>ESC: Exit</li> <li>K/M: Scroll help UP/DOWN</li> </ul>

- e) ESCキーを2回押してメインのBIOSメニューに戻り、[保存して終了(Save & Exit)] タブを開きま す。
- f) [変更を保存してリセット (Save Changes And Reset)]オプションを選択し、Enter を押します。

Aptio Setup Utility – Copyright (C) 2019 Americ Main Advanced Server Mgmt Security Boot Option	can Megatrends, Inc. ns Save & Exit
Exit Options Save Changes and Reset Discard Changes and Exit	Reset the system after saving the changes.
Save/Discard Changes Options Save Changes Discard Changes	
Load Defaults Options	
Save as User Defaults	↔+: Select Screen
Load User Defaults	†↓: Select Item
Load Manufacturing Defaults	Enter: Select
	+∕–: Change Opt.
Boot Override	F1: General Help
(Bus 33 Dev 00)PCI RAID Adapter	F9: Optimized Defaults
CiscoVD Hypervisor	F10: Save & Reset System
UEFI: Built-in EFI Shell	ESC: Exit
	K/M: Scroll help UP/DOWN

アプライアンスがリブートし、設定ウィザードが開きます。アプライアンスの設定を続けます。

重要 アプライアンスの NIC を無効にした後、アプライアンスを Cisco IMC のデフォルト設定にリ セットした場合(<sup>2</sup> > 管理者 > ユーティリティが > 工場出荷時のデフォルトにリセットされ た場合)、この手順をもう一度実行する必要があります。

# アプライアンスのイメージの再作成

バックアップからの回復やクラスタリンク設定の変更など、Cisco DNA Center アプライアンス イメージの再作成が必要な状況が発生する場合があります。これを行うには、次の手順を実行 します。

- **ステップ1** Cisco DNA Center ISO イメージをダウンロードし、それが正規の Cisco イメージであることを確認します。 「Cisco DNA Center ISO イメージの確認」を参照してください。
- **ステップ2** Cisco DNA Center ISO イメージを含むブート可能 USB ドライブを作成します。 「ブート可能な USB ドライブの作成」を参照してください。
- ステップ3 アプライアンスの RAID コントローラによって管理されている仮想ドライブを再初期化します。

「Cisco DNA Center アプライアンスの仮想ドライブの再初期化 (88 ページ)」を参照してください。

ステップ4 アプライアンスに Cisco DNA Center を再インストールします。

「Cisco DNA Center ISO イメージのインストール」を参照してください。

### Cisco DNA Center ISO イメージの確認

Cisco DNA Center を展開する前に、ダウンロードした ISO イメージが正規の Cisco イメージで あることを確認するよう強くお勧めします。

#### 始める前に

Cisco DNA Center ISO イメージの場所を把握します(電子メールを使用するか、シスコサポートチームと連絡を取る方法で)。

- ステップ1 シスコによって指定された場所から Cisco DNA Center ISO イメージ(.iso)をダウンロードします。
- **ステップ2** シスコの指定した場所から署名検証用のシスコ公開キー(cisco\_image\_verification\_key.pub)をダウンロー ドします。
- **ステップ3** シスコが指定した場所から ISO イメージのセキュア ハッシュ アルゴリズム (SHA512) チェックサム ファ イルをダウンロードします。
- ステップ4 シスコサポートから電子メールで、またはセキュアなシスコの Web サイト(利用可能な場合)からダウン ロードして、ISO イメージのシグニチャファイル(.sig)を入手します。
- ステップ5 (任意)SHA 検証を実行して、不完全なダウンロードによって ISO イメージが破損していないかどうかを 判定します。

(オペレーティングシステムに応じて)次のコマンドのいずれかを実行します。

- Linux システムの場合: sha512sum ISO-image-filename
- Mac システムの場合: shasum -a 512 ISO-image-filename

Microsoft Windows には組み込みのチェックサムユーティリティはありませんが、certutil ツールを使用できます。

certutil -hashfile <filename> sha256 | md5

次に例を示します。

certutil -hashfile D:\Customers\FINALIZE.BIN sha256

Windowsでは、Windows PowerShell を使用してダイジェストを生成することもできます。次に例を示します。

PS C:\Users\Administrator> Get-FileHash -Path D:\Customers\FINALIZE.BIN Algorithm Hash Path SHA256 B84B6FFD898A370A605476AC7EC94429B445312A5EEDB96166370E99F2838CB5 D:\Customers\FINALIZE.BIN 実行したコマンドの出力とダウンロードした SHA512 チェックサムファイルを比較します。コマンド出力 が一致しない場合は、ISO イメージを再度ダウンロードし、もう一度適切なコマンドを実行します。それ でも出力が一致しない場合は、シスコサポートにお問い合わせください。

ステップ6 署名を確認し、ISO イメージが正規の製品でありシスコ製であることを確認します。

openssl dgst -sha512 -verify cisco\_image\_verification\_key.pub -signature signature-filename ISO-image-filename

 (注) このコマンドは MAC と Linux の両方の環境で動作します。まだ OpenSSL をインストールしてい ない場合、Windows ではダウンロードしてインストールする必要があります(こちらから入手可 能)。

ISO イメージが純正であれば、このコマンドを実行すると、「問題がないことを確認 (verified OK)」という メッセージが表示されます。このメッセージが表示されない場合は、ISO イメージをインストールせず、 シスコサポートにお問い合わせください。

ステップ7 Cisco ISO イメージをダウンロードしたことを確認してから、Cisco DNA Center ISO イメージを含むブート 可能 USB ドライブを作成します。「ブート可能な USB ドライブの作成」を参照してください。

## ブート可能な USB ドライブの作成

Cisco DNA Center ISO イメージをインストールできるブート可能 USB ドライブを作成するに は、次のいずれかの手順を実行します。

始める前に

- Cisco DNA Center ISO イメージのコピーをダウンロードして確認します。「Cisco DNA Center ISO イメージの確認」を参照してください。
- 使用している USB フラッシュドライブの容量が少なくとも 32 GB であることを確認します。

### **Etcher**の使用

ステップ1 ラップトップまたはデスクトップでのブート可能USBドライブの作成を可能にする、オープンソースのフ リーウェアユーティリティ Etcher (バージョン 1.3.1 以降)をダウンロードしてインストールします。

> 現在、Linux、macOS、Windows バージョンの Etcher を使用できます。https://www.balena.io/etcher/からダウ ンロードできます。

(注) Windows 10 を実行しているマシンでは Etcher の Windows バージョンのみを使用してください。 古いバージョンの Windows との互換性に関する既知の問題があるためです。

ステップ3 ウィンドウの右上隅にある ☆ をクリックし、Etcher が次のように設定されていることを確認します。
 ・成功時に自動マウント解除する

**ステップ2** Etcher をインストールしたマシンに USB ドライブを接続し、Etcher を起動します。

• 成功時に書き込みを検証する

- ステップ4 [Back] をクリックして、メインウィンドウに戻ります。
- ステップ5 [Select Image] をクリックします。
- ステップ6 以前にダウンロードした Cisco DNA Center ISO イメージに移動し、そのイメージを選択して [Open] をクリックします。

接続した USB ドライブの名前がドライブアイコン ( )の下に表示されます。表示されない場合には、 次の操作を実行します。

- 1. [Select drive] をクリックします。
- 2. 正しい USB ドライブのオプションボタンをクリックしてから、[Continue] をクリックします。
- ステップ7 [Flash!] をクリックして、ISO イメージを USB ドライブにコピーします。

Etcher では、インストールされた Cisco DNA Center ISO イメージを使用して、ブート可能ドライブとして USB ドライブが設定されます。

### Linux CLI の使用

ステップ1 次のとおり、ご使用のマシンで USB フラッシュドライブが認識されていることを確認します。

- a) フラッシュドライブをマシンの USB ポートに挿入します。
- b) Linux シェルを開き、次のコマンドを実行します。 lsblk

次の例に示すように、このコマンドでは、マシンに現在設定されているディスクパーティションが一 覧表示されます。

```
$ lsblk
NAME MAJ:MIN RM SIZE RO TYPE MOUNTPOINT
sda 8:0 0 446.1G 0 disk
—sda1 8:1 0 1M 0 part
-sda2 8:2 0 28.6G 0 part /
-sda3 8:3 0 28.6G 0 part /install2
—sda4 8:4 0 9.5G 0 part /var
 -sda5 8:5 0 30.5G 0 part [SWAP]
└_sda6 8:6 0 348.8G 0 part /data
sdb 8:16 0 1.8T 0 disk
-sdb1 8:17 0 426.1G 0 part /data/maglev/srv/fusion
Lsdb2 8:18 0 1.3T 0 part /data/maglev/srv/maglev-system
sdc 8:32 0 3.5T 0 disk
-sdc1 8:33 0 3.5T 0 part /data/maglev/srv/ndp
sdd 8:48 1 28.7G 0 disk
└_sdd1 8:49 1 12G 0 part
```

- c) sppパーティション (USB フラッシュドライブの存在を示す) が表示されていることを確認します。
- ステップ2 以前にダウンロードした Cisco DNA Center ISO イメージを USB フラッシュドライブに書き込みます。time sudo dd if=/data/tmp/ISO-image-filename of=/dev/flash-drive-partition bs=4M && sync

たとえば cdnac-sw-1.330という名前の ISO イメージを使用してブート可能な USB ドライブを作成するに は、次のコマンドを実行します。time sudo dd if=/data/tmp/CDNAC-SW-1.330.iso of=/dev/sdd bs=4M && sync

### Mac CLI の使用

- ステップ1 USB フラッシュドライブに関連付けられているディスクパーティションを確認します。
  - a) ターミナルウィンドウを開き、次のコマンドを実行します。 diskutil list

このコマンドでは、マシンに現在設定されているディスクパーティションが一覧表示されます。

- b) フラッシュドライブをマシンの USB ポートに挿入し、diskutil listコマンドをもう一度実行します。
   このコマンドを最初に実行したときリストの表示されなかったパーティションは、フラッシュドライブです。たとえば /dev/disk2 がフラッシュドライブのパーティションだと仮定します。
- **ステップ2** このコマンドでフラッシュドライブのパーティションをマウント解除します。**diskutil unmountDisk** *flash-drive-partition*

この例ではこの先、次のように入力します diskutil unmountDisk /dev/disk2

**ステップ3** 以前ユーザがダウンロードした Cisco DNA Center ISO イメージを使用してディスクイメージを作成します。 hdiutil convert -format UDRW -o Cisco-DNA-Center-version ISO-image-filename

この例を続け、CDNAC-SW-1.330.isoという Cisco DNA Center ISO イメージを使用して作業しているとしましょう。次のコマンドを実行すると、CDNAC-1.330.dmgという名前の macOS ディスクイメージが作成されます。hdiutil convert -format UDRW -o CDNAC-1.330 CDNAC-SW-1.330.iso

重要 ISO イメージがボックスパーティションに存在しないことを確認します。

ステップ4 ブート可能なUSBドライブを作成します。sudo dd if=macOS-disk-image-filename of=flash-drive-partition bs=1m この例を続け、次のコマンドを実行します。 sudo dd if=CDNAC-1.330.dmg of=/dev/disk2 bs=1m ISO イメージのサイズは約 18 GB であるため、完了までに時間がかかることがあります。

### Cisco DNA Center アプライアンスの仮想ドライブの再初期化

Cisco DNA Center アプライアンスの仮想ドライブを再初期化するには、次の手順を実行します。

- ステップ1 「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」で設定した CISCO imc IP ア ドレス、ユーザ ID、パスワードを使用して、アプライアンスの Cisco IMC にログインします。
- ステップ2 Cisco IMC GUI の左上隅から、[Toggle Navigation] アイコン (2) をクリックします。

- ステップ3 Cisco IMC メニューから、[Storage] > [Cisco 12G Modular Raid Controller] を選択します。
- **ステップ4** [Virtual Drive Info] タブをクリックします。
- **ステップ5** リストされている最初の仮想ドライブ(ドライブ番号 0)のチェックボックスをオンにして、[Initialize]を クリックします。
- ステップ6 [Initialize Type] ドロップダウンリストから [Full initialize] を選択します。
- ステップ7 [Initialize VD] をクリックします。
- ステップ8 アプライアンスの残りの仮想ドライブにそれぞれステップ5~7を繰り返します。

### Cisco DNA Center ISO イメージのインストール

アプライアンスに Cisco DNA Center ISO イメージをインストールするには、次の手順を実行します。

### 始める前に

Cisco DNA Center ISO イメージのインストール元となるブート可能 USB ドライブを作成しま す。「ブート可能な USB ドライブの作成」を参照してください。

- ステップ1 Cisco DNA Center ISO イメージを含むブート可能 USB ドライブをアプライアンスに接続します。
- ステップ2 Cisco IMC にログインし、KVM セッションを開始します。
- ステップ3 アプライアンスの電源を投入または再投入します。
  - ・アプライアンスが実行されていない場合には、[Power]>[Power On System]を選択します。
  - アプライアンスがすでに実行されている場合には、[Power]>[Power Cycle System (cold boot)]を選 択します。
- **ステップ4** 表示されたポップアップウィンドウで [Yes] をクリックして、サーバ制御アクションを実行しようとして いることを確認します。
- ステップ5 シスコのロゴが表示されたら、F6キーを押すか、[KVM] メニューから [Macros] > [User Defined Macros] > [F6] を選択します。

ブートデバイス選択メニューが表示されます。

- ステップ6 USB ドライブを選択してから、Enter を押します。
- ステップ7 [GNU GRUB] ブートローダウィンドウで、[Cisco DNAアプライアンスの作成(Manufacture Cisco DNA appliance)] を選択してから、Enter を押します。
  - (注) 30 秒以内に選択しなかった場合、ブートローダが自動的に Maglev インストーラを起動します。

# **Cisco DNA Center**アプライアンスの設定

Cisco DNA Center ISO イメージのインストールが完了すると、インストーラがリブートし、 Maglev 設定ウィザードの初期画面が開きます。アプライアンスの再イメージ化を完了するに は、Maglev ウィザードを使用したアプライアンスの設定 (91 ページ)の手順を実行します。



# Maglev ウィザードを使用したアプライア ンスの設定

- •アプライアンスの設定の概要 (91ページ)
- Maglev ウィザードを使用したプライマリノードの設定 (92ページ)
- Maglev ウィザードを使用したアドオンノードの設定 (112 ページ)
- ・最新の Cisco DNA Center リリースへのアップグレード (132 ページ)

## アプライアンスの設定の概要

次の2つのモードのいずれかを使用すると、アプライアンスをネットワークに展開できます。

- スタンドアロン:すべての機能を提供する単一のノードとして。このオプションは通常、 初期展開、テスト展開、小規模なネットワーク環境での使用に適しています。
- クラスタ:3ノードクラスタに属するノードとして。このモードでは、すべてのサービス とデータがホスト間で共有されます。これは、大規模な展開で推奨されるオプションで す。

初期導入でスタンドアロンモードを選択した場合は、後でクラスタを形成するためにアプライ アンスを追加できます。スタンドアロンホストの設定時には、クラスタ内の最初のノード、つ まりプライマリノードとして設定されていることを確認してください。

初期展開でクラスタモードを選択した場合は、アドオンノードの設定に進む前に、プライマリ ノードの設定を完了してください。

続行するには、次のタスクを実行します。

- 1. クラスタのプライマリノードを設定します。「Maglev ウィザードを使用したプライマリ ノードの設定」を参照してください。
- **2.** 3 つのアプライアンスを設置し、クラスタに 2 番目と 3 番目のノードを追加する場合、 「Maglev ウィザードを使用したアドオンノードの設定」を参照してください。

# Maglev ウィザードを使用したプライマリノードの設定

最初にインストールされたアプライアンスをプライマリノードとして設定するには、次の手順 を実行します。最初のアプライアンスは、スタンドアロンとして運用するか、またはクラスタ の一部として運用するかにかかわらず、常にプライマリノードとして設定する必要がありま す。

すでにプライマリノードがある既存のクラスタのアドオンノードとしてインストールされたア プライアンスを設定する場合には、代わりに「Maglev ウィザードを使用したアドオンノード の設定」に記載された手順を実行します。



(注) この手順の実行中に入力するすべての IP アドレスが有効な IPv4 ネットマスクを持つ有効な IPv4 アドレスであることを確認してください。また、アドレスと対応するサブネットが重複し ていないことを確認してください。重複している場合、サービスの通信の問題が発生する可能 性があります。

#### 始める前に

次のことを確認します。

- •「必要な IP アドレスおよびサブネット」と「必須の設定情報」で指定されているすべての情報を収集したこと。
- 「アプライアンスのインストールワークフロー」の説明に従って、最初のアプライアンス がインストールされたこと。
- 「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」の説明に従って、プライマリノードで Cisco IMC に対するブラウザのアクセス権が設定されたこと。
- •「事前設定チェックの実行」の説明に従って、プライマリノードアプライアンスのポートとそれらのポートによって使用されるスイッチが適切に設定されていること。
- 互換性のあるブラウザを使用していることを確認済みであること。互換性のあるブラウザの一覧については、インストールしている Cisco DNA Center のバージョンに対応するリリースノートドキュメントを参照してください。
- 次の手順のステップ7で指定するDNSサーバーとCisco DNA Centerの間のファイアウォールでICMPが許容されること。Maglev構成ウィザードではpingを使用して、ユーザーの指定したDNSサーバーを確認します。Cisco DNA CenterとDNSサーバーの間にファイアウォールが存在し、そのファイアウォールでDNSサーバーとICMPが許容されていない場合、このpingがブロックされる可能性があります。ブロックされた場合、ウィザードを完了できません。

**ステップ1** お使いのブラウザで、実行した cisco imc GUI 設定で設定した Cisco IMC の IP アドレスをポイントし、 cisco imc ユーザとして Cisco IMC GUI にログインします(「Cisco Integrated Management Controller に対 するブラウザアクセスの有効化」を参照)。

ログインが成功すると、次に示すように、アプライアンスに [Cisco Integrated Management Controller Chassis Summary] ウィンドウが、ウィンドウ上部のハイパーリンクメニューとともに表示されます。

4 🗹	0 admin@	76.21	- C220-FCH2206	
Refresh Host Power	Launch KVM	Ping Reb	oot Locator LED	0
Java	based KVM			
HTM	IL based KVM			

ステップ2 ハイパーリンクメニューで [Launch KVM] を選択してから [Java based KVM] と [HTML based KVM] の いずれかを選択します。[Java-based KVM] を選択した場合、KVM コンソールを独自のウィンドウで表 示するために、ブラウザまたはファイルマネージャから Java スタートアップファイルを起動する必要が あります。[HTML-basedKVM] を選択すると、KVM コンソールが別個のブラウザウィンドウまたはタ ブで自動的に起動します。

> 選択した KVM のタイプに関係なく、KVM コンソールを使用して、設定の進行状況をモニタし、Maglev 構成ウィザードのプロンプトに応答します。

- ステップ3 KVM が表示されたら、次のいずれかを選択してアプライアンスをリブートします。
  - ・メインの Cisco IMC GUI ブラウザウィンドウで、[Host Power]>[Power Cycle] を選択し、KVM コン ソールに切り替えて続行します。
  - KVM コンソールで、 [Power] > [Power Cycle System (cold boot)]を選択します。

アプライアンスをリブートするかどうかの確認を求められたら、[OK] をクリックします。

リブートメッセージが表示された後、KVM コンソールに Maglev 構成ウィザードのウェルカム画面が表示されます。

Welcome to the Magleu Configuration Wizard!		
The wizard will walk you through the steps to configure this host. Select one or more options below to specify how you would like to configure this host:		
Start a Cisco DNA Center Cluster		
Join a Cisco DNA Center Cluster		
< exit >		
Web installation: https://172.29.131.222:9004/webinstall/ahome		

ステップ4 プライマリノードの設定を開始するには、[Start a Cisco DNA Center Cluster] を選択します。

ウィザードでは、アプライアンス上のすべてのポートが検出され、次の順序で1つずつ別の画面に表示 されます。

- **1.** 1 Gbps/10 Gbps 管理ポート(1、eno1/enp53s0f0、ネットワークアダプタ #1)
- 2. 1 Gbps/10 Gbps クラウドポート (eno2/enp53s0f1、ネットワークアダプタ #2)
- 3. 10 Gbps エンタープライズポート (enp94s0f0/enp69s0f0、ネットワークアダプタ #3)
- **4.** 10 Gbps クラスタポート (enp94s0f1/enp69s0f1、ネットワークアダプタ #4)
- (注) 44、56、および112 コアアプライアンスのポートに割り当てられているインターフェイス名が 異なります。この手順で2つのインターフェイス名が指定された場合は、1つ目が44および56 コアアプライアンスに適用され、2つ目が112 コアアプライアンスに適用されます。

設定の過程でウィザードがエンタープライズポートとクラスタポートのいずれかまたは両方を表示でき ない場合は、これらのポートが機能していないか、または無効になっている可能性があります。Cisco DNA Center機能にはこの2つのポートが必要です。機能していないことが判明した場合には、[キャンセ ル(Cancel)]を選択して、設定をすぐに終了します。設定を再開したり、Cisco Technical Assistance Center (TAC)に連絡したりする前に「事前設定チェックの実行」に記載されているすべての手順が完了して いることを確認してください。 ステップ5 このウィザードでは1 Gbps/10 Gbps 管理ポート(1、eno1/enp53s0f0)がまず検出され、[ネットワークア ダプタ#1 (NETWORK ADAPTER #1)]として表示されます。「インターフェイスケーブル接続」で説 明したように、このポートは管理ネットワークから Cisco DNA Center GUI にアクセスするために使用さ れます。この目的に適したホスト IP アドレス、ネットマスク、およびその他の値を適用します(入力す る値については、「必要なIP アドレスおよびサブネット」と「必須の設定情報」を参照してください)。

STEP #4	NETWORK ADAPTER #1 (eno1)
The wizard has discovered 4 physical network adapter(s) installed on the appliance. Enter the network settings for the 1st network adapter (70:69: - eno1).	Host IP Address: 172.29.131.14 Metnask: 255.255.255.0 Default Gateway IP Address:
Select "Cluster Link" if used for cluster communication.	DNS Servers: 171.70.168.183 173.36.131.10 Static Routes: 10.0.0.0/255.0.0.0/172.29.13 Cluster Link
	<< back < cancel >

次の表のとおり[ネットワークアダプタ #1 (NETWORK ADAPTER #1)]の設定値を入力します。

表 <b>20</b> : ネットワークアダプ ?	タ # <b>1</b> のプライマリノ	ードエントリ:1 Gbps/10 Gbps 管理ポ	— ト ( <i>eno1/enp53s0f0</i> )
---------------------------	----------------------	---------------------------	-------------------------------

ホスト IP アドレス(Host IP address)	管理ポートの IP アドレスを入力します。これは、 このポートを使用して管理ネットワークから Cisco DNA Center GUI にアクセスする場合にのみ必要で す。それ以外の場合は、空白のままにします。
Netmask	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。この操作は IP アドレスを入力する場合 に必要になります。
デフォルトゲートウェイ IP アドレス	<ul> <li>ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力してください。</li> <li>              アプライアンスの少なくとも1つのインターフェイスに対してデフォルトゲートウェイ IP アドレスを入力してください。入力しないと、設定ウィザードを完了できません。      </li> </ul>
DNS Servers	<ul> <li>優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをスペースで区切ります。</li> <li>重要 ・NTP の場合、Cisco DNA Center とNTP サーバの間のポート 123 (UDP)が開いていることを確認します。</li> <li>クラスタ内の各アプライアンスに対して、最大3つの DNS サーバを設定します。アプライアンスに対して3つを超える DNS サーバを設定すると、問題が発生する可能性があります。</li> </ul>
スタティック ルート	1つ以上のスタティックルートをスペースで区切り、<ネットワーク>/<ネットマスク>/<ゲートウェ イ>の形式で入力します。
クラスタリンク	このフィールドは空欄のままにします。この操作は クラスタポートでのみ必要になります。

設定値の入力が完了したら、[next >>] をクリックして続行します。入力した値がウィザードによって検証され、正しくない値が含まれていた場合にはエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合には、入力した値が正しいことを確認してから、再入力します。必要に応じて[<< back] をクリックして再入力します。

ステップ6 入力した管理ポート値の検証が成功すると、ウィザードに1 Gbps /10 Gbps クラウドポート(2、 eno2/enp53s0f1)が[ネットワークアダプタ#2(NETWORK ADAPTER #2)]として表示されます。「インターフェイスケーブル接続」で説明されているとおり、このポートは、アプライアンスをインターネットにリンクする際、10 Gbps エンタープライズポート(enp94s0f0/enp69s0f0)経由でアプライアンスをリンクできない場合に使用されるオプションのポートです。この目的に適したホストIP アドレス、ネットマスク、およびその他の値を適用します(入力する値については、「必要なIP アドレスおよびサブネット」と「必須の設定情報」を参照してください)。

STEP #4	OPTIONAL - NETWORK ADAPTER #2
<pre>(Optional) Enter the network settings for the 2nd network adapter (70:69: eno2). Select "Cluster Link" if used for cluster communication.</pre>	Host IP Address: Netnask: Default Gateway IP Address: DNS Servers: Static Routes: Cluster Link
	<< back << cancel >

次の表のとおり[ネットワークアダプタ #2(NETWORK ADAPTER #2)]の設定値を入力します。

#### 表 21: ネットワークアダプタ #2 のプライマリノードエントリ: 1 Gbps/10 Gbps クラウドポート (eno2/enp53s0f1)

ホスト IP アドレス	クラウドポートの IP アドレスを入力します。この 操作はインターネット接続にクラウドポートを使用 している場合にのみ必要です。それ以外の場合は、 空白のままにしておくことができます。
Netmask	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。この操作は IP アドレスを入力する場合 に必要になります。
デフォルトゲートウェイ IP アドレス	クラウドポートに使用するデフォルトゲートウェイ のIPアドレスを入力します。 重要 アプライアンスの少なくとも1つのイン ターフェイスに対してデフォルトゲート ウェイIPアドレスを入力してください。 入力しないと、設定ウィザードを完了で きません。
DNS Servers	<ul> <li>優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをスペースで区切ります。</li> <li>重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、最大3つの DNS サーバを設定します。アプライアンスに対して3つを超える DNS サーバを設定すると、問題が発生する可能性があります。</li> </ul>
スタティック ルート	1つ以上のスタティックルートをスペースで区切り、<ネットワーク>/<ネットマスク>/<ゲートウェ イ>の形式で入力します。これは通常、管理ポート でのみ必要です。
クラスタリンク	このフィールドは空欄のままにします。この操作は クラスタポートでのみ必要になります。

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。

 ステップ7 入力したクラウドポート値の検証が成功すると、ウィザードに10 Gbps エンタープライズポート (enp94s0f0/enp69s0f0)が[ネットワークアダプタ#3 (NETWORK ADAPTER #3)]として表示されます。「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートは、アプライアンスをエンター プライズ ネットワークにリンクするために必要なポートです。この目的に適したホスト IP アドレス、 ネットマスク、およびその他の値を適用します(入力する値については、「必要な IP アドレスおよびサ ブネット」と「必須の設定情報」を参照してください)。

STEP #4	OPTIONAL - NETWORK ADAPTER #3
(Optional) Enter the network settings for the 3rd network adapter (3c:fd: - enp94s0f0). Select "Cluster Link" if used for cluster communication.	Host IP Address: 17.192.1.14 Netnask: 255.255.255.0 Default Gateway IP Address: 17.192.1.1 DNS Servers: Static Boutes:
	Cluster Link
	<< back < cancel >

次の表のとおり [ネットワークアダプタ #3 (NETWORK ADAPTER #3)]の設定値を入力します。

表 22: ネットワークアダプタ #3 のプライマリノードエントリ: 10 Gbps エンタープライズポート (enp94s0f0/enp69s0f0)

ホスト IP アドレス	エンタープライズポートの IP アドレスを入力しま す。これは必須です。	
Netmask	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。	
デフォルトゲートウェイ IP アドレス	ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP ア ドレスを入力してください。	
	<ul> <li>重要 アプライアンスの少なくとも1つのイン</li> <li>ターフェイスに対してデフォルトゲート</li> <li>ウェイ IP アドレスを入力してください。</li> <li>入力しないと、設定ウィザードを完了で</li> <li>きません。</li> </ul>	
DNS Servers	優先DNSサーバのIPアドレスを入力します。複数のDNSサーバを入力する場合には、リスト内のIP アドレスをスペースで区切ります。	
	<ul> <li>重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、</li> <li>最大3つの DNS サーバを設定します。ア</li> <li>プライアンスに対して3つを超える DNS</li> <li>サーバを設定すると、問題が発生する可</li> <li>能性があります。</li> </ul>	
スタティック ルート	1 つ以上のスタティックルートをスペースで区切 り、<ネットワーク>/<ネットマスク>/<ゲートウェ イ>の形式で入力します。これは通常、Cisco DNA Center 管理ポートでのみ必要です。	
クラスタリンク	このフィールドは空欄のままにします。この操作は クラスタポートでのみ必要になります。	

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。

ステップ8 入力したエンタープライズポート値の検証が成功すると、ウィザードに10 Gbps クラスタポート (enp94s0f1/enp69s0f1)が[ネットワークアダプタ #4 (NETWORK ADAPTER #4)]として表示されま す。「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートはアプライアンスをクラスタに リンクするために使用されるため、ホスト IP アドレス、ネットマスク、およびこの目的に適した他の値 を適用します(入力する値については、「必要な IP アドレスおよびサブネット」と「必須の設定情報」 を参照してください)。

STEP =4	OPTIONAL - NETWORK ADAPTER #4
(Optional) Enter the network settings for the 4th network adapter (3c:fd: enp94s0f1). Select "Cluster Link" if used for cluster communication.	Host IP Address: 192.192.192.14 Metnask: 255.255.255.0 Default Gateway IP Address: DNS Servers: Static Routes: X Cluster Link
	<pre>&lt;&lt; back &lt; cancel &gt;</pre>

### 次の表のとおり[ネットワークアダプタ#4(NETWORK ADAPTER #4)]の設定値を入力します。

#### 表 23: ネットワークアダプタ #4 のプライマリノードエントリ: 10 Gbps クラスタポート (enp94s0f1/enp69s0f1)

ホスト IP アドレス	クラスタポートの IP アドレスを入力します。これ
	は必須です。クラスタポートのアドレスは後で変更
	できないことに注意してください。

Netmask	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。
デフォルトゲートウェイ IP アドレス	ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP ア ドレスを入力してください。
	<ul> <li>重要 アプライアンスの少なくとも1つのイン</li> <li>ターフェイスに対してデフォルトゲート</li> <li>ウェイ IP アドレスを入力してください。</li> <li>入力しないと、設定ウィザードを完了で</li> <li>きません。</li> </ul>
DNS Servers	優先DNSサーバのIPアドレスを入力します。複数 のDNSサーバを入力する場合には、リスト内のIP アドレスをスペースで区切ります。
	<ul> <li>重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、 最大3つのDNSサーバを設定します。ア プライアンスに対して3つを超えるDNS サーバを設定すると、問題が発生する可 能性があります。</li> </ul>
スタティック ルート	1つ以上のスタティックルートをスペースで区切 り、<ネットワーク>/<ネットマスク>/<ゲートウェ イ>の形式で入力します。これは通常、管理ポート でのみ必要です。
クラスタリンク	このポートが Cisco DNA Center クラスタへのリン クであることを示すには、このチェックボックスを オンにします。この操作はクラスタポートでのみ必 要になります。

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。ネットワークアダプタの設定がウィザードによって検証され、適用されます。

ステップ9 ネットワークアダプタの設定が完了すると、次に示すように、ユーザの使用する[ネットワークプロキシ (NETWORK PROXY)]の設定値を入力するようウィザードから求められます。
次の表に示すように [NETWORK PROXY] の設定値を入力します。

表 24: ネットワークプロキシのプライマリノードエントリ

HTTPS プロキシ	インターネットにアクセスする HTTPS ネットワー クプロキシの URL またはホスト名を入力します。 (注) Cisco DNA Center から HTTPS プロキシへ の接続は、このリリースの HTTP 経由の みでサポートされます。
HTTPS プロキシ ユーザ名	ネットワークプロキシへのアクセスに使用するユー ザ名を入力します。プロキシログインが必要ない場 合には、このフィールドを空白のままにします。
HTTPS プロキシ パスワード	ネットワークプロキシへのアクセスに使用するパス ワードを入力します。プロキシログインが必要ない 場合には、このフィールドを空白のままにします。

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。

**ステップ10** ネットワークプロキシの設定が完了すると、次に示すように、[MAGLEV CLUSTER DETAILS] で、プラ イマリノードの仮想 IP アドレスを入力するようウィザードに求められます。

STEP #11	MAGLEV CLUSTER DETAILS
Enter the connectivity details for your existing Maglev cluster	Cluster Virtual IP Address(s): 192.192.192.106 172.29.131.106 17.192.1.106 Cluster's hostname: cdnac.example.com
	<pre>&lt;&lt; back &lt; cancel &gt; next &gt;&gt;</pre>

クラスタとネットワークの間のトラフィックに使用される仮想 IP アドレスのスペース区切りリストを入力します。この操作は、3ノードクラスタと、将来3ノードクラスタに変換されるシングルノードクラスタの両方の場合に必要です。単一ノードクラスタをセットアップした後、単一ノードクラスタのまま使用し続ける予定の場合には、このステップをスキップしてステップ11 に進みます。

重要 設定済みのネットワークインターフェイスごとに1つずつ仮想IPアドレスを入力する必要があります。この操作を行わない限り、ウィザードを完了することはできません。これらのアドレスは、クラスタリンクのステータスに関連付けられており、ステータスは[UP]の状態となっている必要があります。

クラスタの完全修飾ドメイン名(FQDN)を指定するオプションもあります。Cisco DNA Center ではこの ドメイン名を使用して次の操作が実行されます。

- このホスト名を使用して、クラスタのWebインターフェイスと、Cisco DNA Center が管理するエン タープライズネットワーク内のデバイスによって使用されるRepresentational State Transfer (REST) API にアクセスします。
- Cisco DNA Center 証明書の [Subject Alternative Name (SAN)]フィールドで、FQDN を使用して、デバイスのプロビジョニングに使用されるプラグ アンド プレイ サーバが定義されます。

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。

ステップ11 ユーザアカウントの詳細を入力すると、次に示すように [ユーザアカウント設定(USER ACCOUNT SETTINGS)]の値を入力するようウィザードからメッセージが表示されます。

TEP #13	USER ACCOUNT SETTINGS
TEP #13 Specify a new password for the 'magleu' Linux user, and specify a passphrase of the 'admin' UI user. * Indicates a mandatory field Password generation is optional, but recommended. User is advised to append personal password with generated password for recommended security Caution: Store generated password for future log ins	USER ACCOUNT SETTINGS Linux Password: * ***********************************

次の表のとおり [USER ACCOUNT SETTINGS] の値を入力します。

表 25: ユーザアカウント設定のプライマリノードエントリ

Linux パスワード	maglev ユーザの Linux パスワードを入力します。
Linux パスワードの再入力	Linux パスワードをもう一度入力して確認します。

パスワード生成シード	Linux パスワードを自分で作成しない場合には、こ のフィールドにシードフレーズを入力してから、 [Generate password] を押してパスワードを生成し ます。
自動生成パスワード	(オプション)シードフレーズは、ランダムで安 全なパスワードの一部として表示されます。必要に 応じて、このパスワードを「そのまま」使用するこ とも、この自動生成パスワードをさらに編集するこ ともできます。 [ <use generated="" password="">]を押してパスワードを 保存1ます</use>
管理者パスフレーズ	スーパーユーザ権限を持つ管理者のデフォルトのパ スワードを入力します。このパスワードは Cisco DNA Center に初めてログインするときに使用しま す。
管理者パスフレーズの再入力	管理者パスフレーズをもう一度入力して確認しま す。

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。

ステップ12 ユーザアカウントの詳細を入力すると、次に示すように[NTP SERVER SETTINGS]の値を入力するよう ウィザードからメッセージが表示されます。

STEP #14	NTP SERVER SETTINGS				
Enter the IP address of the NTP server that the controller will use.	NTP Servers: * 1.ntp.example.com 2.ntp.example.com 3.ntp.example.com				
It is recommended to specify 3 or more NIP servers to improve availability and time accuracy.					
Please note that the NTP server(s) must be accessible in order for the configuration to succeed.					
* Indicates a mandatory field					
	<pre>&lt;&lt; back &lt; cancel &gt;</pre>				

1つまたは複数のNTPサーバアドレスまたはホスト名をスペースで区切って入力します。1つ以上のNTP アドレスまたはホスト名が必要です。実稼働環境への展開では、少なくとも3台のNTPサーバを設定す ることを推奨します。

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。ウィザードによって、NTP サーバの設定が検証され、適用されます。

ステップ13 適切な NTP サーバを指定すると、次に示すように、[MAGLEV ADVANCED SETTINGS] の値を入力す るようウィザードに求められます。

STEP #16	MAGLEV ADVANCED SETTINGS
Enter the IP networks for cluster services network and api network to use. These network shouldn't overlap with the existing enterprise network. The minimum recommended size of each network is 2048, i.e. (21 submets	Services Subnet: * 10.60.8.0/21 Cluster Services Subnet: * 10.60.16.0/21
<ul> <li>Indicates a mandatory field</li> </ul>	
	<< back <

### 次の表に示すように、[MAGLEV ADVANCED SETTINGS]の設定値を入力します。

表 26: Maglev 詳細設定のプライマリノードエントリ

サービスサブネット	独自のサービスの管理に使用する、Cisco DNA Center
	専用の IP サブネットを入力します。

クラスタサービスサブネット	Cisco DNA Center が独自のクラスタリングサービス
	の管理に使用する、専用のIPサブネットを入力し
	ます。

終了したら、[次ヘ>>(Next>>)]を選択して続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを修正 します。

ステップ14 Maglev 詳細設定の入力が完了すると、ウィザードで設定を適用する準備ができたことを示す最終メッセージが表示されます(以下参照)。

The wizard is now ready to apply the configuration on the controller.

Use the [back] button below to verify/modify controller settings. Use the [cancel] button to discard your changes and exit the wizard. Use the [proceed] button to save your changes and proceed with applying them on the control

<< back

< cancel >

[Proceed >>]をクリックして、設定ウィザードを完了します。

ホストが自動的にリブートし、設定を適用してサービスを起動したとのメッセージが KVM コンソール に表示されます。このプロセスには数時間かかることがあります。KVM コンソールでプロセスの進行状 況をモニタすることができます。 設定プロセスの最後に、アプライアンスの電源を再投入すると、「設定に成功しました (CONFIGURATION SUCCEEDED!)」というメッセージが表示されます。

### 次のタスク

- このアプライアンスをスタンドアロンモードでのみ展開する場合には、所定の初期設定
   (「初期設定ワークフロー」)を実行します。
- このアプライアンスをクラスタ内のプライマリノードとして展開する場合には、クラスタ内の2番目と3番目のインストール済みアプライアンスを設定します(「Maglevウィザードを使用したアドオンノードの設定」)。

### Maglev ウィザードを使用したアドオンノードの設定

クラスタ内の2番目と3番目のアプライアンスを設定するには、次の手順を実行します。



重要 3 ノードクラスタを構築するには、同じバージョンのシステムパッケージが 3 つの Cisco DNA Center アプライアンスにインストールされている必要があります。この条件が整わない場合、 予期しない動作とダウンタイムの可能性が生じることがあります。

(注)

この手順の実行中に入力するすべての IP アドレスが有効な IPv4 ネットマスクを持つ有効な IPv4 アドレスであることを確認してください。また、アドレスと対応するサブネットが重複し ていないことを確認してください。重複している場合、サービスの通信の問題が発生する可能 性があります。

新しいアドオンノードをクラスタに結合する場合には、クラスタ内の最初のホストをプライマ リノードとして指定する必要があります。クラスタにアドオンノードを結合する際、次の点に 注意してください。

- 一度に1つのノードのみをクラスタに結合してください。複数のノードを同時に追加しないでください。同時に追加しようとすると予期しない動作が発生します。
- クラスタに新しいノードを追加する前に、インストールされているすべてのパッケージが プライマリノードに展開されていることを確認してください。展開されているかどうかを 確認するには、SSHを使用してプライマリノードの Cisco DNA Center 管理ポートに Linux ユーザ (maglev) としてログインしてから、maglev package status コマンドを実行します。 インストールされているすべてのパッケージは、コマンド出力で「展開済み (DEPLOYED)」 と表示されます。次の例では、アプリケーションポリシー、SD アクセス、センサアシュ アランス、センサ自動化のパッケージがインストールされていません。このため、これら

のパッケージのステータスのみが [未展開 (NOT\_DEPLOYED)]になります。アドオンノードを 設定する前に、パッケージのステータスが前述のように表示されている必要があります。

\$ ssh maglev@172.29.131.14 -p 2222 The authenticity of host '[172.29.131.14]:2222 ([172.29.131.14]:2222)' can't be established. ECDSA key fingerprint is SHA256:scye+2ll6NFHAkOZDs0cNLHBR75j1KV3ZXIKuUaiadk. Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes Warning: Permanently added '[172.29.131.14]:2222' (ECDSA) to the list of known hosts. Welcome to the Maglev Appliance maglev@172.29.131.14's password:

Welcome to the Maglev Appliance

System information as of Thu Dec 20 03:07:13 UTC 2018

System load: 4.08	ΙP	address	for	enp94s0f0: 17.192.1.14
Usage of /: 59.8% of 28.03GB	ΙP	address	for	enp94s0f1: 192.192.192.14
Memory usage: 21%	ΙP	address	for	enol: 172.29.131.14
Swap usage: 0%	ΙP	address	for	docker0: 169.254.0.1
Processes: 831	ΙP	address	for	tun10: 10.60.3.0
Users logged in: 0				

To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>". See "man sudo root" for details.

[Thu Dec 20 03:07:13 UTC] maglev@192.192.14
\$ maglev package status
[administration] password for 'admin':

maglev-1 [main - https://kong-frontend.maglev-system.svc.cluster.local:443]

NAME	DEPLOYED	AVAILABLE	STATUS
application-policy	_	2.1.10.170000	NOT DEPLOYED
assurance	1.0.5.686	1.1.8.1440	DEPLOYED
automation-core	2.1.8.60044	2.1.12.60011	DEPLOYED
base-provision-core	2.1.8.60044	2.1.12.60016	DEPLOYED
command-runner	2.1.8.60044	2.1.9.60029	DEPLOYED
device-onboarding	2.1.8.60044	2.1.12.60016	DEPLOYED
image-management	2.1.8.60044	2.1.12.60011	DEPLOYED
ncp-system	2.1.8.60044	2.1.9.60029	DEPLOYED
ndp-base-analytics	1.0.7.878	1.0.7.908	DEPLOYED
ndp-platform	1.0.7.829	1.0.7.866	DEPLOYED
ndp-ui	1.0.7.956	1.0.7.975	DEPLOYED
network-visibility	2.1.8.60044	2.1.12.60016	DEPLOYED
path-trace	2.1.8.60044	2.1.12.60016	DEPLOYED
sd-access	-	2.1.12.60016	NOT_DEPLOYED
sensor-assurance	-	1.1.5.40	NOT_DEPLOYED
sensor-automation	-	2.1.9.60029	NOT_DEPLOYED
system	1.0.4.807	1.0.4.855	DEPLOYED

各アドオンノードのクラスタ接続プロセス中に、サービスのダウンタイムが発生することが予想されます。サービスはすべてのノードに再配布される必要があり、そのプロセスの間、クラスタはダウンします。

### 始める前に

次のことを確認します。

- 「Maglev ウィザードを使用したプライマリノードの設定」の手順に従って、クラスタ内の最初のアプライアンスが設定されたこと。
- •「必要な IP アドレスおよびサブネット」と「必須の設定情報」で指定されているすべて の情報が収集されたこと。
- 「アプライアンスのインストールワークフロー」の説明に従って、2番目と3番目のアプ ライアンスがインストールされたこと。
- ・以下を完了していること。
- 1. 最初のアプライアンスで maglev package status コマンドを実行したこと。

この情報にはCisco DNA Centerホームページからもアクセスできます。[ヘルプ(Help)] アイコン(<sup>()</sup>)をクリックし、[概要(About)]>[パッケージを表示(Show Packages)] の順に選択してください。

- 2. Cisco TAC に連絡し、このコマンドの出力を提供して2番目と3番目のアプライアン スにインストールする必要がある ISO をポイントするよう依頼したこと。
- 「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」の説明に従っ て、両方のアドオンアプライアンスで Cisco Integrated Management Controller に対するブラ ウザのアクセス権が設定されたこと。
- •「事前設定チェックの実行」の説明に従って、アドオンノードアプライアンスのポート とそれらのポートによって使用されるスイッチの両方が適切に設定されていることを確認 しました。
- 互換性のあるブラウザを使用していることを確認済みであること。互換性のあるブラウザの一覧については、インストールしている Cisco DNA Center のバージョンに対応するリリースノートドキュメントを参照してください。
- 次の手順のステップ7で指定する DNS サーバーと Cisco DNA Center の間のファイアウォー ルで ICMP が許容されること。Maglev 構成ウィザードでは ping を使用して、ユーザーの 指定した DNS サーバーを確認します。Cisco DNA Center と DNS サーバーの間にファイア ウォールが存在し、そのファイアウォールで DNS サーバーと ICMP が許容されていない 場合、この ping がブロックされる可能性があります。ブロックされた場合、ウィザード を完了できません。

ステップ1 お使いのブラウザで、実行した cisco imc GUI 設定で設定した Cisco IMC の IP アドレスをポイントし、 cisco imc ユーザとして Cisco IMC GUI にログインします(「Cisco Integrated Management Controller に対 するブラウザアクセスの有効化」を参照)。 ログインが成功すると、次に示すように、アプライアンスに [Cisco Integrated Management Controller Chassis Summary] ウィンドウが、ウィンドウ上部のハイパーリンクメニューとともに表示されます。

114



ステップ2 ハイパーリンクメニューで [Launch KVM] を選択してから [Java based KVM] と [HTML based KVM] の いずれかを選択します。[Java-based KVM] を選択した場合、KVM コンソールを独自のウィンドウで表 示するために、ブラウザまたはファイルマネージャから Java スタートアップファイルを起動する必要が あります。[HTML-basedKVM] を選択すると、KVM コンソールが別個のブラウザウィンドウまたはタ ブで自動的に起動します。

> 選択した KVM のタイプに関係なく、KVM コンソールを使用して、設定の進行状況をモニタし、Maglev 構成ウィザードのプロンプトに応答します。

- **ステップ3** KVM が表示されたら、次のいずれかを選択してアプライアンスをリブートします。
  - ・メインの Cisco IMC GUI ブラウザウィンドウで、[Host Power]>[Power Cycle] を選択し、KVM コン ソールに切り替えて続行します。
  - KVM コンソールで、 [Power] > [Power Cycle System (cold boot)]を選択します。

アプライアンスをリブートするかどうかの確認を求められたら、[OK] をクリックします。

リブートメッセージが表示された後、KVM コンソールに Maglev 構成ウィザードのウェルカム画面が表示されます。

Welcome to the Maglev Configuration Wizard!	
The wizard will walk you through the steps to configure this host. Select one or more options below to specify how you would like to configure this host:	
Start a Cisco DNA Center Cluster	
Join a Cisco DNA Center Cluster	
< exit >	
Web Installation: https://172.29.131.222:9004/webinstall/whome	

**ステップ4** [Cisco Data Center クラスタに追加(Join a Cisco DNA Center Cluster)]を選択して、アドオンノードの 設定を開始します。

> ウィザードでは、アプライアンス上のすべてのポートが検出され、次の順序で1つずつ別の画面に表示 されます。

- 1. 1 Gbps/10 Gbps 管理ポート(1、eno1/enp53s0f0、ネットワークアダプタ #1)
- 2. 1 Gbps/10 Gbps クラウドポート (eno2/enp53s0f1、ネットワークアダプタ #2)
- **3.** 10 Gbps エンタープライズポート (enp94s0f0/enp69s0f0、ネットワークアダプタ #3)
- **4.** 10 Gbps クラスタポート (enp94s0f1/enp69s0f1、ネットワークアダプタ #4)
- (注) 44、56、および112コアアプライアンスのポートに割り当てられているインターフェイス名が 異なります。この手順で2つのインターフェイス名が指定された場合は、1つ目が44および56 コアアプライアンスに適用され、2つ目が112コアアプライアンスに適用されます。

設定の過程でウィザードがエンタープライズポートとクラスタポートのいずれかまたは両方を表示でき ない場合は、これらのポートが機能していないか、または無効になっている可能性があります。これら の10 Gbps ポートは Cisco DNA Center 機能に必要です。機能していないことが判明した場合には、[キャ ンセル (Cancel)]を選択し、すぐに設定を終了します。設定を再開したり、Cisco Technical Assistance Center (TAC)に連絡したりする前に「事前設定チェックの実行」に記載されているすべての手順が完了 していることを確認してください(詳細については『リリースノート』の「Cisco TAC 空サポートを受ける」の項を参照してください)。

ステップ5 このウィザードでは1 Gbps/10 Gbps 管理ポート(1、eno1/enp53s0f0)がまず検出され、[ネットワークア ダプタ#1 (NETWORK ADAPTER #1)]として表示されます。「インターフェイスケーブル接続」で説 明したように、このポートは管理ネットワークから Cisco DNA Center GUI にアクセスするために使用さ れます。この目的に適したホスト IP アドレス、ネットマスク、およびその他の値を適用します(入力す る値については、「必要なIP アドレスおよびサブネット」と「必須の設定情報」を参照してください)。

STEP #4	NETWORK ADAPTER #1 (eno1)
The wizard has discovered 4 physical network adapter(s) installed on the appliance.	Host IP Address: 172.29.131.16 Network:
Enter the network settings for the 1st network adapter (70:69: - eno1).	255.255.255.0 Default Gateway IP Address:
Select "Cluster Link" if used for cluster communication.	DMS Servers: 171.70.168.183 173.36.131.10 Static Routes: 10.0.0.0/255.0.0.0/172.29.131 Cluster Link
	<< back < cancel >

次の表に示すように、[ネットワークアダプタ#1 (NETWORK ADAPTER #1)]の設定値を入力します。

表 27: ネットワークアダプタ #1 のアドオンノードエントリ: 1 Gbps/10 Gbps 管理ポート (eno1/enp53s0f0)

ホスト IP アドレス	管理ポートの IP アドレスを入力します。これは、 このポートを使用して管理ネットワークから Cisco DNA Center GUI にアクセスする場合にのみ必要で す。それ以外の場合は、空白のままにします。
Netmask	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。この操作は IP アドレスを入力する場合 に必要になります。
デフォルトゲートウェイ IP アドレス	ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP ア ドレスを入力してください。 重要 アプライアンスの少なくとも1つのイン ターフェイスに対してデフォルトゲート ウェイ IP アドレスを入力してください。 入力しないと、設定ウィザードを完了で きません。
DNS Servers	<ul> <li>優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数 の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをスペースで区切ります。</li> <li>重要 ・NTP の場合、Cisco DNA Center と NTP サーバの間のポート123 (UDP) が開いていることを確認します。</li> <li>・クラスタ内の各アプライアンスに対 して、最大3 つの DNS サーバを設定 します。アプライアンスに対して 3 つを超える DNS サーバを設定する と、問題が発生する可能性がありま す。</li> </ul>
スタティック ルート	1つ以上のスタティックルートをスペースで区切り、<ネットワーク>/<ネットマスク>/<ゲートウェイ>の形式で入力します。
クラスタリンク	このフィールドは空欄のままにします。この操作は クラスタポートでのみ必要になります。

設定値の入力が完了したら、[next >>]をクリックして続行します。入力した値がウィザードによって検証され、正しくない値が含まれていた場合にはエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合には、入力した値が正しいことを確認してから、再入力します。必要に応じて[<< back] をクリックして再入力します。

ステップ6 入力した管理ポート値の検証が成功すると、ウィザードに1 Gbps /10 Gbps クラウドポート(2、 eno2/enp53s0f1)が[ネットワークアダプタ#2(NETWORK ADAPTER #2)]として表示されます。「イ ンターフェイスケーブル接続」で説明されているとおり、このポートは、アプライアンスをインターネッ トにリンクする際、10 Gbps エンタープライズポート(enp94s0f0/enp69s0f0)経由でアプライアンスをリ ンクできない場合に使用されるオプションのポートです。この目的に適したホストIP アドレス、ネット マスク、およびその他の値を適用します(入力する値については、「必要なIP アドレスおよびサブネッ ト」と「必須の設定情報」を参照してください)。

STEP #4	OPTIONAL - NETWORK ADAPTER #2 (en
<pre>(Optional) Enter the network settings for the 2nd network adapter (70:69: eno2). Select "Cluster Link" if used for cluster communication.</pre>	Host IP Address: Netnask: Default Gateway IP Address: DNS Servers: Static Routes: Cluster Link
	<< back < cancel >

次の表のとおり[ネットワークアダプタ #2(NETWORK ADAPTER #2)]の設定値を入力します。

### 表 28: ネットワークアダプタ #2 のアドオンノードエントリ: 1 Gbps/10 Gbps クラウドポート (eno2/enp53s0f1)

ホスト IP アドレス	クラウドポートの IP アドレスを入力します。この 操作はインターネット接続にクラウドポートを使用 している場合にのみ必要です。それ以外の場合は、 空白のままにしておくことができます。
Netmask	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。この操作は IP アドレスを入力する場合 に必要になります。
デフォルトゲートウェイ IP アドレス	クラウドポートに使用するデフォルトゲートウェイ の IP アドレスを入力します。 重要 アプライアンスの少なくとも1つのイン ターフェイスに対してデフォルトゲート
	ウェイ IP アドレスを入力してください。 入力しないと、設定ウィザードを完了で きません。
DNS Servers	優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数 の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをスペースで区切ります。
	<ul> <li>重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、</li> <li>最大3つのDNSサーバを設定します。ア</li> <li>プライアンスに対して3つを超えるDNS</li> <li>サーバを設定すると、問題が発生する可</li> <li>能性があります。</li> </ul>
スタティック ルート	1つ以上のスタティックルートをスペースで区切 り、<ネットワーク>/<ネットマスク>/<ゲートウェ イ>の形式で入力します。これは通常、管理ポート でのみ必要です。
クラスタリンク	このフィールドは空欄のままにします。この操作は クラスタポートでのみ必要になります。

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。

 ステップ7 入力したクラウドポート値の検証が成功すると、ウィザードに10 Gbps エンタープライズポート (enp94s0f0/enp69s0f0)が[ネットワークアダプタ#3 (NETWORK ADAPTER #3)]として表示されます。「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートは、アプライアンスをエンター プライズ ネットワークにリンクするために必要なポートです。この目的に適したホスト IP アドレス、 ネットマスク、およびその他の値を適用します(入力する値については、「必要な IP アドレスおよびサ ブネット」と「必須の設定情報」を参照してください)。

STEP #4	OPTIONAL - NETWORK ADAPTER #3 (e
(Optional) Enter the network settings for the 3rd network adapter (3c:fd: - enp94s0f0). Select "Cluster Link" if used for cluster communication.	Host IP Address: 17.192.1.16 Metmask: 255.255.255.0 Default Gateway IP Address: 17.192.1.1 DNS Servers:
	Static Routes:
	Cluster Link
	<< back < cancel >

次の表のとおり [NETWORK ADAPTER #3]の設定値を入力します。

ホスト IP アドレス	エンタープライズポートの IP アドレスを入力しま す。これは必須です。
Netmask	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。
デフォルトゲートウェイ IP アドレス	ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP ア ドレスを入力してください。
	<ul> <li>重要 アプライアンスの少なくとも1つのイン</li> <li>ターフェイスに対してデフォルトゲート</li> <li>ウェイ IP アドレスを入力してください。</li> <li>入力しないと、設定ウィザードを完了で</li> <li>きません。</li> </ul>
DNS Servers	優先DNSサーバのIPアドレスを入力します。複数のDNSサーバを入力する場合には、リスト内のIP アドレスをスペースで区切ります。
	重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、 最大3つのDNSサーバを設定します。ア プライアンスに対して3つを超えるDNS サーバを設定すると、問題が発生する可 能性があります。
スタティック ルート	1 つ以上のスタティックルートをスペースで区切 り、<ネットワーク>/<ネットマスク>/<ゲートウェ イ>の形式で入力します。これは通常、Cisco DNA Center 管理ポートでのみ必要です。
クラスタリンク	このフィールドは空欄のままにします。この操作は クラスタポートでのみ必要になります。

表 29: ネットワークアダプタ #3 のアドオンノードエントリ: 10 Gbps エンタープライズポート (enp94s0f0/enp69s0f0)

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。

ステップ8 入力したエンタープライズポート値の検証が成功すると、ウィザードに10 Gbps クラスタポート (enp94s0f1/enp69s0f1)が[ネットワークアダプタ#4 (NETWORK ADAPTER #4)]として表示されま す。「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートはアプライアンスをクラスタに リンクするために使用されるため、ホスト IP アドレス、ネットマスク、およびこの目的に適した他の値 を適用します(入力する値については、「必要な IP アドレスおよびサブネット」と「必須の設定情報」 を参照してください)。

STEP #4	OPTIONAL - NETWORK ADAPTER #4 (
(Optional) Enter the network settings for the 4th network adapter (3c:fd: - enp94s0f1). Select "Cluster Link" if used for cluster	Host IP Address: 192.192.192.16 Netmask: 255.255.255.0
communication.	Default Gateway IP Address:
	DNS Servers:
	Static Routes:
	X Cluster Link
	<pre>&lt;&lt; back &lt; cancel &gt;</pre>

次の表のとおり [ネットワークアダプタ #4 (NETWORK ADAPTER #4)]の設定値を入力します。

### 表 30: ネットワークアダプタ #4のアドオンノードエントリ: 10 Gbps クラスタポート (enp94s0f1/enp69s0f1)

ホスト IP アドレス	クラスタポートの IP アドレスを入力します。これ
	は必須です。クラスタポートのアドレスは後で変更
	できないことに注意してください。

Netmask	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。
デフォルトゲートウェイ IP アドレス	ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP ア ドレスを入力してください。
	<ul> <li>重要 アプライアンスの少なくとも1つのイン</li> <li>ターフェイスに対してデフォルトゲート</li> <li>ウェイ IP アドレスを入力してください。</li> <li>入力しないと、設定ウィザードを完了で</li> <li>きません。</li> </ul>
DNS Servers	優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数 の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをスペースで区切ります。
	<ul> <li>重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、</li> <li>最大3つのDNSサーバを設定します。ア</li> <li>プライアンスに対して3つを超えるDNS</li> <li>サーバを設定すると、問題が発生する可</li> <li>能性があります。</li> </ul>
スタティック ルート	1 つ以上のスタティックルートをスペースで区切 り、<ネットワーク>/<ネットマスク>/<ゲートウェ イ>の形式で入力します。これは通常、管理ポート でのみ必要です。
クラスタリンク	このポートがクラスタへのリンクであることを示す には、このチェックボックスをオンにします。この 操作はクラスタポートでのみ必要になります。

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。

**ステップ9** ネットワークアダプタの設定が完了すると、次に示すように、ユーザの使用する [NETWORK PROXY] の設定値を入力するようウィザードから求められます。



次の表に示すように [NETWORK PROXY] の設定値を入力します。

表 31: ネットワークプロキシのアドオンノードエントリ

HTTPS プロキシ	インターネットにアクセスする HTTPS ネットワー クプロキシの URL またはホスト名を入力します。 (注) Cisco DNA Center から HTTPS プロキシへ の接続は、このリリースの HTTP 経由の みでサポートされます。
HTTPS プロキシ ユーザ名	ネットワークプロキシへのアクセスに使用するユー ザ名を入力します。プロキシログインが必要ない場 合には、このフィールドを空白のままにします。
HTTPS プロキシ パスワード	ネットワークプロキシへのアクセスに使用するパス ワードを入力します。プロキシログインが必要ない 場合には、このフィールドを空白のままにします。

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。 **ステップ10** ネットワークプロキシの設定が完了すると、次に示すように、[MAGLEV CLUSTER DETAILS] で、プラ イマリノードのクラスタポートとプライマリノードのログイン情報を指定するよう促すウィザードのメッ セージが表示されます。

STEP #11	MAGLEV CLUSTER DETAILS
Enter the connectivity details for your existing Maglev cluster	Haglev Haster Node: * 192.192.192.14 Usernane: * naglev Password: * ********
	<< back

次の表の説明に従って、[MAGLEV クラスタの詳細(MAGLEV CLUSTER DETAILS)]に値を入力し ます。

#### 表 32: Maglev クラスタの詳細へのアドオンノードエントリ

Maglev ノード	クラスタ内のプライマリノードのクラスタポートの IP アドレスを入力します。ポート割り当ての推奨 事項に従っている場合、これはプライマリノードの IP アドレス enp94s0f1、ネットワークアダプタ #4 です。
Username	maglev と入力します。
Password	プライマリノードで設定した Linux パスワードを入 力します。

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。

ステップ11 Maglev クラスタの詳細を入力すると、次に示すように、このアドオンノードの[ユーザアカウント設定 (USER ACCOUNT SETTINGS)]の値を入力するように求められます。

STEP #13	USER ACCOUNT SETTINGS
Specify a new password for the 'nagleu' Linux user, and specify a passphrase of the 'admin' UI user. • Indicates a mandatory field Password generation is optional, but recommended. User is advised to append personal password with generated password for recommended security Caution: Store generated password for future log ins 	Linux Password: * *********** Re-enter Administrator Passphrase: * ********** Re-enter Administrator Passphrase: * *********
	<< back < cancel > next >>

次の表のとおり [ユーザアカウント設定(USER ACCOUNT SETTINGS)]の値を入力します。

表 33: ユーザアカウント設定のアドオンノードエントリ

Linux パスワード ma	aglev ユーザの Linux パスワードを入力します。
----------------	-------------------------------

Linux パスワードの再入力	Linux パスワードをもう一度入力して確認します。
パスワード生成シード	Linux パスワードを自分で作成しない場合には、こ のフィールドにシードフレーズを入力してから、 [Generate password] を押してパスワードを生成し ます。
自動生成パスワード	(オプション)シードフレーズは、ランダムで安 全なパスワードの一部として表示されます。必要に 応じて、このパスワードを「そのまま」使用するこ とも、この自動生成パスワードをさらに編集するこ ともできます。 [ <use generated="" password="">]をクリックしてパスワー ドを保存します。</use>
管理者パスフレーズ	スーパーユーザ権限を持つ管理者のデフォルトのパ スワードを入力します。このパスワードは Cisco DNA Center に初めてログインするときに使用しま す。
管理者パスフレーズの再入力	管理者パスフレーズをもう一度入力して確認しま す。

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。

ステップ12 ユーザアカウントの詳細を入力すると、次に示すように[NTP SERVER SETTINGS]の値を入力するよう ウィザードからメッセージが表示されます。

STEP #14	NTP SERVER SETTINGS
Enter the IP address of the NIP server that the controller will use.	NTP Servers: * 1.ntp.example.com 2.ntp.example.com 3.ntp.example.com
It is recommended to specify 3 or more NTP servers to improve availability and time accuracy.	
Please note that the NTP server(s) must be accessible in order for the configuration to succeed.	
* Indicates a mandatory field	
	<< back < cancel > mext >>

1つまたは複数のNTPサーバアドレスまたはホスト名をスペースで区切って入力します。1つ以上のNTP アドレスまたはホスト名が必要です。プライマリノードに指定したNTPサーバと同じである必要があり ます。

必要な情報を入力したら[Next>>]をクリックして続行します。以前の画面でしたように、検証エラーを 修正します。

**ステップ13** NTPサーバ設定の入力が完了すると、ウィザードで設定を適用する準備ができたことを示す最終メッセージが表示されます(以下参照)。

The wizard is now ready to apply the configuration on the controller.

Use the [back] button below to verify/modify controller settings.

Use the [cancel] button to discard your changes and exit the wizard.

Use the [proceed] button to save your changes and proceed with applying them on the contr

<< back

< cancel >

[Proceed >>]をクリックして、設定ウィザードを完了します。

ホストが自動的にリブートし、設定を適用してサービスを起動したとのメッセージが KVM コンソール に表示されます。このプロセスには数時間かかることがあります。KVM コンソールでプロセスの進行状 況をモニタすることができます。 設定プロセスの最後に、アプライアンスの電源を再投入すると、「設定に成功しました (CONFIGURATION SUCCEEDED!)」というメッセージが表示されます。

### 次のタスク

- クラスタ内の3番目および最後のノードとして展開する追加のアプライアンスがある場合には、この手順を繰り返します。
- クラスタへのホストの追加が終了したら、初回セットアップ(「初期設定ワークフロー」)
   を実行します。

# 最新の Cisco DNA Center リリースへのアップグレード

Cisco DNA Center の現在のリリースへのアップグレードの詳細については、『Cisco DNA Center アップグレードガイド』を参照してください。



# ブラウザベースのウィザードを使用した 44/56 コアアプライアンスの設定

- •アプライアンスの設定の概要 (133ページ)
- •ブラウザベースのウィザードの前提条件 (134ページ)
- •ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノードの設定(134ページ)
- •ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定(153ページ)
- Linux パスワードの生成 (172 ページ)
- ・最新の Cisco DNA Center リリースへのアップグレード (173 ページ)

### アプライアンスの設定の概要

次の2つのモードのいずれかを使用して、44 または56 コアアプライアンスをネットワークに 展開できます。

- スタンドアロン:すべての機能を提供する単一のノードとして。このオプションは通常、 初期展開、テスト展開、小規模なネットワーク環境での使用に適しています。
- クラスタ:3ノードクラスタに属するノードとして。このモードでは、すべてのサービス とデータがホスト間で共有されます。これは、大規模な展開で推奨されるオプションで す。

初期展開でスタンドアロンモードを選択した場合は、これが最初のノード、つまりプライマリ ノードになります。後でさらにアプライアンスを追加してクラスタを形成できます。

初期展開でクラスタモードを選択した場合は、アドオンノードの設定に進む前に、プライマリ ノードの設定を完了してください。

続行するには、次のタスクを実行します。

- クラスタのプライマリノードを設定します。「ブラウザベースのウィザードを使用したプ ライマリノードの設定」を参照してください。
- 2. 3つのアプライアンスを設置し、クラスタに2番目と3番目のノードを追加する場合、「ブ ラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定」を参照してください。

## ブラウザベースのウィザードの前提条件

ブラウザベースのウィザードを使用して、アプライアンスの設定が正しいことを確認するに は、次の手順を実行します。

- DHCP サーバが割り当てる IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを 使用するには、アプライアンス上のインターフェイスを1つまたは複数指定する必要があ ります。ウィザードでこのインターフェイスを設定する場合、割り当てられている IP ア ドレスまたはサブネットマスクは変更できません。デフォルトゲートウェイのみ変更でき ます。この章で扱うトピックでは、管理インターフェイスがこの目的で選択されているこ とが前提となっています。
- DHCP サーバの割り当てた IP アドレスが、ウィザードを完了するマシンから到達できる ことを確認します。
- クラスタ内およびエンタープライズインターフェイスで両方のインターフェイスが接続され、[稼働(UP)]状態であることを確認します。

# ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノー ドの設定

最初にインストールされたアプライアンスをプライマリノードとして設定するには、ブラウザ ベースのウィザードを使用して次の手順を実行します。最初のアプライアンスは、スタンドア ロンとして運用するか、またはクラスタの一部として運用するかにかかわらず、常にプライマ リノードとして設定する必要があります。

### C)

- **重要** 次の第2世代 Cisco DNA Center アプライアンスでは、ブラウザベースのウィザードを使用した 設定をサポートしています。
  - •44 コアアプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL
  - ・44 コア アップグレード アプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-U
  - •56 コアアプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-L
  - •56 コア アップグレード アプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-L-U
  - 第1世代 44 コアCisco DNA Centerアプライアンス(シスコ製品番号 DN1)は、このウィザードを使用しても設定ことはできません。

すでにプライマリノードがある既存のクラスタのアドオンノードとしてインストールされたア プライアンスを設定する場合には、代わりに「ブラウザベースのウィザードを使用したアドオ ンノードの設定」の手順を実行します。

### ¢

重要 このウィザードは、新しい Cisco DNA Center アプライアンスの初期設定を完了するためにのみ 使用できます。以前に設定したアプライアンスを再イメージ化するには、Maglev 設定ウィザー ドを使用する必要があります(Maglev ウィザードを使用したアプライアンスの設定 (91 ペー ジ)を参照)。

(注) この手順の実行中に入力するすべての IP アドレスが有効な IPv4 ネットマスクを持つ有効な IPv4アドレスであることを確認してください。また、アドレスと対応するサブネットが重複し ていないことを確認してください。重複している場合、サービスの通信の問題が発生する可能 性があります。

### 始める前に

次のことを確認します。

 「アプライアンスのイメージの再作成(84ページ)」の説明どおりに Cisco DNA Center ソフトウェアイメージがアプライアンスにインストールされたこと。

### ¢

- 重要 次のアプライアンスには Cisco DNA Center ソフトウェアイメージ があらかじめインストールされていないため、これはアップグ レードアプライアンスを設定する場合にのみ当てはまります。
  - •44 コア アップグレード アプライアンス(シスコ製品番号 DN2-HW-APL-U)
  - 56 コア アップグレード アプライアンス: (シスコ製品番号 DN2-HW-APL-L-U)
  - 必要な IP アドレスおよびサブネット (34 ページ) と 必須の設定情報 で必要な情報がす べて収集されたこと。
  - 「アプライアンスのインストールワークフロー」の説明に従って、最初のアプライアンス がインストールされたこと。
  - 「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」の説明に従って、プライマリノードで Cisco IMC に対するブラウザのアクセス権が設定されたこと。
  - •「事前設定チェックの実行」の説明に従って、プライマリノードアプライアンスのポートとそれらのポートによって使用されるスイッチが適切に設定されていること。
  - Cisco IMC、Cisco DNA Center との互換性があるブラウザを使用しています。互換性のある ブラウザの一覧については、インストールしている Cisco DNA Center のバージョンに対応 するリリースノートを参照してください。

- 次の手順で指定する DNS サーバと Cisco DNA Center の間のファイアウォールで ICMP が 許容されること。このウィザードでは、ユーザの指定する DNS サーバを ping で確認しま す。Cisco DNA Center と DNS サーバの間にファイアウォールが存在し、そのファイア ウォールで DNS サーバと ICMP が許容されていない場合、この ping がブロックされる可 能性があります。ブロックされた場合、ウィザードを完了できません。
- **ステップ1** お使いのブラウザで、実行した cisco imc GUI 設定で設定した Cisco IMC の IP アドレスをポイントし、 cisco imc ユーザとして Cisco IMC GUI にログインします(「Cisco Integrated Management Controller に対 するブラウザアクセスの有効化」を参照)。

ログインが成功すると、次に示すように、アプライアンスに [Cisco Integrated Management Controller Chassisの概要(Cisco Integrated Management Controller Chassis Summary)] ウィンドウが右上の青いリンクメニューとともに表示されます。

🕂 🔽 🚺 ac	lmin@76.21 - C220-FCH2206
Refresh   Host Power   Launch K	VM Ping Reboot Locator LED
Java based KV	M
HTML based K	VM

ステップ2 青いリンクメニューで[KVMの起動(Launch KVM)]を選択してから[Java ベースのKVM(Java based KVM)]と[HTML ベースのKVM(HTML based KVM)]のいずれかを選択します。Java ベースのKVM を選択した場合、KVM コンソールを独自のウィンドウで表示するために、ブラウザまたはファイルマ ネージャから Java スタートアップファイルを起動する必要があります。HMTL ベースのKVM を選択す ると、KVM コンソールが別個のブラウザウィンドウまたはタブで自動的に起動します。

> 選択した KVM のタイプに関係なく、KVM コンソールを使用して、設定の進行状況をモニタし、Maglev 構成ウィザードのプロンプトに応答します。

- ステップ3 KVM が表示されたら、次のいずれかを選択してアプライアンスをリブートします。
  - a) メインの Cisco IMC GUI ブラウザウィンドウで、[ホストの電源(Host Power)]>[電源の再投入 (Power Cycle)]を選択します。その後、KVM コンソールに切り替えて続行します。
  - b) KVM コンソールで、[電源 (Power)]>[システムの電源の再投入(コールドブート) (Power Cycle System (cold boot))] を選択します。

アプライアンスをリブートするかどうかの確認を求められたら、[**OK]** をクリックします。

リブートメッセージが表示された後、KVM コンソールに Maglev 構成ウィザードのウェルカム画面が表示されます。

Welcome to the Magleu Configuration Wizard!			
The wizard will walk you through the steps to configure this host. Select one or more options below to specify how you would like to configure this host:			
Start a Cisco DNA Center Cluster			
Join a Cisco DNA Center Cluster			
< exit >			
Web Installation: https://172.29.131.222:9004/webinstall/Whome			

[Web インストール (Web Installation)]フィールドにリストされている URL に注意してください。

**ステップ4** ブラウザベースの設定ウィザードを起動するには、この URL を開きます。

# Cisco DNA Center Appliance Configuration

Congratulations on your Cisco DNA Center purchase! This wizard will guide you through the steps to configure and install your appliances.

Each appliance has a four-port configuration. Your current network settings like DNS, Gateway IP, NTP server will be needed. Consider the right subnet and VLAN to connect the appliances, too.

Two 10Gb ports on Cisco Network Interface Card (NIC)

	10G 10G			
	10G 10G			
Two Intel x550 10Gb ethernet controller ports				

Before you start, reserve needed IP addreses. If there are firewalls to your networks, be sure to allow access to these URLs and open these ports.

Are you setting up a new cluster or joining an existing one?

New: Single-node
 O Join an existing cluster

Let's start

アプライアンスには設定可能なポートが4つあり、ウィザードで(一度に1つずつ)次の順序で表示されます。

- •10 Gbps エンタープライズポート (enp94s0f0)
- •1 Gbps/10 Gbps 管理ポート (eno1)
- •1 Gbps/10 Gbps クラウドポート (eno2)
- 10 Gbps クラスタポート (enp94s0f1)

Cisco DNA Center の機能に必要なため、少なくともエンタープライズポートとクラスタポートを設定す る必要があります。設定の過程でウィザードにこれらのポートのいずれか1つまたは両方が表示されな い場合、表示されないポートは機能しないか無効になっている可能性があります。ポートが機能してい ないことが判明した場合には、すぐに[キャンセル (Cancel)]を選択して設定を終了します。設定を再 開したり、Cisco Technical Assistance Center (TAC)に連絡したりする前に「事前設定チェックの実行」 に記載されているすべての手順が完了していることを確認してください。

ステップ5 ウィザードを起動するには、[新規:シングルノード(New: Single node)] ラジオボタンをクリックし、 [それでは、始めましょう(Let's start)]をクリックします。

ウィザードの [エンタープライズ ネットワーク (Enterprise Network)] 画面が開きます。
ntorpring Mat	work O Managament Natural	2 Internet Access	A Intro-Chuctor	Cluster Setting	C
nterprise Net	Work Z Management Network	3 Internet Access	4 Intra-Cluster	5 Cluster Setting	6
	$\sim$				
	Enterprise Network Interface Name : enp94s0f0 Interface IP : 17.192.1.128 Gateway : 17.192.1.1 VIP : N/A	106 106		Intra - Cluster Link Interface Name : enp94s0f1 Interface IP : N/A VIP : N/A	
		1G 10G			
	Management Network Interface Name : eno1 Interface IP : 172.29.131.128			Internet Access Interface Name : eno2 Interface IP : N/A Gateway : N/A	
	Gateway : N/A VIP : N/A			VIP : N/A	
	Gateway : N/A VIP : N/A			VIP : N/A	
Enter info	Gateway: N/A VIP: N/A	ise Network connecti	on	VIP : N/A	
Enter info	Gateway: H/A VIP: N/A	ise Network connecti	on	VIP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.128	Gateway: H/A VIP: N/A s* 8	ise Network connecti	on	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.128	Gateway: IV/A VIP: N/A s* 8 Enter II	ise Network connecti	on	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.128 Subnet Mask*	Gateway: IV/A VIP: N/A s* 8 Enter II	ise Network connecti	on	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.128 Subnet Mask* 255.255.255	Gateway: IV/A VIP: N/A s* 8 Enter II	ise Network connecti	on	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.128 Subnet Mask* 255.255.255	Gateway: IV/A VIP: N/A s* 8 Enter II 5.0 Enter IPV4 or 0-32 rai	rise Network connecti	on	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.124 Subnet Mask* 255.255.255 Cluster Virtual I	Gateway: H/A VIP: N/A s* 8 Enter II 5.0 Enter IPV4 or 0-32 rai	rise Network connecti	on	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.128 Subnet Mask* 255.255.255 Cluster Virtual I 17.192.1.23	Gateway: H/A VIP: N/A s* 8 Enter II 5.0 Enter IPV4 or 0-32 rai IP to access Management Network 6	ise Network connecti	on	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.124 Subnet Mask* 255.255.255 Cluster Virtual I 17.192.1.234	Gateway: H/A VIP: N/A s* 8 Enter II 5.0 Enter IPV4 or 0-32 rai IP to access Management Network 6 Enter II	ise Network connecti	DN	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.124 Subnet Mask* 255.255.255 Cluster Virtual I 17.192.1.234	Gateway: H/A VP: N/A s* 8 Enter IP 5.0 Enter IPV4 or 0-32 rai IP to access Management Network 6 Enter IP	ise Network connecti	on	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.124 Subnet Mask* 255.255.255 Cluster Virtual I 17.192.1.234 DNS	Gateway: H/A VIP: N/A s* 8 Enter II 5.0 Enter IPV4 or 0-32 rai IP to access Management Network 6 Enter II	ise Network connecti	on	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.124 Subnet Mask* 255.255.255 Cluster Virtual I 17.192.1.230 DNS	Gateway: H/A VP: N/A rrmation about your Enterpr s* 8 Enter II 5.0 Enter IPV4 or 0-32 rai IP to access Management Network 6 Enter II Multiple DNS can be provided using commu	ise Network connecti	on	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.124 Subnet Mask* 255.255.255 Cluster Virtual I 17.192.1.23 DNS	Gateway: H/A VP: N/A rrmation about your Enterpr s* 8 Enter II 5.0 Enter IPV4 or 0-32 rai IP to access Management Network 6 Enter II Multiple DNS can be provided using comment y IP Address	ise Network connecti	on	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.124 Subnet Mask* 255.255.255 Cluster Virtual I 17.192.1.23 DNS	Gateway: H/A VP: N/A rrmation about your Enterpr s* 8 Enter II 5.0 Enter IPV4 or 0-32 rai IP to access Management Network 6 Enter II Multiple DNS can be provided using common y IP Address	ise Network connecti	on	VP : N/A	
Enter info Host IP Addres 17.192.1.128 Subnet Mask* 255.255.255 Cluster Virtual 17.192.1.23 DNS	Gateway: H/A VP: N/A rrmation about your Enterpr s* 8 Enter II 5.0 Enter IPV4 or 0-32 rai IP to access Management Network 6 Enter II Multiple DNS can be provided using comment y IP Address Host name or IP address	ise Network connecti	on	VP : N/A	

#### **ステップ6** エンタープライズポートの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートは、アプライアンスをエンタープラ イズネットワークにリンクするために必要なポートです。入力する必要のある値の詳細説明については 「必要な IP アドレスおよびサブネット (34 ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください。

#### 表 34:エンタープライズポート (enp94s0f0) のプライマリノードエントリ

[Host IP Address] フィールド	エンタープライズポートの IP アドレスを入力しま す。これは必須です。
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。

I

[クラスタ仮想 IP でエンタープライズネットワーク にアクセス(Cluster Virtual IP to access Enterprise Network)] フィールド	クラスタと企業ネットワーク間のトラフィックに使用される仮想 IP アドレスを入力します。この操作は、3ノードクラスタと、将来3ノードクラスタに変換されるシングルノードクラスタの両方の場合に必要です。シングルノードクラスタを設定して、そのまま維持する予定の場合は、このフィールドを空白のままにすることができます。
	重要 設定済みのネットワークインターフェイ スごとに1つずつ仮想 IP アドレスを入力 する必要があります。この操作を行わな い限り、ウィザードを完了することはで きません。これらのアドレスは、クラス タリンクのステータスに関連付けられて おり、そのステータスは[アップ(UP)] 状態であることが必要です。
[DNS] フィールド	優先DNSサーバのIPアドレスを入力します。複数のDNSサーバを入力する場合には、リスト内のIP アドレスをカンマで区切ります。
	<ul> <li>重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、</li> <li>最大3つの DNS サーバを設定します。ア</li> <li>プライアンスに対して3つを超える DNS</li> <li>サーバを設定すると、問題が発生する可</li> <li>能性があります。</li> </ul>

[デフォルトゲートウェイ IP アドレス(Default Gateway IP Address)] フィールド	ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP ドレスを入力してください。			
	重要	アタウスき	プライアンスの少なくとも1つのイン -フェイスに対してデフォルトゲート ェイIPアドレスを入力してください。 りしないと、設定ウィザードを完了で ません。	
	(注)	DH ファ この 次 を 打	CP サーバによって割り当てられたデ オルトゲートウェイを使用するように Dインターフェイスを指定した場合は、 D手順を実行して、別のゲートウェイ 指定します。	
		1.	このフィールドのリストに現在表示 されているIPアドレスを削除し、[保 存して終了(Save & Exit)]をクリッ クします。	
			この操作でウィザードの最初の画面 に戻ります。	
		2.	エンタープライズポートのウィザー ド画面に戻り、使用するゲートウェ イ IP アドレスを入力します。	
[このエンタープライズネットワーク(スタティックル・ト) なな中し エロのマントローク	スタティ	ック	フルートを設定するには、このチェック	
(Connect to another network via this enterprise network (Static Route))] チェックボックス	ホックノ ・ネッ	ィトリ	フーク IP プレフィックス	
	<ul> <li>・サン</li> <li>・ネク</li> </ul>	「ネ」	ットマスク トホップ IP アドレス	
	追加のフ (Add)	<タラ ]ア	ティックルートを設定するには、 <b>[追加</b> イコンをクリックします。	

- ここから次のいずれかを実行します。
  - この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
  - 次のウィザード画面を開くには、[次へ (Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポー

トが稼働している場合は、ウィザードの[管理ネットワーク(Management Network)] 画面が開きます。

Cisco DNA Center Appliance C	configuration		
Enterprise Network 2 Management Network 3 Internet Access 4 Intra-0	Cluster 5 Cluster Setting	6 Install	
Enterprise Network Interface Name : eng/s4000 Interface Name : int/s21.128 Gateway: 17.192.1.1 VIP : 17.192.1.28	Intra - Cluster Link Interface Name : eng94s0f1 Interface IP : N/A VIP : N/A		
Management Network	Internet Access Interface Name : eno2 Interface 0P : NAA Gateway : NA VP : NA		
Do you use a dedicated Managment Network to access Cisco DNA Ce	enter		Connect to anothe Network IP Prefix*
UI?			
• Yes O No			Network IP Prefix*
Host IP Address*			171.0.0.0
172.29.131.128			
			E
Enter IPV4			Notwork ID Profiv*
Enter IPV4 Subnet Mask*			Network IP Prefix*
Enter IPV4 Subnet Mask* 255.255.255.0			Network IP Prefix* 172.0.0.0
Enter IPV4 Subnet Mask* 255.255.255.0 Enter IPV4 or 0-32 range			Network IP Prefix* 172.0.0.0
Enter IPV4 Subnet Mask* 255.255.255.0 Enter IPV4 or 0-32 range Cluster Virtual IP to access Management Network			Network IP Prefix* 172.0.0.0  Network IP Prefix* 173.0.0.0
Enter IPV4 Subnet Mask* 255.255.255.0 Enter IPV4 or 0-32 range Cluster Virtual IP to access Management Network 172.29.131.236			Network IP Prefix* 172.0.00 Network IP Prefix* 173.0.0.0
Enter IPV4 Subnet Mask* 255.255.255.0 Enter IPV4 or 0-32 range Cluster Virtual IP to access Management Network 172.29.131.236 Enter IPV4			E Network IP Prefix* 172.0.0.0 E Network IP Prefix* 173.0.0.0
Enter IPV4 Subnet Mask* 255.255.255.0 Enter IPV4 or 0-32 range Cluster Virtual IP to access Management Network 1722.29.131.236 Enter IPV4 DNS			Network IP Prefix* 172.0.0.0  Network IP Prefix* 173.0.0.0  Network IP Prefix* 70.0.0
Enter IPV4 Subnet Mask* 255.255.255.0 Enter IPV4 or 0-32 range Cluster Virtual IP to access Management Network 172.29.131.236 Enter IPV4 DNS 171.70.168.183			Network IP Prefix* 172.0.0 Network IP Prefix* 173.0.0 Network IP Prefix* 72.0.0.0
Enter IPV4 Subnet Mask* 255.255.255.0 Enter IPV4 or 0-32 range Cluster Virtual IP to access Management Network 172.29.131.236 Enter IPV4 DNS 171.70.168.183 Multiple DNS can be provided using comma			Network IP Prefix* 172.0.0.0 Network IP Prefix* 173.0.0.0 Network IP Prefix* 72.0.0.0
Enter IPV4 Subnet Mask* 255.255.255.0 Enter IPV4 or 0-32 range Cluster Virtual IP to access Management Network 172.29.131.236 Enter IPV4 DNS 171.70.168.183 Multiple DNS can be provided using comma Default Gateway IP Address			Network IP Prefix* 172.0.0   Network IP Prefix* 173.0.0   Network IP Prefix* 72.0.0   Save & Exit

#### ステップ7 (任意)管理ポートの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートは管理ネットワークから Cisco DNA Center GUI にアクセスするために使用されます。[Cisco DNA Center の UI にアクセスする専用の管理ネットワークを使用しますか? (Do you use a dedicated Management Network to access Cisco DNA Center UI?)] フィールドで、次のいずれかを実行します。

- ・このポートを使用してGUIにアクセスする場合は、[はい(Yes)]ラジオボタンをクリックし、次の 表に記載されている情報を入力します。(入力する必要のある値の詳細説明については「必要な IP アドレスおよびサブネット (34 ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください)
- ・代わりに以前のステップで設定したエンタープライズポートからGUIにアクセスする場合は、[いいえ(No)]ラジオボタンをクリックして[次へ(Next)]をクリックします。

#### 表 35:管理ポート (enp94s0f0) のプライマリノードエントリ

[Host IP Address] フィールド	管理ポートの IP アドレスを入力します。これは必
	須です。

[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。
[クラスタ仮想 IP で管理ネットワークにアクセス (Cluster Virtual IP to access Management Network)] フィールド	クラスタと管理ネットワーク間のトラフィックに使用される仮想 IP アドレスを入力します。この操作は、3 ノードクラスタと、将来3 ノードクラスタに変換されるシングルノードクラスタの両方の場合に必要です。シングルノードクラスタを設定して、そのまま維持する予定の場合は、このフィールドを空白のままにすることができます。
	重要 設定済みのネットワークインターフェイ スごとに1つずつ仮想 IP アドレスを入力 する必要があります。この操作を行わな い限り、ウィザードを完了することはで きません。これらのアドレスは、クラス タリンクのステータスに関連付けられて おり、そのステータスは [アップ(UP)] 状態であることが必要です。
[DNS] フィールド	<ul> <li>優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数 の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをスペースで区切ります。</li> <li>重要 ・NTP の場合、Cisco DNA Center と NTP サーバの間のポート 123 (UDP) が開いていることを確認します。</li> <li>・クラスタ内の各アプライアンスに対 して、最大3つの DNS サーバを設定 します。アプライアンスに対して 3 つを超える DNS サーバを設定する と、問題が発生する可能性がありま す。</li> </ul>

[デフォルトゲートウェイ IP アドレス(Default Gateway IP Address)] フィールド	ポートに使用するデフォルトゲートウェイの ドレスを入力してください。			
	重要	アプライアンスの少なくとも1つのイン ターフェイスに対してデフォルトゲート ウェイ IP アドレスを入力してください。 入力しないと、設定ウィザードを完了で きません。		
	(注)	DHCP サーバによって割り当てられたデ フォルトゲートウェイを使用するように このインターフェイスを指定した場合は、 次の手順を実行して、別のゲートウェイ を指定します。		
		<ol> <li>このフィールドのリストに現在表示 されているIPアドレスを削除し、[保 存して終了(Save &amp; Exit)]をクリッ クします。</li> </ol>		
		この操作でウィザードの最初の画面 に戻ります。		
		2. 管理ポートのウィザード画面に戻り、 使用するゲートウェイ IP アドレスを 入力します。		
[このエンタープライズネットワーク(スタティッ	スタティ	ックルートを設定するには、このチェック		
クルート) を栓田して別のネットワークに接続 (Connect to another network via this enterprise network	ホックス	をオンにして、次の情報を入力します。		
(Static Route))] チェックボックス	• <b>イ</b> ツ	トリーク IP フレノイ ツクス		
	<ul> <li>・ワノ</li> <li>・ネク</li> </ul>	<sup>ホットヾ ハク</sup> ストホップ IP アドレス		
	追加のス ( <b>Add</b> )]	タティックルートを設定するには、 <b>[追加</b> アイコンをクリックします。		

- ここから次のいずれかを実行します。
  - この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
  - ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ (previous)]をクリックします。
  - ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポートが稼働している場合は、ウィザードの[インターネットアクセス(Internet Access)] 画面が開きます。



Enterprise Ne	twork // Management Net	work 3 Internet Access	4 Intra-Cluster	5 Cluster Setting	6 Install
	Enterprise Network Interface Name : engedsolo Interface IP: 17.192.1.128 Gattway: 17.192.1.1 VIP : 17.192.1.236		•	Intra - Cluster Link Interface Name : enp04s0/1 Interface IP : N/A VIP : N/A	
	Management Network Interface Name : eno1 Interface IP: 172.29.131.128 Gateway: VIA VIP : 172.29.131.236			Internet Access Interface Name : eno2 Interface IP : N/A Gateway : N/A VIP : N/A	
Do you u	use a dedicated Interne	t Access?			
⊖ Yes	• No				
- Save & Exit					Previous

**ステップ8** (任意) インターネット アクセス ポートの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明されているとおり、このポートは、アプライアンスをインター ネットにリンクする際、エンタープライズポート経由でアプライアンスをリンクできない場合に使用さ れるオプションのポートです。[専用インターネットアクセスを使用しますか? (Do you use a dedicated Internet Access?)]フィールドで、次のいずれかを実行します。

- このポートを使用してインターネットにアクセスする場合は、[はい(Yes)]ラジオボタンをクリックし、次の表に記載されている情報を入力します。(入力する必要のある値の詳細説明については「必要なIPアドレスおよびサブネット(34ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください)
- ・代わりに以前に設定したエンタープライズポートからインターネットにアクセスする場合は、[いいえ(No)] ラジオボタンをクリックして [次へ(Next)] をクリックします。

表 36:インターネット アクセス ポート (eno2) のプライマリノードエントリ

[Host IP Address] フィールド	クラウドポートの IP アドレスを入力します。
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。この操作は IP アドレスを入力する場合 に必要になります。

[クラスタ仮想 IP をインターネットアクセスに使用 (Cluster Virtual IP for Internet Access)]フィールド	クラスタとインターネットとのトラフィックに使用 される仮想IPアドレスを入力します。この操作は、 3ノードクラスタと、将来3ノードクラスタに変換 されるシングルノードクラスタの両方の場合に必要 です。シングルノードクラスタを設定して、そのま ま維持する予定の場合は、このフィールドを空白の ままにすることができます。
	重要 設定済みのネットワークインターフェイ スごとに1つずつ仮想 IP アドレスを入力 する必要があります。この操作を行わな い限り、ウィザードを完了することはで きません。これらのアドレスは、クラス タリンクのステータスに関連付けられて おり、そのステータスは [アップ(UP)] 状態であることが必要です。
[DNS] フィールド	優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数 の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをスペースで区切ります。
	<ul> <li>重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、</li> <li>最大3つの DNS サーバを設定します。ア</li> <li>プライアンスに対して3つを超える DNS</li> <li>サーバを設定すると、問題が発生する可</li> <li>能性があります。</li> </ul>
[デフォルトゲートウェイ IP アドレス(Default Gateway IP Address)] フィールド	ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP ア ドレスを入力してください。
	<ul> <li>重要 アプライアンスの少なくとも1つのイン</li> <li>ターフェイスに対してデフォルトゲート</li> <li>ウェイ IP アドレスを入力してください。</li> <li>入力しないと、設定ウィザードを完了で</li> <li>きません。</li> </ul>
[このエンタープライズ ネットワーク(スタティッ クルート)を経由して別のネットワークに接続	スタティックルートを設定するには、このチェック ボックスをオンにして、次の情報を入力します。
(Connect to another network via this enterprise network(Static Route) ) ] $\mathcal{F} = \mathcal{Y} \mathcal{P} \mathcal{F}$	・ネットワーク IP プレフィックス
	・        ・        ・        ・
	追加のスタティックルートを設定するには、[追加 (Add)]アイコンをクリックします。

ここから次のいずれかを実行します。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ(Previous)]をクリックします。
- ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポートが稼働している場合は、ウィザードの[クラスタ内(Intra-Cluster)]画面が開きます。

### cisco Cisco DNA Center Appliance Configuration

Enterprise Network	Internet Access	4 Intra-Cluster	5 Cluster Setting	6 In	stall
Enterprise Network Interface Name: eng94s0/10 Interface IP: 17.192.1.128 Gateway: 17.192.1.1 VIP: 17.192.1.236			Intra - Cluster Link Interface Name : enp94s0f1 Interface IP : N/A VIP : N/A		
Management Network Interface Name: eno1 Interface Pi: 712.29.131.128 Gateway: N/A VIP: 172.29.131.236	106		Internet Access Interface Name: eno.2 Interface IP: NIA Gateway: NIA VIP: NIA		
Host IP Address*					
192.192.192.128					
Enter IPV4	1				
Subnet Mask*					
255.255.255.0					
Enter IPV4 or 0-32 range	9				
Cluster Virtual IP to access Intra Cluster					
192.192.192.236					
Enter IPV4	Į.				
Connect to another network via this enterprise netwo	ork (Static Route)				
- Save & Exit				Previous	Next

**ステップ9** クラスタ内リンクの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートはアプライアンスをクラスタにリン クするために必要なポートです。入力する必要のある値の詳細説明については「必要なIPアドレスおよ びサブネット (34 ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください。

#### 表 37: クラスタ内リンク (*enp94s0f1*)のプライマリノードエントリ

[Host IP Address] フィールド	クラスタポートの IP アドレスを入力します。これ
	は必須です。クラスタポートのアドレスは後で変更 できないことに注意してください。

[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。
[クラスタ仮想 IP を使用して内部クラスタにアクセス (Cluster Virtual IP to access Intra Cluster)] フィールド	クラスタ内のノード間のトラフィックに使用される 仮想IPアドレスを入力します。この操作は、3ノー ドクラスタと、将来3ノードクラスタに変換される シングルノードクラスタの両方の場合に必要です。 シングルノードクラスタを設定して、そのまま維持 する予定の場合は、このフィールドを空白のままに することができます。
	重要 設定済みのネットワークインターフェイ スごとに1つずつ仮想IPアドレスを入力 する必要があります。この操作を行わな い限り、ウィザードを完了することはで きません。これらのアドレスは、クラス タリンクのステータスに関連付けられて おり、そのステータスは[アップ(UP)] 状態であることが必要です。
[このエンタープライズネットワーク(スタティッ クルート)を経由して別のネットワークに接続 (Connect to another network via this enterprise network (Static Route))]チェックボックス	スタティックルートを設定するには、このチェック ボックスをオンにして、次の情報を入力します。 ・ネットワーク IP プレフィックス ・サブネットマスク ・ネクストホップ IP アドレス 追加のスタティックルートを設定するには、[追加 (Add)]アイコンをクリックします。

ここから次のいずれかを実行します。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ(Previous)]をクリックします。
- ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定値が有効で、ポートが稼働している場合は、ウィザードの[**クラスタ設定(Cluster Settings**)] 画面が開きます。

Interprise Network Management Network Internet Acc	ess / Intra-Cluster 5 Cluster Se	etting 6 Instal
Host Name	Proxy Server	
example-host		
Enter FQDN	Proxy Type	
NTP Servers*	HTTPS	
2.ntp.esl.example.com,ntp.esl.example.com,1.ntp.esl.exa	Proxy Server*	
Use comma as seperator.	http://proxy-wsa.esi.example.com	
Service Subnets	E.g: https://www.e.g.	://example.com
Please enter the IP networks for the cluster and	Port*	
service subnets. These networks will be internal to the	80	
cluster and non-routed, but should not overlap with the interface IP ranges. It is recommended not to change this value and use the default settings Service Subnet*	User Name	
169.254.32.0/20		
E.g: 169.254.32.0/20	Password	Ø
Cluster Service Subnet*		
169.254.48.0/20		
E.g: 169.254.48.0/20		
Linux Admin credential	Cisco DNA Center Web Admin credential	
User Name	User Name	
maglev	admin	
Password*	Password"	(A)
42		42
Confirm Password*	Confirm Password*	
		Ø
Password Generation is optional, but its		
recommended		
Click here to Generate New Password		

ステップ10 クラスタの設定値を入力します。

表 38: クラスタ設定のプライマリノードエントリ

[Host Name] フィールド	クラスタの完全修飾ドメイン名(FQDN)を指定し ます。Cisco DNA Center は、このホスト名を使用し て次の操作を実行します。
	<ul> <li>このホスト名を使用して、クラスタの Web イ ンターフェイスと、Cisco DNA Center が管理す るエンタープライズ ネットワーク内のデバイ スによって使用される Representational State Transfer (REST) API にアクセスします。</li> <li>Cisco DNA Center 証明書の [Subject Alternative Name (SAN)]フィールドで、FQDNを使用し</li> </ul>
	て、デバイスのプロビジョニングに使用される プラグ アンド プレイ サーバが定義されます。

I

[NTP Server (NTP サーバ)] フィールド	1 つまたは複数の NTP サーバアドレスまたはホス ト名をカンマで区切って入力します。1 つ以上の NTP アドレスまたはホスト名が必要です。
	実稼働環境への展開では、少なくとも3台のNTP サーバを設定するようお勧めします。
サービスサブネット	
[サービスサブネット (Service Subnet)]フィールド	独自のサービスの管理に使用する、Cisco DNA Center 専用の IP サブネットを入力します。
[クラスタサービスサブネット(Cluster Service Subnet)] フィールド	Cisco DNA Center が独自のクラスタリングサービス の管理に使用する、専用の IP サブネットを入力し ます。
Linux 管理者クレデンシャル	
[管理者用パスワード (Admin Password)]フィール ドと [パスワードの確認 (Confirm Password)] フィールド	maglevユーザのパスワードを入力して確認します。
新しいパスワードのリンクを生成する場合はここを クリック	Cisco DNA Center の生成した Linux パスワードを使 用する場合はクリックします。「Linux パスワード の生成」を参照してください。
Proxy Server	
[プロキシタイプ (Proxy Type)]フィールド	[HTTPS] チェックボックスにチェックマークを入 れます。
[プロキシサーバ (Proxy Server)]フィールド	インターネットにアクセスする HTTPS ネットワー クプロキシの URL またはホスト名を入力します。
	<ul><li>(注) Cisco DNA Center から HTTPS プロキシへの接続は、このリリースの HTTP 経由のみでサポートされます。</li></ul>
[Port] フィールド	アプライアンスがネットワークプロキシにアクセス するために使用したポートを入力します。
[User Name] フィールド	ネットワークプロキシへのアクセスに使用するユー ザ名を入力します。プロキシログインが必要ない場 合には、このフィールドを空白のままにします。
Password フィールド	ネットワークプロキシへのアクセスに使用するパス ワードを入力します。プロキシログインが必要ない 場合には、このフィールドを空白のままにします。
	1

[管理者用パスワード (Admin Password)]フィール	デフォルトのスーパーユーザadminのパスワードを
ドと [パスワードの確認(Confirm Password)]	入力して確認します。このパスワードはCisco DNA
フィールド	Center への初回ログインに使用します。

ここから次のいずれかを実行します。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ (Previous)]をクリックします。
- 次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する 前に通知されます。入力した設定が有効であれば、ウィザードの[インストール(Install)] 画面が 開きます。

# Cisco DNA Center Appliance Configuration

Enterprise Network	Management Network	Internet Access	Intra-Cluster	Cluster Setting	6 In	stall
Ŭ	Ŭ	Ŭ	Ŭ	Ŭ		
Congratulations ! T you can download f	he appliance has succes the generated configura	ssfully generated requin tion in JSON format fro	red configuration and om <mark>here</mark> .	ready to install,		
If there are firewalls	s to your network, be su	re to open these ports	for communication w	ith assigned IP addresse	d.	
				C		
← Exit					Previous	Install

ステップ11 Cisco DNA Center アプライアンスの設定を完了するには、[インストール(Install)]をクリックします。

この設定プロセスには約90分かかります。プロセス中もウィザード画面が継続的に更新され、現在実行 しているタスクとその進行状況、発生したエラーが示されます。

### Cisco DNA Center Appliance Configuration

This appliance with software version (1.3.0.77) is currently being configured as the Master in the cluster. It may take around 90 minutes.

If there are firewalls to your networks, be sure to open these ports for communication with IP addresses assigned.

1 Install Post-Install
Configuring IP addresses for appliance
10%
2019-08-21 23:08:23,114   Cluster config latest version: (6)
2019-08-21 23:08:23,114   Cluster config supported versions: (['1, '3, '2, '5, '4'])
2019-08-21 23:08:23,114   Cluster config is at version (1), while the latest version is (6), need to upgrade the config
2019-08-21 23:08:23,115   Attempting upgrade of cluster config from (1) to (6)

#### View Details

この情報を別のペインで表示するには、画面の下部にある[詳細の表示(View Details)]リンクをクリックします。

```
Installation Details 📋 🛛 👋
```

Started:
Status: Install
Fetching data. Please wait 2019-08-21 23:08:32 125   Configuring IP addresses for appliance
2010-08-21 23:08:30 133   Please wait while we validate and configure bost
networking
2019-08-21 23:08:23,116   Upgrading from (5) to (6)
2019-08-21 23:08:23,116   Using
2019-08-21 23:08:23,116   Upgrading from (4) to (5)
2019-08-21 23:08:23,116   Using
2019-08-21 23:08:23,116   Upgrading from (3) to (4)
2019-08-21 23:08:23,116   Using
2019-08-21 23:08:23,115   Upgrading from (2) to (3)
2019-08-21 23:08:23,115   Using
2019-08-21 23:08:23,115   Determining catalog_in_cluster
2019-08-21 23:08:23,115   Upgrading from (1) to (2)
2019-08-21 23:08:23,115   Using
2019-08-21 23:08:23,115   Attempting upgrade of cluster config from (1) to (6)
2019-08-21 23:08:23,114   Cluster config is at version (1), while the latest version
is (6), need to upgrade the config

この情報のローカルコピーをテキストファイル形式で保存するには、 🕛 をクリックします。

#### 次のタスク

タスクが完了した後:

- このアプライアンスをスタンドアロンモードのみで展開する場合には、初回セットアップ (「初期設定ワークフロー」)を実行して続行します。
- このアプライアンスをクラスタ内のプライマリノードとして展開する場合には、クラスタ内の2番目と3番目のインストール済みアプライアンスを設定します(「ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定」)。

# ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノード の設定

ブラウザベースのウィザードを使用して、クラスタ内の2番目と3番目のアプライアンスを設 定するには、次の手順を実行します。

C)

- 重要 ・3 ノードクラスタを構築するには、同じバージョンのシステムパッケージが 3 つの Cisco DNA Center アプライアンスにインストールされている必要があります。この条件が整わ ない場合、予期しない動作とダウンタイムの可能性が生じることがあります。
  - 次の第2世代 Cisco DNA Center アプライアンスでは、ブラウザベースのウィザードを使用した設定をサポートしています。
    - •44 コアアプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL
    - •44 コア アップグレード アプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-U
    - •56 コアアプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-L
    - •56 コア アップグレード アプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-L-U

第1世代44コアCisco DNA Centerアプライアンス(シスコ製品番号 DN1)は、このウィ ザードを使用しても設定ことはできません。

#### (f

重要 このウィザードは、新しいCisco DNA Center アプライアンスの初期設定を完了するためにのみ 使用できます。以前に設定したアプライアンスを再イメージ化するには、Maglev 設定ウィザー ドを使用する必要があります(Maglev ウィザードを使用したアプライアンスの設定(91ペー ジ)を参照)。

(注) この手順の実行中に入力するすべての IP アドレスが有効な IPv4 ネットマスクを持つ有効な IPv4 アドレスであることを確認してください。また、アドレスと対応するサブネットが重複し ていないことを確認してください。重複している場合、サービスの通信の問題が発生する可能 性があります。

新しいアドオンノードをクラスタに結合する場合には、クラスタ内の最初のホストをプライマ リノードとして指定する必要があります。クラスタにアドオンノードを結合する際、次の点に 注意してください。

 クラスタに新しいノードを追加する前に、インストールされているすべてのパッケージが プライマリノードに展開されていることを確認してください。展開されているかどうかを 確認するには、セキュアシェルを使用して、プライマリノードの Cisco DNA Center 管理 ポートに Linux ユーザ(maglev) としてログインしてから、maglev package status コマン ドを実行します。インストールされているすべてのパッケージは、コマンド出力で「展開 済み (DEPLOYED) 」と表示されます。次の例では、アプリケーションポリシー、SD アクセ ス、センサアシュアランス、センサ自動化のパッケージがインストールされていないた め、これらのパッケージのステータスのみが [未展開 (NOT\_DEPLOYED) ] になります。アドオ ンノードを設定する前に、パッケージのステータスが前述のように表示されている必要が あります。

\$ ssh maglev@172.29.131.14 -p 2222 The authenticity of host '[172.29.131.14]:2222 ([172.29.131.14]:2222)' can't be established. ECDSA key fingerprint is SHA256:scye+2116NFHAkOZDs0cNLHBR75j1KV3ZXIKuUaiadk. Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes Warning: Permanently added '[172.29.131.14]:2222' (ECDSA) to the list of known hosts. Welcome to the Maglev Appliance maglev@172.29.131.14's password: Welcome to the Maglev Appliance System information as of Thu Dec 20 03:07:13 UTC 2018 System load: 4.08 IP address for enp94s0f0: 17.192.1.14 Usage of /: 59.8% of 28.03GB IP address for enp94s0f1: 192.192.192.14 Memory usage: 21% IP address for eno1: 172.29.131.14 Swap usage: 0% IP address for docker0: 169.254.0.1 Processes: 831 IP address for tun10: 10.60.3.0 Users logged in: 0

To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>". See "man sudo\_root" for details.

[Thu Dec 20 03:07:13 UTC] maglev@192.192.192.14 \$ maglev package status [administration] password for 'admin':

maglev-1 [main - https://kong-frontend.maglev-system.svc.cluster.local:443]

NAME	DEPLOYED	AVAILABLE	STATUS
application-policy		2 1 10 170000	NOT DEPLOYED
assurance	1.0.5.686	1.1.8.1440	DEPLOYED
automation-core	2.1.8.60044	2.1.12.60011	DEPLOYED
base-provision-core	2.1.8.60044	2.1.12.60016	DEPLOYED
command-runner	2.1.8.60044	2.1.9.60029	DEPLOYED
device-onboarding	2.1.8.60044	2.1.12.60016	DEPLOYED
image-management	2.1.8.60044	2.1.12.60011	DEPLOYED
ncp-system	2.1.8.60044	2.1.9.60029	DEPLOYED
ndp-base-analytics	1.0.7.878	1.0.7.908	DEPLOYED
ndp-platform	1.0.7.829	1.0.7.866	DEPLOYED
ndp-ui	1.0.7.956	1.0.7.975	DEPLOYED
network-visibility	2.1.8.60044	2.1.12.60016	DEPLOYED
path-trace	2.1.8.60044	2.1.12.60016	DEPLOYED
sd-access	-	2.1.12.60016	NOT DEPLOYED
sensor-assurance	-	1.1.5.40	NOT DEPLOYED
sensor-automation	-	2.1.9.60029	NOT DEPLOYED
system	1.0.4.807	1.0.4.855	DEPLOYED

- 一度に1つのノードのみをクラスタに結合してください。複数のノードを同時に追加しないでください。同時に追加しようとすると予期しない動作が発生します。
- 各アドオンノードのクラスタ接続プロセス中に、サービスのダウンタイムが発生することが予想されます。サービスはすべてのノードに再配布される必要があり、そのプロセスの間、クラスタはダウンします。

#### 始める前に

次のことを確認します。

 「アプライアンスのイメージの再作成(84ページ)」の説明どおりに Cisco DNA Center ソフトウェアイメージがアプライアンスにインストールされたこと。

#### Ċ

- 重要 次のアプライアンスには Cisco DNA Center ソフトウェアイメージ があらかじめインストールされていないため、これはアップグ レードアプライアンスを設定する場合にのみ当てはまります。
  - •44 コア アップグレード アプライアンス(シスコ製品番号 DN2-HW-APL-U)
  - 56 コア アップグレード アプライアンス: (シスコ製品番号 DN2-HW-APL-L-U)
  - •「ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノードの設定」の手順に従って、ク ラスタ内の最初のアプライアンスが設定されたこと。
  - 必要な IP アドレスおよびサブネット (34 ページ) と 必須の設定情報 で必要な情報がす べて収集されたこと。

- 「アプライアンスのインストールワークフロー」の説明に従って、2番目と3番目のアプ ライアンスがインストールされたこと。
- •以下を完了していること。
  - 1. 最初のアプライアンスで maglev package status コマンドを実行したこと。

この情報にはCisco DNA Centerホームページからもアクセスできます。[ヘルプ(Help)] アイコン(〇)をクリックし、[概要(About)]>[パッケージを表示(Show Packages)] の順に選択してください。

- 2. Cisco TAC に連絡し、このコマンドの出力を提供して2番目と3番目のアプライアン スにインストールする必要がある ISO をポイントするよう依頼したこと。
- 「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」の説明に従って、両方のアドオンアプライアンスで Cisco IMC に対するブラウザのアクセス権が設定されたこと。
- 「事前設定チェックの実行」の説明に従って、アドオンノードアプライアンスのポート とそれらのポートによって使用されるスイッチの両方が適切に設定されていることを確認 しました。
- 互換性のあるブラウザを使用していること。互換性のあるブラウザの一覧については、インストールしている Cisco DNA Center のバージョンに対応するリリースノートを参照してください。
- 次の手順のステップ7で指定するDNSサーバーとCisco DNA Centerの間のファイアウォー ルでICMPが許容されること。このウィザードでは、ユーザの指定するDNSサーバをping で確認します。Cisco DNA Center とDNSサーバの間にファイアウォールが存在し、その ファイアウォールでDNSサーバとICMPが許容されていない場合、このpingがブロック される可能性があります。ブロックされた場合、ウィザードを完了できません。
- ステップ1 お使いのブラウザで、実行した cisco imc GUI 設定で設定した Cisco IMC の IP アドレスをポイントし、 cisco imc ユーザとして Cisco IMC GUI にログインします(「Cisco Integrated Management Controller に対 するブラウザアクセスの有効化」を参照)。 ログインが成功すると、次に示すように、アプライアンスに [Cisco Integrated Management Controller Chassisの概要(Cisco Integrated Management Controller Chassis Summary)] ウィンドウが右上の青いリ ンクメニューとともに表示されます。



ステップ2 青いリンクメニューで[KVMの起動(Launch KVM)]を選択してから[Java ベースのKVM(Java based KVM)]と[HTMLベースのKVM(HTML based KVM)]のいずれかを選択します。JavaベースのKVM を選択した場合、KVM コンソールを独自のウィンドウで表示するために、ブラウザまたはファイルマ ネージャから Java スタートアップファイルを起動する必要があります。HMTL ベースのKVM を選択す ると、KVM コンソールが別個のブラウザウィンドウまたはタブで自動的に起動します。

> 選択した KVM のタイプに関係なく、KVM コンソールを使用して、設定の進行状況をモニタし、Maglev 構成ウィザードのプロンプトに応答します。

- **ステップ3** KVM が表示されたら、次のいずれかを選択してアプライアンスをリブートします。
  - a) メインの Cisco IMC GUI ブラウザウィンドウで、[ホストの電源(Host Power)]>[電源の再投入 (Power Cycle)]を選択します。その後、KVM コンソールに切り替えて続行します。
  - b) KVM コンソールで、[電源 (Power)]>[システムの電源の再投入(コールドブート) (Power Cycle System (cold boot))] を選択します。

アプライアンスをリブートするかどうかの確認を求められたら、[OK] をクリックします。

リブートメッセージが表示された後、KVM コンソールに Maglev 構成ウィザードのウェルカム画面が表示されます。



[Web インストール(Web Installation)] フィールドにリストされている URL に注意してください。 ステップ4 ブラウザベースの設定ウィザードを起動するには、この URL を開きます。

### Cisco DNA Center Appliance Configuration

Congratulations on your Cisco DNA Center purchase! This wizard will guide you through the steps to configure and install your appliances.

Each appliance has a four-port configuration. Your current network settings like DNS, Gateway IP, NTP server will be needed. Consider the right subnet and VLAN to connect the appliances, too.

Two 10Gb ports on Cisco Network Interface Card (NIC)

	10G 10	G 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
	10G 10			
Two I	ntel x550 10Gb ether	net controller ports		

Before you start, reserve needed IP addreses. If there are firewalls to your networks, be sure to allow access to these URLs and open these ports.

Are you setting up a new cluster or joining an existing one?

New: Single-node
 Join an existing cluster

Let's start

アプライアンスには設定可能なポートが4つあり、ウィザードで(一度に1つずつ)次の順序で表示されます。

- 10 Gbps エンタープライズポート (enp94s0f0)
- •1 Gbps/10 Gbps 管理ポート (eno1)
- •1 Gbps/10 Gbps クラウドポート (eno2)
- 10 Gbps クラスタポート (enp94s0f1)

Cisco DNA Center の機能に必要なため、少なくともエンタープライズポートとクラスタポートを設定す る必要があります。設定の過程でウィザードにこれらのポートのいずれか1つまたは両方が表示されな い場合、表示されないポートは機能しないか無効になっている可能性があります。ポートが機能してい ないことが判明した場合には、すぐに[キャンセル (Cancel)]を選択して設定を終了します。設定を再 開したり、Cisco Technical Assistance Center (TAC)に連絡したりする前に「事前設定チェックの実行」 に記載されているすべての手順が完了していることを確認してください。

- **ステップ5** ウィザードを起動するには、次の手順を実行します。
  - a) [既存のクラスタに追加(Add to an existing cluster)] ラジオボタンをクリックします。
  - b) プライマリノードのクラスタポートに設定された IP アドレスと、Linux (Maglev) ユーザのユーザ名 とパスワードを入力します。
  - c) [それでは、始めましょう(Let's start)] をクリックします。

ウィザードの [エンタープライズ ネットワーク (Enterprise Network)] 画面が開きます。

Cisco DNA Center Appliance Confi	guration	
Enterprise Network 2 Management Network 3 Internet Access 4 Intra-Cluster	5 Cluster Setting	6 Install
Enterprise Network Interface Name : enp04.600 Interface IP : 17.192.1.242 Gateway : N/A		
Management Network Interface Ment Sectors Interface IP: 172.29.131.242 Gateway: N/A	Internet Access Interface Name : eno2 Interface III : N/A Gateway : N/A	
Enter information about your Enterprise Network connection Host IP Address* 17.192.1.242		
Enter IPV4		
Subnet Mask*		
255.255.255.0		
citter in v+ of 0-32 talige		
DNS		
Multiple DNS can be provided using comma		
Default Gateway IP Address		
17.192.1.1		
Host name or IP address		
Connect to another network via this enterprise network (Static Route)		
ve 8 Evit		Nex

**ステップ6** エンタープライズポートの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートは、アプライアンスをエンタープラ イズネットワークにリンクするために必要なポートです。入力する必要のある値の詳細説明については 「必要な IP アドレスおよびサブネット (34 ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください。

#### 表 39:エンタープライズポート (enp94s0f0) のアドオンノードエントリ

[Host IP Address] フィールド	エンタープライズポートの IP アドレスを入力しま す。これは必須です。
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。

[DNS] フィールド	優先 DN の DNS アドレフ	S サ サー スを2	ーバのIPアドレスを入力します。複数 バを入力する場合には、リスト内のIP bンマで区切ります。
	重要	ク最プサ能	ラスタ内の各アプライアンスに対して、 大3つの DNS サーバを設定します。ア ライアンスに対して3つを超える DNS -バを設定すると、問題が発生する可 生があります。
[デフォルトゲートウェイ IP アドレス(Default Gateway IP Address)] フィールド	ポートに ドレスを	と使用 と入り	用するデフォルトゲートウェイの IP ア りしてください。
	重要	アタウスき	プライアンスの少なくとも1つのイン -フェイスに対してデフォルトゲート -イIPアドレスを入力してください。 りしないと、設定ウィザードを完了で ません。
	(注)	DH ファ この 次 を 打	CP サーバによって割り当てられたデ +ルトゲートウェイを使用するように Dインターフェイスを指定した場合は、 D手順を実行して、別のゲートウェイ 旨定します。
		1.	このフィールドのリストに現在表示 されているIPアドレスを削除し、[保 存して終了(Save & Exit)]をクリッ クします。
			この操作でウィザードの最初の画面 に戻ります。
		2.	エンタープライズポートのウィザー ド画面に戻り、使用するゲートウェ イ IP アドレスを入力します。
[このエンタープライズネットワーク(スタティッ クルート)を経由して別のネットワークに接続	スタティ ボックフ	, ック スをン	ハートを設定するには、このチェック オンにして、次の情報を入力します。
(Connect to another network via this enterprise network (Static Route))]チェックボックス	• ネッ	ノト! ~~~	フーク IP プレフィックス
	<ul> <li>・サン</li> <li>・ネク</li> </ul>	/不) /ス	ットマ <i>スク</i> トホップ IP アドレス
	追加のフ (Add)	マタラ ] ア	ティックルートを設定するには、[追加 イコンをクリックします。

ここから次のいずれかを実行します。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- •次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポートが稼働している場合は、ウィザードの[管理ネットワーク(Management Network)]画面が開きます。

Enterprise Network Interface Name : eng94:000 Interface P1 71,7192.1.342 Gateway : 17.192.1.1	Intra – Cluster Link Interface Name : enp94s0/1 Interface IP : N/A	
Management Network Interface Name : eno1 Interface Net : 712.29.131.242 Gateway : N/A	Internat Access     Interface Name : ono2     Interface IP : N/A     Gateway : N/A	Connect to another network Network IP Prefix* 10.0.0.0
		Enter IPV
Do you use a dedicated Managment Network to access Cisco DN/ UI?	A Center	Network IP Prefix* 171.0.00
• Yes O No		Enter IPV
Host IP Address*		Network IP Prefix* 172.0.0.0
172.29.131.242		Enter IPV
Enter IP V4		Network IP Prefix* 173.0.0.0
255.255.255.0		Enter IP\
Enter IPV4 or 0-32 range		Network IP Prefix*
DNS 171 70 168 183		72.0.0.0
Multiple DNS can be provided using comma		Enter IPV
Default Onteren ID Address		
		← Save & Exit
Host name or IP address		

ステップ1 (任意)管理ポートの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートは管理ネットワークから Cisco DNA Center GUI にアクセスするために使用されます。[Cisco DNA Center の UI にアクセスする専用の管理ネットワークを使用しますか? (Do you use a dedicated Management Network to access Cisco DNA Center UI?)] フィールドで、次のいずれかを実行します。

・このポートを使用してGUIにアクセスする場合は、[はい(Yes)]ラジオボタンをクリックし、次の 表に記載されている情報を入力します。(入力する必要のある値の詳細説明については「必要な IP アドレスおよびサブネット (34 ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください)

cisco DNA Center Appliance Configuration

 ・代わりに以前のステップで設定したエンタープライズポートからGUIにアクセスする場合は、[いい え(No)] ラジオボタンをクリックして[次へ(Next)]をクリックします。

#### 表 40:管理ポート (enp94s0f0) のアドオンエントリ

[Host IP Address] フィールド	管理ポートの IP アドレスを入力します。これは必 須です。			
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。			
[DNS] フィールド	優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数 の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをスペースで区切ります。			
	<b>重要</b> <ul> <li>NTPの場合、Cisco DNA Centerと NTPサーバの間のポート123 (UDP) が開いていることを確認します。</li> </ul>			
	<ul> <li>クラスタ内の各アプライアンスに対して、最大3つのDNSサーバを設定します。アプライアンスに対して3つを超えるDNSサーバを設定すると、問題が発生する可能性があります。</li> </ul>			

[デフォルトゲートウェイ IP アドレス(Default Gateway IP Address)] フィールド	(Default ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP ドレスを入力してください。			
	重要	アプライアンスの少なくとも1つのイン ターフェイスに対してデフォルトゲート ウェイ IP アドレスを入力してください。 入力しないと、設定ウィザードを完了で きません。		
	(注)	DHCP サーバによって割り当てられたデ フォルトゲートウェイを使用するように このインターフェイスを指定した場合は、 次の手順を実行して、別のゲートウェイ を指定します。		
		<ol> <li>このフィールドのリストに現在表示 されているIPアドレスを削除し、[保 存して終了(Save &amp; Exit)]をクリッ クします。</li> </ol>		
		この操作でウィザードの最初の画面 に戻ります。		
		<ol> <li>管理ポートのウィザード画面に戻り、 使用するゲートウェイ IP アドレスを 入力します。</li> </ol>		
[このエンタープライズネットワーク(スタティッ	スタティ	イックルートを設定するには、このチェック		
(Connect to another network via this enterprise network	ハツクノ	$\langle \mathcal{C} \rangle$ ンにしし、伏の情報を入力します。		
(Static Route))] チェックボックス	• + -	ブネットママカ		
	• ネ	フストホップ IP アドレス		
	追加のン (Add)	<タティックルートを設定するには、[追加 ]アイコンをクリックします。		

- ここから次のいずれかを実行します。
  - この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
  - ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ (previous)]をクリックします。
  - ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポートが稼働している場合は、ウィザードの[インターネットアクセス(Internet Access)] 画面が開きます。

# cisco DNA Center Appliance Configuration

Enterprise Network / Management Ne	twork 3 Internet Access	4 Intra-Cluster	5 Cluster Setting	6 Install
Enterprise Network Interface Name : engl44000 Interface IP: 17,192,1,242 Gateway : 17,192,1,1	106		Intra - Cluster Link Interface Name : enpl4sor1 Interface IP : N/A	
Management Network Interface Name : ero1 Interface IP : 172.29.131.242 Gateway : N/A			Internet Access Interface Name : eno2 Interface IP : NA Gateway : N/A	
Do you use a dedicated Interne	t Access?			
○ Yes ● No				
← Save & Exit				Previous Next

**ステップ8** (任意) インターネット アクセス ポートの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明されているとおり、このポートは、アプライアンスをインター ネットにリンクする際、エンタープライズポート経由でアプライアンスをリンクできない場合に使用さ れるオプションのポートです。[専用インターネットアクセスを使用しますか? (Do you use a dedicated Internet Access?)]フィールドで、次のいずれかを実行します。

- このポートを使用してインターネットにアクセスする場合は、[はい(Yes)]ラジオボタンをクリックし、次の表に記載されている情報を入力します。(入力する必要のある値の詳細説明については「必要なIPアドレスおよびサブネット(34ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください)
- ・代わりに以前に設定したエンタープライズポートからインターネットにアクセスする場合は、[いいえ(No)]ラジオボタンをクリックして[次へ(Next)]をクリックします。

表 41:インターネット アクセス ポート (eno2) のアドオンエントリ

[Host IP Address] フィールド	クラウドポートの IP アドレスを入力します。
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。この操作は IP アドレスを入力する場合 に必要になります。

[DNS] フィールド	<ul> <li>優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをスペースで区切ります。</li> <li>重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、</li> </ul>
	最大3つのDNSサーバを設定します。ア プライアンスに対して3つを超えるDNS サーバを設定すると、問題が発生する可 能性があります。
[デフォルトゲートウェイ IP アドレス(Default Gateway IP Address)] フィールド	ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP ア ドレスを入力してください。
	<ul> <li>重要 アプライアンスの少なくとも1つのイン</li> <li>ターフェイスに対してデフォルトゲート</li> <li>ウェイ IP アドレスを入力してください。</li> <li>入力しないと、設定ウィザードを完了で</li> <li>きません。</li> </ul>
[このエンタープライズネットワーク(スタティッ クルート)を経由して別のネットワークに接続	スタティックルートを設定するには、このチェック ボックスをオンにして、次の情報を入力します。
(Connect to another network via this enterprise network (Static Route) ) ] $\mathcal{F} = \mathcal{F} = \mathcal{F} = \mathcal{F}$	・ネットワーク IP プレフィックス
	<ul> <li>サブネットマスク</li> <li>トロースク</li> </ul>
	• $\pi \rho \chi \wedge \pi \gamma \gamma$ IP $\gamma \wedge \nu \chi$
	追加のスタティックルートを設定するには、[追加 (Add)]アイコンをクリックします。

ここから次のいずれかを実行します。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ(Previous)]をクリックします。
- •次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポートが稼働している場合は、ウィザードの[クラスタ内(Intra-Cluster)] 画面が開きます。

Cisco DNA Center Appliance Confi	guration
Enterprise Network Management Network Internet Access	5 Cluster Setting 6 Install
Enterprise Network Interface IP: 17, 192.1.242 Gateway: 17, 192.1.1	Intra – Cluster Link Interface Name : enp94s0f1 Interface IP: N/A
Management Network Interface Name: eno1 Interface P: 172.29.131.242 Gateway: N/A	Internet Access Interface Name: eno2 Interface IP: N/A Gateway: N/A
Host IP Address*	
Enter IPV4	
Subnet Mask*	
255.255.255.0	
Enter IPV4 or 0-32 range	
Connect to another network via this enterprise network (Static Route)	
Save & Exit	Previous

**ステップ9** クラスタ内リンクの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートはアプライアンスをクラスタにリン クするために必要なポートです。入力する必要のある値の詳細説明については「必要な IP アドレスおよ びサブネット (34 ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください。

#### 表 42: クラスタ内リンク (enp94s0f1) のアドオンエントリ

[Host IP Address] フィールド	クラスタポートの IP アドレスを入力します。これ は必須です。クラスタポートのアドレスは後で変更 できないことに注意してください。
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。
[このエンタープライズネットワーク(スタティッ クルート)を経由して別のネットワークに接続 (Connect to another network via this enterprise network (Static Route))]チェックボックス	スタティックルートを設定するには、このチェック ボックスをオンにして、次の情報を入力します。 ・ネットワーク IP プレフィックス ・サブネットマスク ・ネクストホップ IP アドレス 追加のスタティックルートを設定するには、[追加 (Add)] アイコンをクリックします。

ここから次のいずれかを実行します。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ(Previous)]をクリックします。
- ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポートが稼働している場合は、次のダイアログボックスが開きます。

cisco Cisco	Primary Appliance Details	atio	n
Click here to View/Edit info	Primary Intra-Cluster Interface IP* 192.192.192.192.192.242/24 Range Username* maglev Password* Cherr Linux Username Password* Cherr Linux Password	Cluster	Setting 6 Install
User Name maglev Password*	Ð	Save	
Confirm Password* Password Ger Click here	eration is optional, but its recommended to Generate New Password		
← Save & Exit			Previous

ステップ10 次のタスクを完了し、[保存 (Save)]をクリックします。

- 1. プライマリノードのクラスタ内リンクに設定されている IP アドレスを入力します。
- 2. [ユーザ名(Username)] フィールドに「maglev」と入力します。
- 3. maglev ユーザに対して設定されているパスワードを入力します。

入力した情報がウィザードで検証されます。この情報が正しい場合は、ウィザードの[クラスタ設定 (Cluster Settings)] 画面が開きます。

ıı ı، cıs	ו ו. co	Cisco DNA Co	enter Applia	ince Config	guration	
En	nterprise Netw	ork OManagement Network	Internet Access	Intra-Cluster	5 Cluster Setting	6 Install
	Click here to V	/iew/Edit info of Primary Appliance in	the cluster to be connected			
	NTP Servers* 2.ntp.esl.exan	nple.com,ntp.esl.example.com,1.ntp.	esl.exa	Proxy Server		
		Use comma as se	perator.	Proxy Type		
				HTTPS		
				Proxy Server*		
1	Linux Admin cr	redential		http://proxy-wsa.es	E.g: https://example.com	
	User Name			Dent	E.g. https://example.com	
	maglev			80		
	Password*					
			Þ	User Name		
	Confirm Passwo	rd*				
			Ø)	Password	Ð	
		Password Generation is optional, recomm Click here to Generate New Pa	but its nended ssword			
← Save	& Exit				Pre	vious

ステップ11 クラスタの設定値を入力します。

#### 表 **43**:クラスタ設定のアドオンエントリ

[Primary Appliance in the cluster to be connected] リン クの情報を表示または編集する場合はここをクリッ ク	クリックすると、ダイアログボックスと次の情報が すべて表示されます。 ・プライマリノードのクラスタ内リンク用に設定 された IP アドレス。 ・maglevユーザに対して設定されているパスワー ド。
[NTP Server (NTP サーバ)] フィールド	<ol> <li>1つまたは複数のNTPサーバアドレスまたはホスト名をカンマで区切って入力します。1つ以上のNTPアドレスまたはホスト名が必要です。</li> <li>実稼働環境への展開では、少なくとも3台のNTPサーバを設定するようお勧めします。</li> </ol>
Linux 管理者クレデンシャル	
[パスワード (Password)]フィールドと[パスワー ドの確認 (Confirm Password)]フィールド	maglevユーザのパスワードを入力して確認します。

新しいパスワードのリンクを生成する場合はここを クリック	Cisco DNA Center の生成した Linux パスワードを使 用する場合はクリックします。「Linux パスワード の生成」を参照してください。
Proxy Server	
[プロキシタイプ (Proxy Type) ] フィールド	クラスタのプライマリノード(HTTPS)用に設定 されたプロキシタイプのチェックボックスが表示さ れます。このノードに同じプロキシタイプを設定す るには、このチェックボックスをオンにします。
[プロキシサーバ (Proxy Server)]フィールド	インターネットにアクセスする HTTPS ネットワー クプロキシの URL またはホスト名を入力します。 (注) Cisco DNA Center から HTTPS プロキシへ の接続は、このリリースの HTTP 経由の みでサポートされます。
[Port] フィールド	アプライアンスがネットワークプロキシにアクセス するために使用したポートを入力します。
[User Name] フィールド	ネットワークプロキシへのアクセスに使用するユー ザ名を入力します。プロキシログインが必要ない場 合には、このフィールドを空白のままにします。
Password フィールド	ネットワークプロキシへのアクセスに使用するパス ワードを入力します。プロキシログインが必要ない 場合には、このフィールドを空白のままにします。

ここから次のいずれかを実行します。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ(Previous)]をクリックします。
- •次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する 前に通知されます。入力した設定が有効であれば、ウィザードの[インストール(Install)] 画面が 開きます。

	Enterprise Network Management Network	Internet Access	Intra-Cluster	Cluster Setting	6 Install
	Congratulations ! The appliance has successfully g you can download the generated configuration in a	generated required config JSON format from <b>here</b> .	uration and ready to inst	all,	
	If there are firewalls to your network, be sure to op	pen these ports for comm	unication with assigned I	P addressed.	
ップ 12	●Exit Cisco DNA Center アプライアンジン この設定プロセスには約90分かしているタスクとその進行状況	スの設定を完了 <sup>、</sup> かります。プロ 、発生したエラ	するには、 <b>[イン</b> マセス中もウィー ーが示されます	マストール(Instal ザード画面が継続 「。	Previous Install
ップ 12	Cisco DNA Center アプライアンス この設定プロセスには約90分か しているタスクとその進行状況 CISCO Cisco DNA	スの設定を完了 <sup>、</sup> かります。プロ 、発生したエラ Center Ap	するには、[イン マセス中もウィナ ーが示されます pliance Cc	マストール(Instal ゲード画面が継続 う。 onfiguration	Previous Install 1)]をクリックしま 的に更新され、現在
ップ 12	Cisco DNA Center アプライアンス この設定プロセスには約90分か しているタスクとその進行状況 CISCO CISCO DNA This appliance with software version around 90 minutes.	スの設定を完了 かります。プロ 、発生したエラ Center Ap (1.3.0.77) is currently	するには、 <b>[イン</b> マセス中もウィオ ーが示されます pliance Co	マストール(Instal ゲード画面が継続に っ onfiguration as the Master in the cl	Previous Install 1)]をクリックしま 的に更新され、現在 luster. It may take
ップ 12	●Exit Cisco DNA Center アプライアンス この設定プロセスには約90分か しているタスクとその進行状況 CISCO DNA This appliance with software version around 90 minutes. If there are firewalls to your networks, be sure	スの設定を完了 かります。プロ 、発生したエラ Center Ap (1.3.0.77) is currently to open these ports for o	するには、[イン セス中もウィ ーが示されます pliance Co v being configured	マストール(Instal ゲード画面が継続に つ onfiguration as the Master in the cl ddresses assigned.	Previous Install 1)]をクリックしま 的に更新され、現在
ップ <b>12</b>	Cisco DNA Center アプライアンス この設定プロセスには約90分か しているタスクとその進行状況 Cisco Cisco DNA ( This appliance with software version around 90 minutes. If there are firewalls to your networks, be sure 1 Install (2 Page 1)	スの設定を完了・ かります。プロ 、発生したエラ <b>Center Ap</b> ( <i>1.3.0.77</i> ) is currently to open these ports for o	するには、[イン セス中もウィー ーが示されます pliance Cc being configured	マストール(Instal デード画面が継続 つ onfiguration as the Master in the cl ddresses assigned.	Previous 「natall 1)]をクリックしま 的に更新され、現在
ップ 12	Cisco DNA Center アプライアンス この設定プロセスには約90分か しているタスクとその進行状況 Cisco DNA Cisco DNA This appliance with software version around 90 minutes. If there are firewalls to your networks, be sure 1 Install 2 Particular	スの設定を完了 かります。プロ 、発生したエラ <b>Center Ap</b> ( <i>1.3.0.77</i> ) is currently to open these ports for o ost-Install nce	するには、[イン セス中もウィキ ーが示されます pliance Co v being configured	マストール(Instal ゲード画面が継続 つ onfiguration as the Master in the cl ddresses assigned.	Previous Install 1)]をクリックしま 的に更新され、現在
ップ 12	Cisco DNA Center アプライアンス この設定プロセスには約90分か しているタスクとその進行状況 CISCO CISCO DNA This appliance with software version around 90 minutes. If there are firewalls to your networks, be sure          1       Install       2       Pi         Configuring IP addresses for appliant         2019-08-21 23:08:23,114   Cluster	スの設定を完了 かります。プロ 、発生したエラ <b>Center Ap</b> ( <i>1.3.0.77</i> ) is currently to open these ports for o ost-Install nce	するには、[イン セス中もウィ ーが示されます pliance Cc v being configured communication with IP ad	マストール(Instal ゲード画面が継続 つ onfiguration as the Master in the cl ddresses assigned.	Previous Install 1)]をクリックしま 的に更新され、現在 luster. It may take
ップ <b>12</b>	Cisco DNA Center アプライアンス この設定プロセスには約90分か しているタスクとその進行状況 いたいる によいる りいるタスクとその進行状況 いたいる いるタスクとその進行状況 いたいる いるタスクとその道行状況 いたいる いる りいる りいる りたいる いる りとその している りいる りたいる りたいる いたいる りたいる いる り したい したい したい したい したい したい したい したい したい したい	スの設定を完了 かります。プロ 、発生したエラ <b>Center Ap</b> ( <i>1.3.0.77</i> ) is currently to open these ports for o ost-Install nce	するには、[イン セス中もウィー ーが示されます pliance Cc > being configured * ommunication with IP ar * (6) rsions: (['1; '3; '2; '5	マストール(Instal ゲード画面が継続 Fo onfiguration as the Master in the cl ddresses assigned.	Previous 「natall 1) ]をクリックしま 的に更新され、現在 luster. It may take

この情報を別のウィンドウで表示するには、画面の下部にある[詳細の表示(View Details)]リンクをクリックします。

X

### Installation Details 🖞

Started: Status: Install Fetching data. Please wait... 2019-08-21 23:08:32,125 | Configuring IP addresses for appliance... 2019-08-21 23:08:30,133 | Please wait while we validate and configure host networking 2019-08-21 23:08:23,116 | Upgrading from (5) to (6) 2019-08-21 23:08:23,116 | Using 2019-08-21 23:08:23,116 | Upgrading from (4) to (5) 2019-08-21 23:08:23,116 | Using 2019-08-21 23:08:23,116 | Upgrading from (3) to (4) 2019-08-21 23:08:23,116 | Using 2019-08-21 23:08:23,115 | Upgrading from (2) to (3) 2019-08-21 23:08:23,115 | Using 2019-08-21 23:08:23,115 | Determining catalog\_in\_cluster 2019-08-21 23:08:23,115 | Upgrading from (1) to (2) 2019-08-21 23:08:23,115 | Using 2019-08-21 23:08:23,115 | Attempting upgrade of cluster config from (1) to (6) 2019-08-21 23:08:23,114 | Cluster config is at version (1), while the latest version is (6), need to upgrade the config

この情報のローカルコピーをテキストファイル形式で保存するには、 🗅 をクリックします。

#### 次のタスク

タスクが完了した後:

- クラスタ内の3番目および最後のノードとして展開する追加のアプライアンスがある場合
   には、この手順を繰り返します。
- クラスタへのホストの追加が終了したら、初回セットアップ(「初期設定ワークフロー」)
   を実行して続行します。

### Linux パスワードの生成

アプライアンスを設定するときに、Cisco DNA Center で生成される Linux パスワードを使用するオプションがあります。このようなパスワードを生成するには、次のステップを実行します。

ステップ1 ウィザードの[クラスタ設定(Cluster Setting)]画面で[ここをクリックして新しいパスワードを生成(Click Here To Generate New Password)] リンクをクリックします。

[パスワードの生成(Generate Password)]ダイアログボックスが表示されます。

Password Generation Seed		
Seed phrase must contain letters, digits,	Generate Password	
Auto Generated Password		

ステップ2 [パスワード生成シード (Password Generation Seed)]フィールドにシードフレーズを入力します。

シードフレーズには、文字、数字、スペース、アンダースコア、ハイフンを使用できます。

ステップ3 [パスワードの生成 (Generate Password)] リンクをクリックします。

[自動生成されたパスワード(Auto Generated password)] フィールドには、Cisco DNA Center の生成する ランダムでセキュアなパスワードの一部としてシードフレーズが表示されます。このパスワードを使用す るか、適宜変更することができます。

**ステップ4** パスワードに満足したら、[生成したパスワードの使用(Use Generated password)]をクリックします。 今後のログインに備えて、このパスワードを必ず保管してください。

## 最新の Cisco DNA Center リリースへのアップグレード

Cisco DNA Center の現在のリリースへのアップグレードの詳細については、『Cisco DNA Center アップグレードガイド』を参照してください。

I


# ブラウザベースのウィザードを使用した 112 コアアプライアンスの設定

- •アプライアンスの設定の概要 (175ページ)
- •ブラウザベースのウィザードの前提条件 (176ページ)
- •ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノードの設定(176ページ)
- •ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定(194ページ)
- Linux パスワードの生成 (211 ページ)
- ・最新の Cisco DNA Center リリースへのアップグレード (212 ページ)

# アプライアンスの設定の概要

次の2つのモードのいずれかを使用して、112コアアプライアンスをネットワークに展開できます。

- スタンドアロン: すべての機能を提供する単一のノードとして。このオプションは通常、 初期展開、テスト展開、小規模なネットワーク環境での使用に適しています。
- クラスタ:3ノードクラスタに属するノードとして。このモードでは、すべてのサービス とデータがホスト間で共有されます。これは、大規模な展開で推奨されるオプションで す。

初期展開でスタンドアロンモードを選択した場合は、これが最初のノード、つまりプライマリ ノードになります。後でさらにアプライアンスを追加してクラスタを形成できます。

初期展開でクラスタモードを選択した場合は、アドオンノードの設定に進む前に、プライマリ ノードの設定を完了してください。

続行するには、次のタスクを実行します。

1. クラスタのプライマリノードを設定します。ブラウザベースのウィザードを使用したプラ イマリノードの設定(176ページ)を参照してください。  3つのアプライアンスを設置し、クラスタに2番目と3番目のノードを追加する場合、「ブ ラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定(194ページ)」を参照して ください。

# ブラウザベースのウィザードの前提条件

ブラウザベースのウィザードを使用して、アプライアンスの設定が正しいことを確認するに は、次の手順を実行します。

- DHCP サーバが割り当てる IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを 使用するには、アプライアンス上のインターフェイスを1つまたは複数指定する必要があ ります。ウィザードでこのインターフェイスを設定する場合、割り当てられている IP ア ドレスまたはサブネットマスクは変更できません。デフォルトゲートウェイのみ変更でき ます。この章で扱うトピックでは、管理インターフェイスがこの目的で選択されているこ とが前提となっています。
- DHCP サーバの割り当てた IP アドレスが、ウィザードを完了するマシンから到達できる ことを確認します。
- クラスタ内およびエンタープライズインターフェイスで両方のインターフェイスが接続され、[稼働(UP)]状態であることを確認します。

# ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノー ドの設定

最初にインストールされたアプライアンスをプライマリノードとして設定するには、ブラウザ ベースのウィザードを使用して次の手順を実行します。最初のアプライアンスは、スタンドア ロンとして運用するか、またはクラスタの一部として運用するかにかかわらず、常にプライマ リノードとして設定する必要があります。

# ¢

- **重要** 次の第2世代 Cisco DNA Center アプライアンスでは、ブラウザベースのウィザードを使用した 設定をサポートしています。
  - •112 コアアプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-XL
  - •112 コア アップグレード アプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-XL-U

すでにプライマリノードがある既存のクラスタのアドオンノードとしてインストールされたア プライアンスを設定する場合には、代わりにブラウザベースのウィザードを使用したアドオン ノードの設定(194ページ)の手順を実行します。

### ¢

重要 このウィザードは、新しい Cisco DNA Center アプライアンスの初期設定を完了するためにのみ 使用できます。以前に設定したアプライアンスを再イメージ化するには、Maglev 設定ウィザー ドを使用する必要があります(Maglev ウィザードを使用したアプライアンスの設定(91ペー ジ)を参照)。

(注) この手順の実行中に入力するすべての IP アドレスが有効な IPv4 ネットマスクを持つ有効な IPv4アドレスであることを確認してください。また、アドレスと対応するサブネットが重複し ていないことを確認してください。重複している場合、サービスの通信の問題が発生する可能 性があります。

## 始める前に

次のことを確認します。

 「アプライアンスのイメージの再作成(84ページ)」の説明どおりに Cisco DNA Center ソフトウェアイメージがアプライアンスにインストールされたこと。

# ¢

- 重要 Cisco DNA Centerソフトウェアイメージは 112 コア アップグレー ドアプライアンス(シスコ製品番号 DN2-HW-APL-XL-U) にあら かじめインストールされていないため、これはアップグレードア プライアンスを設定する場合にのみ当てはまります。
  - 必要な IP アドレスおよびサブネット (34 ページ) と 必須の設定情報 で必要な情報がす べて収集されたこと。
- 「アプライアンスのインストールワークフロー」の説明に従って、最初のアプライアンス がインストールされたこと。
- 「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」の説明に従って、プライマリノードで Cisco IMC に対するブラウザのアクセス権が設定されたこと。
- •「事前設定チェックの実行」の説明に従って、プライマリノードアプライアンスのポートとそれらのポートによって使用されるスイッチが適切に設定されていること。
- Cisco IMC、Cisco DNA Center との互換性があるブラウザを使用しています。互換性のある ブラウザの一覧については、インストールしている Cisco DNA Center のバージョンに対応 するリリースノートを参照してください。
- 次の手順で指定する DNS サーバと Cisco DNA Center の間のファイアウォールで ICMP が 許容されること。このウィザードでは、ユーザの指定する DNS サーバを ping で確認しま す。Cisco DNA Center と DNS サーバの間にファイアウォールが存在し、そのファイア ウォールで DNS サーバと ICMP が許容されていない場合、この ping がブロックされる可 能性があります。ブロックされた場合、ウィザードを完了できません。

ステップ1 お使いのブラウザで、実行した cisco imc GUI 設定で設定した Cisco IMC の IP アドレスをポイントし、 cisco imc ユーザとして Cisco IMC GUI にログインします(「Cisco Integrated Management Controller に対 するブラウザアクセスの有効化」を参照)。

ログインが成功すると、次に示すように、アプライアンスに [Cisco Integrated Management Controller Chassisの概要 (Cisco Integrated Management Controller Chassis Summary)] ウィンドウが右上の青いリンクメニューとともに表示されます。

4	o admin	@76.2	21 - C220-FCH2206	5
Refresh Host	Power   Launch KVM	Ping R	eboot   Locator LEI	)   @
	Java based KVM			
	HTML based KVM			

ステップ2 青いリンクメニューで[KVMの起動(Launch KVM)]を選択してから[Java ベースのKVM(Java based KVM)]と[HTMLベースのKVM(HTML based KVM)]のいずれかを選択します。JavaベースのKVM を選択した場合、KVM コンソールを独自のウィンドウで表示するために、ブラウザまたはファイルマ ネージャから Java スタートアップファイルを起動する必要があります。HMTL ベースの KVM を選択す ると、KVM コンソールが別個のブラウザウィンドウまたはタブで自動的に起動します。

> 選択した KVM のタイプに関係なく、KVM コンソールを使用して、設定の進行状況をモニタし、Maglev 構成ウィザードのプロンプトに応答します。

- **ステップ3** KVM が表示されたら、次のいずれかを選択してアプライアンスをリブートします。
  - a) メインの Cisco IMC GUI ブラウザウィンドウで、[ホストの電源(Host Power)]>[電源の再投入 (Power Cycle)]を選択します。その後、KVM コンソールに切り替えて続行します。
  - b) KVM コンソールで、[電源 (Power)]>[システムの電源の再投入(コールドブート) (Power Cycle System (cold boot))] を選択します。

アプライアンスをリブートするかどうかの確認を求められたら、[OK]をクリックします。

リブートメッセージが表示された後、KVM コンソールに Maglev 構成ウィザードのウェルカム画面が表示されます。

Welcome to the Maglev Configuration Wizard!			
The wizard will walk you through the steps to configure this host. Select one or more options below to specify how you would like to configure this host:			
Start a Cisco DNA Center Cluster			
Join a Cisco DNA Center Cluster			
<exit></exit>			
Web Installation: https://172.29.131.222:9004/webinstall/#home			

[Web インストール(Web Installation)]フィールドにリストされている URL に注意してください。

**ステップ4** ブラウザベースの設定ウィザードを起動するには、この URL を開きます。

# Cisco DNA Center Appliance Configuration

Congratulations on your Cisco DNA Center purchase! This wizard will guide you through the steps to configure and install your appliances.

Each appliance has a four-port configuration. Your current network settings like DNS, Gateway IP, NTP server will be needed. Consider the right subnet and VLAN to connect the appliances, too.

Two 10Gb ports on Cisco Network Interface card (NIC)				
Management Inter-Cluster				
Two Intel x550 10Gb ethernet controller ports				
Before you start, reserve needed IP addreses. If there are firewalls to your networks, be sure to allow access to these URLs and open these ports.				
Are you setting up a new cluster or joining an existing one?				

New: Single-node
 O Join an existing cluster

Let's start

アプライアンスには設定可能なポートが4つあり、ウィザードで(一度に1つずつ)次の順序で表示されます。

- •10 Gbps エンタープライズポート (enp69s0f0)
- •1 Gbps/10 Gbps 管理ポート (enp53s0f0)
- •1 Gbps/10 Gbps クラウドポート (enp53s0f1)
- 10 Gbps クラスタポート (enp69s0f1)

Cisco DNA Center の機能に必要なため、少なくともエンタープライズポートとクラスタポートを設定す る必要があります。設定の過程でウィザードにこれらのポートのいずれか1つまたは両方が表示されな い場合、表示されないポートは機能しないか無効になっている可能性があります。ポートが機能してい ないことが判明した場合には、すぐに[キャンセル (Cancel)]を選択して設定を終了します。設定を再 開したり、Cisco Technical Assistance Center (TAC)に連絡したりする前に「事前設定チェックの実行」 に記載されているすべての手順が完了していることを確認してください。

ステップ5 ウィザードを起動するには、[新規:シングルノード(New: Single node)] ラジオボタンをクリックし、 [それでは、始めましょう(Let's start)]をクリックします。

ウィザードの [エンタープライズ ネットワーク (Enterprise Network)] 画面が開きます。



ステップ6 エンタープライズポートの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートは、アプライアンスをエンタープラ イズネットワークにリンクするために必要なポートです。入力する必要のある値の詳細説明については 「必要な IP アドレスおよびサブネット (34 ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください。

### 表 44:エンタープライズポート (enp69s0f0) のプライマリノードエントリ

[Host IP Address] フィールド	エンタープライズポートの IP アドレスを入力しま す。これは必須です。
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。
[クラスタ仮想 IP でエンタープライズネットワーク にアクセス(Cluster Virtual IP to access Enterprise Network)] フィールド	クラスタと企業ネットワーク間のトラフィックに使用される仮想 IP アドレスを入力します。この操作は、3 ノードクラスタと、将来3 ノードクラスタに変換されるシングルノードクラスタの両方の場合に必要です。シングルノードクラスタを設定して、そのまま維持する予定の場合は、このフィールドを空白のままにすることができます。 重要 設定済みのネットワークインターフェイスごとに1つずつ仮想 IP アドレスを入力する必要があります。この操作を行わない限り、ウィザードを完了することはできません。これらのアドレスは、クラスタリンクのステータスに関連付けられており、そのステータスは [アップ(UP)] 状態であることが必要です。

[DNS] フィールド	<ul> <li>優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数 の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをカンマで区切ります。</li> <li>重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、 最大3つの DNS サーバを設定します。ア プライアンスに対して3つを超える DNS サーバを設定すると、問題が発生する可 能性があります。</li> </ul>
[デフォルトゲートウェイ IP アドレス(Default Gateway IP Address)] フィールド	 ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP ア ドレスを入力してください。
	<ul> <li>重要 アプライアンスの少なくとも1つのイン</li> <li>ターフェイスに対してデフォルトゲート</li> <li>ウェイ IP アドレスを入力してください。</li> <li>入力しないと、設定ウィザードを完了で</li> <li>きません。</li> </ul>
	<ul> <li>(注) DHCP サーバによって割り当てられたデフォルトゲートウェイを使用するようにこのインターフェイスを指定した場合は、次の手順を実行して、別のゲートウェイを指定します。</li> </ul>
	<ol> <li>このフィールドのリストに現在表示 されているIPアドレスを削除し、[保 存して終了(Save &amp; Exit)]をクリッ クします。</li> </ol>
	この操作でウィザードの最初の画面 に戻ります。
	<ol> <li>エンタープライズポートのウィザー ド画面に戻り、使用するゲートウェ イ IP アドレスを入力します。</li> </ol>
[このエンタープライズネットワーク(スタティッ クルート)を経由して別のネットワークに接続	スタティックルートを設定するには、このチェック ボックスをオンにして、次の情報を入力します。
(Connect to another network via this enterprise network (Static Route))]チェックボックス	・ネットワーク IP プレフィックス ・サブネットマスク
	・ネクストホップ IP アドレス
	追加のスタティックルートを設定するには、[追加 (Add)]アイコンをクリックします。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポートが稼働している場合は、ウィザードの[管理ネットワーク(Management Network)]画面が開きます。



Enterprise Network	2 Management Network	3 Internet Access	4 Intra-Cluster	5 Cluster Setting	6 Install	Do you use a dedicate ● Yes ○ No
	Management Network	_	Enterprise Network	-040		Host IP Address* 172.29.131.126
	Interface IP: 172.29.131.126 Gateway : N/A VIP : N/A		Interface IP: 17.192.1.12 Gateway: 17.192.1.1 VIP: 17.192.1.230	26		Subnet Mask* 255.255.255.0
			5			Cluster Virtual IP to access Manager 172.29.131.230
	Internet Access-		Intra-Cluster Link			DNS 171.70.168.183
	Interface Name : enp53s0f1 Interface IP : N/A Gateway : N/A VIP : N/A		Interface Name : enp69si Interface IP : N/A VIP : N/A	ion		Multipi Default Gateway IP Address

ステップ1 (任意)管理ポートの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートは管理ネットワークから Cisco DNA Center GUI にアクセスするために使用されます。[Cisco DNA Center の UI にアクセスする専用の管理ネットワークを使用しますか? (Do you use a dedicated Management Network to access Cisco DNA Center UI?)] フィールドで、次のいずれかを実行します。

- •このポートを使用してGUIにアクセスする場合は、[はい(Yes)]ラジオボタンをクリックし、次の 表に記載されている情報を入力します。(入力する必要のある値の詳細説明については「必要な IP アドレスおよびサブネット (34 ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください)
- ・代わりに以前のステップで設定したエンタープライズポートからGUIにアクセスする場合は、[いいえ(No)]ラジオボタンをクリックして[次へ(Next)]をクリックします。

表 45:管理ポート (enp69s0f0) のプライマリノードエントリ

[Host IP Address] フィールド	管理ポートの IP アドレスを入力します。これは必 須です。
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。

I

[クラスタ仮想 IP で管理ネットワークにアクセス (Cluster Virtual IP to access Management Network)] フィールド	クラスタと管理ネットワーク間のトラフィックに使用される仮想 IP アドレスを入力します。この操作は、3ノードクラスタと、将来3ノードクラスタに変換されるシングルノードクラスタの両方の場合に必要です。シングルノードクラスタを設定して、そのまま維持する予定の場合は、このフィールドを空白のままにすることができます。
	重要 設定済みのネットワークインターフェイ スごとに1つずつ仮想 IP アドレスを入力 する必要があります。この操作を行わな い限り、ウィザードを完了することはで きません。これらのアドレスは、クラス タリンクのステータスに関連付けられて おり、そのステータスは[アップ(UP)] 状態であることが必要です。
[DNS] フィールド	優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数 の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをスペースで区切ります。
	<b>重要</b> <ul> <li>NTPの場合、Cisco DNA Centerと NTPサーバの間のポート123 (UDP) が開いていることを確認します。</li> </ul>
	<ul> <li>クラスタ内の各アプライアンスに対して、最大3つのDNSサーバを設定します。アプライアンスに対して3つを超えるDNSサーバを設定すると、問題が発生する可能性があります。</li> </ul>

[デフォルトゲートウェイ IP アドレス(Default Gateway IP Address)] フィールド	ポートに ドレスを	- 使月 2 入フ	用するデフォルトゲートウェイの IP ア りしてください。
	重要	アタウスき	プライアンスの少なくとも1つのイン -フェイスに対してデフォルトゲート ェイIPアドレスを入力してください。 りしないと、設定ウィザードを完了で ません。
	(注)	DH ファ この を 打	CP サーバによって割り当てられたデ オルトゲートウェイを使用するように Dインターフェイスを指定した場合は、 D手順を実行して、別のゲートウェイ 指定します。
		1.	このフィールドのリストに現在表示 されているIPアドレスを削除し、[保 存して終了(Save & Exit)]をクリッ クします。
			この操作でウィザードの最初の画面 に戻ります。
		2.	管理ポートのウィザード画面に戻り、 使用するゲートウェイ IP アドレスを 入力します。
[このエンタープライズネットワーク(スタティックル・1) たいやけ	スタティ	ック	7ルートを設定するには、このチェック
(Connect to another network via this enterprise network (Static Route))] チェックボックス	ホックノ ・ネッ	マノ	コンにして、次の情報を入力します。 フーク IP プレフィックス
	・サフ ・ネク	「ネ」 マス	ットマスク トホップ IP アドレス
	追加のフ (Add)	、タラ ]ア	ティックルートを設定するには、 <b>[追加</b> イコンをクリックします。

- ここから次のいずれかを実行します。
  - この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
  - ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ (previous)]をクリックします。
  - ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポートが稼働している場合は、ウィザードの[インターネットアクセス(Internet Access)] 画面が開きます。

# Cisco DNA Center Appliance Configuration

Enterprise Network	Management Network	3 Internet Access	4 Intra-Cluster	5 Cluster Setting	6 Install
	Management Network- Interface Name : enp53s00 Interface IP : 172.29.131.126 Gateway : NA VIP : 172.29.131.230		Enterprise Net Interface Name : Gateway: 17.19 VIP : 17.192.1.2	twork enp69a00 192.1.126 2.1.1 30	
	Internet Access- Interface Name : enp53s0f1 Interface IP : N/A Gateway : N/A VIP : N/A		Intra-Cluster Interface Name : Interface IP : N/A VIP : N/A	Link : enp695011 4	
Do you use a dedic ⊖ Yes ⊙ No	ated Internet Access?				
Save & Exit					Previous

### **ステップ8** (任意) インターネット アクセス ポートの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明されているとおり、このポートは、アプライアンスをインター ネットにリンクする際、エンタープライズポート経由でアプライアンスをリンクできない場合に使用さ れるオプションのポートです。[専用インターネットアクセスを使用しますか? (Do you use a dedicated Internet Access?)]フィールドで、次のいずれかを実行します。

- ・このポートを使用してインターネットにアクセスする場合は、[はい(Yes)] ラジオボタンをクリックし、次の表に記載されている情報を入力します。(入力する必要のある値の詳細説明については「必要なIPアドレスおよびサブネット(34ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください)
- ・代わりに以前に設定したエンタープライズポートからインターネットにアクセスする場合は、[いいえ(No)] ラジオボタンをクリックして [次へ(Next)] をクリックします。

### 表 46:インターネット アクセス ポート (enp53s0f1) のプライマリノードエントリ

[Host IP Address] フィールド	クラウドポートの IP アドレスを入力します。
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。この操作は IP アドレスを入力する場合 に必要になります。

[クラスタ仮想 IP をインターネットアクセスに使用 (Cluster Virtual IP for Internet Access)]フィールド	クラスタとインターネットとのトラフィックに使用 される仮想IPアドレスを入力します。この操作は、 3ノードクラスタと、将来3ノードクラスタに変換 されるシングルノードクラスタの両方の場合に必要 です。シングルノードクラスタを設定して、そのま ま維持する予定の場合は、このフィールドを空白の ままにすることができます。
	重要 設定済みのネットワークインターフェイ スごとに1つずつ仮想IPアドレスを入力 する必要があります。この操作を行わな い限り、ウィザードを完了することはで きません。これらのアドレスは、クラス タリンクのステータスに関連付けられて おり、そのステータスは[アップ(UP)] 状態であることが必要です。
[DNS] フィールド	<ul> <li>優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをスペースで区切ります。</li> <li>重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、 最大3 つの DNS サーバを設定します。ア</li> </ul>
	プライアンスに対して 3 つを超える DNS サーバを設定すると、問題が発生する可 能性があります。
[デフォルトゲートウェイ IP アドレス (Default Gateway IP Address)]フィールド	ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP ア ドレスを入力してください。
	<ul> <li>重要 アプライアンスの少なくとも1つのイン</li> <li>ターフェイスに対してデフォルトゲート</li> <li>ウェイ IP アドレスを入力してください。</li> <li>入力しないと、設定ウィザードを完了で</li> <li>きません。</li> </ul>
[このエンタープライズネットワーク(スタティッ クルート)を経由して別のネットワークに接続	スタティックルートを設定するには、このチェック ボックスをオンにして、次の情報を入力します。
(Connect to another network via this enterprise network (Static Route) )] チェックボックス	・ネットワーク IP プレフィックス ・サブネットマスク
	・ネクストホップ IP アドレス
	追加のスタティックルートを設定するには、[追加 (Add)]アイコンをクリックします。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ (Previous)]をクリックします。
- ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポートが稼働している場合は、ウィザードの[**クラスタ内(Intra-Cluster)**] 画面が開きます。

cisco	Cisco DNA	Center	Appliance	Configuration
-------	-----------	--------	-----------	---------------

Enterprise Network	Management Network	Internet Access	4 Intra-Cluster	5 Cluster Setting	6 Insta	all .
	$\sim$		$\sim$			
	Management Network		Enterprise Netw	vork		
	Interface Name: enp53s0f0		Interface Name: er	np69s0f0		
	Interface IP: 172.29.131.126		Interface IP: 17.19	2.1.126		
	Gateway: N/A VIP: 172 29 131 230		Gateway: 17.192.1 VIP: 17.192.1.230	1.1		
			15			
	10					
	4					
	Internet Access		Intra-Cluster Lir	nk		
	Interface Name: enp53s0f1		Interface Name : e	np69s0f1		
	Gateway: N/A		VIP : N/A			
	VIP: N/A					
Host IP Address*						
192.192.192.126						
	Enter IPV4					
Subnet Mask*						
255.255.255.0						
	Enter IPV4 or 0-32 range	-				
Cluster Virtual IP to access Intra Clust	er					
192.192.192.230						
	Enter IPV4	1				
Connect to another network	via this enterprise network (Static Rou	ute)				
ve & Exit					Previous	Ne

**ステップ9** クラスタ内リンクの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートはアプライアンスをクラスタにリン クするために必要なポートです。入力する必要のある値の詳細説明については「必要なIPアドレスおよ びサブネット (34 ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください。

表 47: クラスタ内リンク (enp69s0f1) のプライマリノードエントリ

[Host IP Address] フィールド	クラスタポートの IP アドレスを入力します。これ は必須です。クラスタポートのアドレスは後で変更 できないことに注意してください。
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。

[クラスタ仮想 IP を使用して内部クラスタにアクセス (Cluster Virtual IP to access Intra Cluster)]フィールド	クラスタ内のノード間のトラフィックに使用される 仮想IPアドレスを入力します。この操作は、3ノー ドクラスタと、将来3ノードクラスタに変換される シングルノードクラスタの両方の場合に必要です。 シングルノードクラスタを設定して、そのまま維持 する予定の場合は、このフィールドを空白のままに することができます。
	重要 設定済みのネットワークインターフェイ スごとに1つずつ仮想 IP アドレスを入力 する必要があります。この操作を行わな い限り、ウィザードを完了することはで きません。これらのアドレスは、クラス タリンクのステータスに関連付けられて おり、そのステータスは [アップ(UP)] 状態であることが必要です。
[このエンタープライズネットワーク(スタティッ クルート)を経由して別のネットワークに接続 (Connect to another network via this enterprise network (Static Route))]チェックボックス	スタティックルートを設定するには、このチェック ボックスをオンにして、次の情報を入力します。 ・ネットワーク IP プレフィックス ・サブネットマスク ・ネクストホップ IP アドレス 追加のスタティックルートを設定するには、[追加 (Add)] アイコンをクリックします。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ (Previous)]をクリックします。
- ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定値が有効で、ポートが稼働している場合は、ウィザードの[**クラスタ設定(Cluster Settings)**] 画面が開きます。

nterprise Network / Management Network / In	ernet Access Intra-Cluster 5 Cluster Setting	6 Insta
Host Name	Proxy Server	
Enter FODN	Ριοχν Τνρε	
NTD Sequeret		
2 nto esi evample com nto esi evample com 1 nto esi eva		
Use comma as seperator.	http://proxy-wsa.es/ example.com	
	E a: https://example.com	
Service Subnets	Dedt	
Please enter the IP networks for the cluster and	80	
cluster and indi-routed, but should not overlap with the interface IP ranges. It is recommended not to change this value and use the default settings Service Subnet*	User Name	
169.254.32.0/20	Password 🍫	
E.g. 105.204.32.0/20		
Cluster Service Subnet*		
E a: 169.254.48.0/20		
Linux Admin credential	Cisco DNA Center Web Admin credential	
Liser Nama	Lleer Name	
maglev	admin	
Password*	Password*	
Confirm Password*	Confirm Password*	
•••••••		
Password Generation is optional, but its recommended Cilck here to Generate New Password		

ステップ10 クラスタの設定値を入力します。

表 48: クラスタ設定のプライマリノードエントリ

[Host Name] フィールド	クラスタの完全修飾ドメイン名(FQDN)を指定し ます。Cisco DNA Center は、このホスト名を使用し て次の操作を実行します。
	<ul> <li>このホスト名を使用して、クラスタの Web イ ンターフェイスと、Cisco DNA Center が管理す るエンタープライズ ネットワーク内のデバイ スによって使用される Representational State Transfer (REST) API にアクセスします。</li> <li>Cisco DNA Center 証明書の [Subject Alternative Name (SAN)]フィールドで、FQDN を使用し て、デバイスのプロビジョニングに使用される プラグアンドプレイサーバが定義されます。</li> </ul>

[NTP Server (NTP サーバ)] フィールド	1 つまたは複数の NTP サーバアドレスまたはホス ト名をカンマで区切って入力します。1 つ以上の NTP アドレスまたはホスト名が必要です。
	実稼働環境への展開では、少なくとも3台のNTP サーバを設定するようお勧めします。
サービスサブネット	
[サービスサブネット(Service Subnet)]フィールド	独自のサービスの管理に使用する、Cisco DNA Center 専用の IP サブネットを入力します。
[クラスタサービスサブネット(Cluster Service Subnet)] フィールド	Cisco DNA Center が独自のクラスタリングサービス の管理に使用する、専用の IP サブネットを入力し ます。
Linux 管理者クレデンシャル	
[管理者用パスワード (Admin Password)]フィール ドと [パスワードの確認 (Confirm Password)] フィールド	maglevユーザのパスワードを入力して確認します。
新しいパスワードのリンクを生成する場合はここを クリック	Cisco DNA Center の生成した Linux パスワードを使 用する場合はクリックします。「Linux パスワード の生成」を参照してください。
Proxy Server	
[プロキシタイプ (Proxy Type)]フィールド	[HTTPS] チェックボックスにチェックマークを入 れます。
[プロキシサーバ (Proxy Server)]フィールド	インターネットにアクセスする HTTPS ネットワー クプロキシの URL またはホスト名を入力します。
	<ul><li>(注) Cisco DNA Center から HTTPS プロキシへの接続は、このリリースの HTTP 経由のみでサポートされます。</li></ul>
[Port] フィールド	アプライアンスがネットワークプロキシにアクセス するために使用したポートを入力します。
[User Name] フィールド	ネットワークプロキシへのアクセスに使用するユー ザ名を入力します。プロキシログインが必要ない場 合には、このフィールドを空白のままにします。
Password フィールド	ネットワークプロキシへのアクセスに使用するパス ワードを入力します。プロキシログインが必要ない 場合には、このフィールドを空白のままにします。
Cisco DNA Center Web 管理者クレデンシャル	·

[管理者用パスワード (Admin Password)]フィール	デフォルトのスーパーユーザadminのパスワードを
ドと [パスワードの確認(Confirm Password)]	入力して確認します。このパスワードはCisco DNA
フィールド	Center への初回ログインに使用します。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ(Previous)]をクリックします。
- 次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する 前に通知されます。入力した設定が有効であれば、ウィザードの[インストール(Install)] 画面が 開きます。

# Cisco DNA Center Appliance Configuration Outer Setting <p

← Exit

Previous Install

**ステップ11** Cisco DNA Center アプライアンスの設定を完了するには、[インストール(Install)]をクリックします。 この設定プロセスには約90分かかります。プロセス中もウィザード画面が継続的に更新され、現在実行 しているタスクとその進行状況、発生したエラーが示されます。

# Cisco DNA Center Appliance Configuration

This appliance with software version (1.3.0.77) is currently being configured as the Master in the cluster. It may take around 90 minutes.

If there are firewalls to your networks, be sure to open these ports for communication with IP addresses assigned.

1 Install Post-Install	
Configuring IP addresses for appliance	
10%	
2019-08-21 23:08:23,114   Cluster config latest version: (6)	
2019-08-21 23:08:23,114   Cluster config supported versions: (['1', '3', '2', '5', '4'])	
2019-08-21 23:08:23,114   Cluster config is at version (1), while the latest version is (6), need to upgra	de the config

### **View Details**

この情報を別のペインで表示するには、画面の下部にある[詳細の表示(View Details)]リンクをクリックします。

 $\times$ 

# Installation Details 🍈

Started:

# Status: Install Fetching data. Please wait... 2019-08-21 23:08:32,125 | Configuring IP addresses for appliance... 2019-08-21 23:08:30,133 | Please wait while we validate and configure host networking 2019-08-21 23:08:23,116 | Upgrading from (5) to (6) 2019-08-21 23:08:23,116 | Using 2019-08-21 23:08:23,116 | Upgrading from (4) to (5) 2019-08-21 23:08:23,116 | Using 2019-08-21 23:08:23,116 | Upgrading from (3) to (4) 2019-08-21 23:08:23,116 | Using 2019-08-21 23:08:23,115 | Upgrading from (2) to (3) 2019-08-21 23:08:23,115 | Using 2019-08-21 23:08:23,115 | Determining catalog\_in\_cluster 2019-08-21 23:08:23,115 | Upgrading from (1) to (2) 2019-08-21 23:08:23,115 | Using 2019-08-21 23:08:23,115 | Attempting upgrade of cluster config from (1) to (6) 2019-08-21 23:08:23,114 | Cluster config is at version (1), while the latest version

この情報のローカルコピーをテキストファイル形式で保存するには、 🕛 をクリックします。

### 次のタスク

タスクが完了した後:

- このアプライアンスをスタンドアロンモードのみで展開する場合には、初回セットアップ (「初期設定ワークフロー」)を実行して続行します。
- アプライアンスをクラスタ内のプライマリノードとして展開する場合には、クラスタ内の2番目と3番目のインストール済みアプライアンスを設定します(ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定(194ページ))。

# ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノード の設定

ブラウザベースのウィザードを使用して、クラスタ内の2番目と3番目のアプライアンスを設 定するには、次の手順を実行します。

C)

- 重要 ・3 ノードクラスタを構築するには、同じバージョンのシステムパッケージが 3 つの Cisco DNA Center アプライアンスにインストールされている必要があります。この条件が整わ ない場合、予期しない動作とダウンタイムの可能性が生じることがあります。
  - 次の第2世代 Cisco DNA Center アプライアンスでは、ブラウザベースのウィザードを使用した設定をサポートしています。
    - •112 コアアプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-XL
    - ・112 コア アップグレード アプライアンス:シスコ製品番号 DN2-HW-APL-XL-U

C)

重要 このウィザードは、新しい Cisco DNA Center アプライアンスの初期設定を完了するためにのみ 使用できます。以前に設定したアプライアンスを再イメージ化するには、Maglev 設定ウィザー ドを使用する必要があります(Maglev ウィザードを使用したアプライアンスの設定 (91 ペー ジ)を参照)。



(注) この手順の実行中に入力するすべての IP アドレスが有効な IPv4 ネットマスクを持つ有効な IPv4アドレスであることを確認してください。また、アドレスと対応するサブネットが重複し ていないことを確認してください。重複している場合、サービスの通信の問題が発生する可能 性があります。

新しいアドオンノードをクラスタに結合する場合には、クラスタ内の最初のホストをプライマ リノードとして指定する必要があります。クラスタにアドオンノードを結合する際、次の点に 注意してください。

 クラスタに新しいノードを追加する前に、インストールされているすべてのパッケージが プライマリノードに展開されていることを確認してください。展開されているかどうかを 確認するには、セキュアシェルを使用して、プライマリノードの Cisco DNA Center 管理 ポートに Linux ユーザ(maglev) としてログインしてから、maglev package status コマン ドを実行します。インストールされているすべてのパッケージは、コマンド出力で「展開 済み(DEPLOYED)」と表示されます。次の例では、アプリケーションポリシー、SD アクセ ス、センサアシュアランス、センサ自動化のパッケージがインストールされていないた め、これらのパッケージのステータスのみが[未展開(NOT\_DEPLOYED)]になります。アドオ ンノードを設定する前に、パッケージのステータスが前述のように表示されている必要が あります。

\$ ssh maglev@172.29.131.14 -p 2222 The authenticity of host '[172.29.131.14]:2222 ([172.29.131.14]:2222)' can't be established. ECDSA key fingerprint is SHA256:scye+2ll6NFHAkOZDs0cNLHBR75j1KV3ZXIKuUaiadk. Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes Warning: Permanently added '[172.29.131.14]:2222' (ECDSA) to the list of known hosts. Welcome to the Maglev Appliance maglev@172.29.131.14's password:

Welcome to the Maglev Appliance

System information as of Thu Dec 20 03:07:13 UTC 2019

 System load: 4.08
 IP address for enp69s0f0: 17.192.1.14

 Usage of /: 59.8% of 28.03GB
 IP address for enp69s0f1: 192.192.192.192

 Memory usage: 21%
 IP address for enp53s0f0: 172.29.131.14

 Swap usage: 0%
 IP address for docker0: 169.254.0.1

 Processes: 831
 IP address for tun10: 10.60.3.0

 Users logged in: 0
 IP

To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>". See "man sudo root" for details.

[Thu Dec 20 03:07:13 UTC] maglev@192.192.192.14
\$ maglev package status
[administration] password for 'admin':

maglev-1 [main - https://kong-frontend.maglev-system.svc.cluster.local:443]

NAME	DEPLOYED	AVAILABLE	STATUS
application-policy assurance automation-core	- 1.0.5.686 2.1.8.60044	2.1.10.170000 1.1.8.1440 2.1.12.60011	NOT_DEPLOYED DEPLOYED DEPLOYED
base-provision-core	2.1.8.60044	2.1.12.60016	DEPLOYED

command-runner	2.1.8.60044	2.1.9.60029	DEPLOYED
device-onboarding	2.1.8.60044	2.1.12.60016	DEPLOYED
image-management	2.1.8.60044	2.1.12.60011	DEPLOYED
ncp-system	2.1.8.60044	2.1.9.60029	DEPLOYED
ndp-base-analytics	1.0.7.878	1.0.7.908	DEPLOYED
ndp-platform	1.0.7.829	1.0.7.866	DEPLOYED
ndp-ui	1.0.7.956	1.0.7.975	DEPLOYED
network-visibility	2.1.8.60044	2.1.12.60016	DEPLOYED
path-trace	2.1.8.60044	2.1.12.60016	DEPLOYED
sd-access	-	2.1.12.60016	NOT DEPLOYED
sensor-assurance	-	1.1.5.40	NOT DEPLOYED
sensor-automation	-	2.1.9.60029	NOT DEPLOYED
system	1.0.4.807	1.0.4.855	DEPLOYED

- 一度に1つのノードのみをクラスタに結合してください。複数のノードを同時に追加しないでください。同時に追加しようとすると予期しない動作が発生します。
- 各アドオンノードのクラスタ接続プロセス中に、サービスのダウンタイムが発生することが予想されます。サービスはすべてのノードに再配布される必要があり、そのプロセスの間、クラスタはダウンします。

### 始める前に

次のことを確認します。

 「アプライアンスのイメージの再作成(84ページ)」の説明どおりに Cisco DNA Center ソフトウェアイメージがアプライアンスにインストールされたこと。

# Ċ

- 重要 Cisco DNA Centerソフトウェアイメージは 112 コア アップグレー ドアプライアンス(シスコ製品番号 DN2-HW-APL-XL-U) にあら かじめインストールされていないため、これはアップグレードア プライアンスを設定する場合にのみ当てはまります。
  - ・ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノードの設定(176ページ)の手順に 従って、クラスタ内の最初のアプライアンスが設定されたこと。
  - 必要な IP アドレスおよびサブネット (34 ページ) と 必須の設定情報 で必要な情報がす べて収集されたこと。
  - 「アプライアンスのインストールワークフロー」の説明に従って、2番目と3番目のアプ ライアンスがインストールされたこと。
  - ・以下を完了していること。
  - 1. 最初のアプライアンスで maglev package status コマンドを実行したこと。

この情報にはCisco DNA Center ホームページからもアクセスできます。[ヘルプ(Help)] アイコン(〇)をクリックし、[概要(About)]>[パッケージを表示(Show Packages)] の順に選択してください。

2. Cisco TAC に連絡し、このコマンドの出力を提供して2番目と3番目のアプライアン スにインストールする必要がある ISO をポイントするよう依頼したこと。

- 「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」の説明に従っ て、両方のアドオンアプライアンスで Cisco IMC に対するブラウザのアクセス権が設定さ れたこと。
- 「事前設定チェックの実行」の説明に従って、アドオンノードアプライアンスのポート とそれらのポートによって使用されるスイッチの両方が適切に設定されていることを確認 しました。
- 互換性のあるブラウザを使用していること。互換性のあるブラウザの一覧については、インストールしている Cisco DNA Center のバージョンに対応するリリースノートを参照してください。
- 次の手順のステップ7で指定するDNSサーバーとCisco DNA Centerの間のファイアウォー ルでICMPが許容されること。このウィザードでは、ユーザの指定するDNSサーバをping で確認します。Cisco DNA Center とDNSサーバの間にファイアウォールが存在し、その ファイアウォールでDNSサーバとICMPが許容されていない場合、このpingがブロック される可能性があります。ブロックされた場合、ウィザードを完了できません。
- **ステップ1** お使いのブラウザで、実行した cisco imc GUI 設定で設定した Cisco IMC の IP アドレスをポイントし、 cisco imc ユーザとして Cisco IMC GUI にログインします(「Cisco Integrated Management Controller に対 するブラウザアクセスの有効化」を参照)。

ログインが成功すると、次に示すように、アプライアンスに [Cisco Integrated Management Controller Chassisの概要 (Cisco Integrated Management Controller Chassis Summary)] ウィンドウが右上の青いリンクメニューとともに表示されます。

+ 🗹 0	admin@	76.21 - C2	20-FCH2206	
Refresh   Host Power   La	aunch KVM   F	Ping Reboot	Locator LED	0
Java bas	sed KVM			
HTML ba	ased KVM			

ステップ2 青いリンクメニューで[KVMの起動(Launch KVM)]を選択してから[Java ベースのKVM(Java based KVM)]と[HTMLベースのKVM(HTML based KVM)]のいずれかを選択します。JavaベースのKVM を選択した場合、KVM コンソールを独自のウィンドウで表示するために、ブラウザまたはファイルマ ネージャから Java スタートアップファイルを起動する必要があります。HMTL ベースのKVM を選択す ると、KVM コンソールが別個のブラウザウィンドウまたはタブで自動的に起動します。

> 選択した KVM のタイプに関係なく、KVM コンソールを使用して、設定の進行状況をモニタし、Maglev 構成ウィザードのプロンプトに応答します。

- ステップ3 KVM が表示されたら、次のいずれかを選択してアプライアンスをリブートします。
  - a) メインの Cisco IMC GUI ブラウザウィンドウで、[ホストの電源(Host Power)]>[電源の再投入 (Power Cycle)]を選択します。その後、KVM コンソールに切り替えて続行します。

b) KVM コンソールで、[電源 (Power)]>[システムの電源の再投入(コールドブート) (Power Cycle System (cold boot))] を選択します。

アプライアンスをリブートするかどうかの確認を求められたら、[OK] をクリックします。

リブートメッセージが表示された後、KVM コンソールに Maglev 構成ウィザードのウェルカム画面が表示されます。

Welcome to the Maglev Configuration Wizard!
The wizard will walk you through the steps to configure this host. Select one or more options below to specify how you would like to configure this host:
Start a Cisco DNA Center Cluster
Join a Cisco DNA Center Cluster
<exit></exit>
Web Installation: https://172.29.131.222:9004/webinstall/Whome

[Web インストール(Web Installation)] フィールドにリストされている URL に注意してください。

ステップ4 ブラウザベースの設定ウィザードを起動するには、この URL を開きます。



Congratulations on your Cisco DNA Center purchase! This wizard will guide you through the steps to configure and install your appliances.

Each appliance has a four-port configuration. Your current network settings like DNS, Gateway IP, NTP server will be needed. Consider the right subnet and VLAN to connect the appliances, too.

I wo TUGb ports on Cisco Network Interface card (NIC)					
Two Intel x550 10Gb ethernet controller ports					
Before you start, reserve needed IP addreses. If there are firewalls to your networks, be sure to allow access to these URLs and open these ports. Are you setting up a new cluster or joining an existing one?					

New: Single-node
 Join an existing cluster

Let's start

アプライアンスには設定可能なポートが4つあり、ウィザードで(一度に1つずつ)次の順序で表示されます。

- 10 Gbps エンタープライズポート (enp69s0f0)
- •1 Gbps/10 Gbps 管理ポート (enp53s0f0)
- •1 Gbps/10 Gbps クラウドポート (enp53s0f1)
- 10 Gbps クラスタポート (enp69s0f1)

Cisco DNA Center の機能に必要なため、少なくともエンタープライズポートとクラスタポートを設定す る必要があります。設定の過程でウィザードにこれらのポートのいずれか1つまたは両方が表示されな い場合、表示されないポートは機能しないか無効になっている可能性があります。ポートが機能してい ないことが判明した場合には、すぐに[キャンセル (Cancel)]を選択して設定を終了します。設定を再 開したり、Cisco Technical Assistance Center (TAC)に連絡したりする前に「事前設定チェックの実行」 に記載されているすべての手順が完了していることを確認してください。

- **ステップ5** ウィザードを起動するには、次の手順を実行します。
  - a) [既存のクラスタに追加(Add to an existing cluster)] ラジオボタンをクリックします。
  - b) プライマリノードのクラスタポートに設定された IP アドレスと、Linux (Maglev) ユーザのユーザ名 とパスワードを入力します。
  - c) [それでは、始めましょう(Let's start)]をクリックします。
  - ウィザードの [エンタープライズ ネットワーク (Enterprise Network)] 画面が開きます。

# cisco DNA Center Appliance Configuration



# ステップ6 エンタープライズポートの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートは、アプライアンスをエンタープラ イズネットワークにリンクするために必要なポートです。入力する必要のある値の詳細説明については 「必要な IP アドレスおよびサブネット (34 ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください。

### 表 49:エンタープライズポート (enp69s0f0) のアドオンノードエントリ

[Host IP Address] フィールド	エンタープライズポートの IP アドレスを入力しま す。これは必須です。
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。
[DNS] フィールド	<ul> <li>優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数</li> <li>の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをカンマで区切ります。</li> <li>重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、</li> </ul>
	最大3つの DNS サーバを設定します。ア プライアンスに対して3つを超える DNS サーバを設定すると、問題が発生する可 能性があります。

[デフォルトゲートウェイ IP アドレス(Default Gateway IP Address)] フィールド	ポートに ドレスを	- 使月 : 入力	目するデフォルトゲートウェイの IP ア りしてください。
	重要	アタウスき	プライアンスの少なくとも1つのイン -フェイスに対してデフォルトゲート -イIPアドレスを入力してください。 りしないと、設定ウィザードを完了で ません。
	(注)	DH ファの た を	CP サーバによって割り当てられたデ +ルトゲートウェイを使用するように Dインターフェイスを指定した場合は、 D手順を実行して、別のゲートウェイ 旨定します。
		1.	このフィールドのリストに現在表示 されているIPアドレスを削除し、[保 存して終了(Save & Exit)]をクリッ クします。
			この操作でウィザードの最初の画面 に戻ります。
		2.	エンタープライズポートのウィザー ド画面に戻り、使用するゲートウェ イ IP アドレスを入力します。
[このエンタープライズネットワーク(スタティックルート)を怒中して別のネットワークに接続	スタティ	ック	ハルートを設定するには、このチェック ハンにして、次の信却を入力します
(Connect to another network via this enterprise network (Static Poute) ) $1 \neq \pi \times 2\pi^{2} \times 2\pi^{2}$	ホノノノ ・ ネッ	ットワ	$7 - 2 \operatorname{IP} \mathcal{T} \mathcal{V} \mathcal{T} \mathcal{T} \mathcal{T} \mathcal{T} \mathcal{T} \mathcal{T} \mathcal{T} T$
(Static Route) ) ] ) I y y w y y x	・サフ	「ネッ	ットマスク
	・ネク	'ス	トホップ IP アドレス
	追加のス ( <b>Add</b> )	(タラ ]ア	ティックルートを設定するには、[ <b>追加</b> イコンをクリックします。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- 次のウィザード画面を開くには、[次へ (Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポー

トが稼働している場合は、ウィザードの[管理ネットワーク(Management Network)] 画面が開きます。

### ululu cisco

Cisco DNA Center Appliance Configuration

Management   Marchage Name:   Marchage	Enterprise Network	2 Management Network	3 Internet Access	4 Intra-Cluster	5 Cluster Setting	6 Install	
Interface Name : eng693011 Interface Name : eng693011		Management Network Interface Name : enp53s00 Interface IP : 172.29.131.126 Gateway : N/A		Enterprise Network Interface Nema : enp69s01 Interface NP : 17.192.1.126 Gateway : 17.192.1.1	10 5		Do you use a dedicated Man          • Yes       No         Host IP Address*       172.29.131.126
Internet Access Intra-Cluster Link Multiple Interface Name : enp69s011 Interface IP : N/A Interface IP : N/A Default Gateway IP Address Gateway : N/A VP : N/A Default Gateway IP Address		1		53			255.255.255.0
Interface Name : enp53s0f1 Interface Name : enp69s0f1 Interface IP : N/A Interface IP : N/A Gateway : N/A VP : N/A Default Gateway IP Address		Internet Access		Intra-Cluster Link			Multiple DNS ca
		Interface Name : enp53s0f1 Interface IP : N/A Gateway : N/A		Interface Name : enp69s0f Interface IP : N/A VIP : N/A	n		Default Gateway IP Address 0

ステップ7 (任意)管理ポートの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートは管理ネットワークから Cisco DNA Center GUI にアクセスするために使用されます。[Cisco DNA Center の UI にアクセスする専用の管理ネットワークを使用しますか? (Do you use a dedicated Management Network to access Cisco DNA Center UI?)] フィールドで、次のいずれかを実行します。

- •このポートを使用してGUIにアクセスする場合は、[はい(Yes)]ラジオボタンをクリックし、次の 表に記載されている情報を入力します。(入力する必要のある値の詳細説明については「必要な IP アドレスおよびサブネット(34ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください)
- ・代わりに以前のステップで設定したエンタープライズポートからGUIにアクセスする場合は、[いいえ(No)]ラジオボタンをクリックして[次へ(Next)]をクリックします。

表 50:管理ポート (enp69s0f0) のアドオンエントリ

[Host IP Address] フィールド	管理ポートの IP アドレスを入力します。これは必 須です。
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。

[DNS] フィールド	優先 DNS サーバ の DNS サーバを アドレスをスペー	のIPアドレスを入力します。複数 入力する場合には、リスト内のIP -スで区切ります。
	重要 ・NTI NTI が月	P の場合、Cisco DNA Center と Pサーバの間のポート123(UDP) 昇いていることを確認します。
	・クラ して して さ て 、 す。	ラスタ内の各アプライアンスに対 て、最大3つのDNSサーバを設定 ます。アプライアンスに対して3 を超えるDNSサーバを設定する 問題が発生する可能性がありま
[デフォルトゲートウェイ IP アドレス(Default Gateway IP Address)] フィールド	ポートに使用する ドレスを入力して	δデフォルトゲートウェイの IP ア てください。
	重要 アプライ ターフェ ウェイ I 入力した きません	イアンスの少なくとも1つのイン エイスに対してデフォルトゲート Pアドレスを入力してください。 ないと、設定ウィザードを完了で <sub>い。</sub>
	<ul> <li>(注) DHCP サ フォル このイン</li> <li>次の手順</li> <li>を指定し</li> </ul>	ナーバによって割り当てられたデ トゲートウェイを使用するように /ターフェイスを指定した場合は、 頁を実行して、別のゲートウェイ します。
	1. この され 存し クし	)フィールドのリストに現在表示 uているIPアドレスを削除し、[保 、て終了(Save & Exit)]をクリッ います。
	この に戻	)操作でウィザードの最初の画面 Eります。
	<ol> <li>管理 使用 入力</li> </ol>	฿ポートのウィザード画面に戻り、 ∃するゲートウェイ IP アドレスを コします。

[このエンタープライズ ネットワーク(スタティッ クルート)を経由して別のネットワークに接続	スタティックルートを設定するには、このチェック ボックスをオンにして、次の情報を入力します。
(Connect to another network via this enterprise network (Static Route))] チェックボックス	• ネットワーク IP プレフィックス
	・サブネットマスク
	• ネクストホップ IP アドレス
	追加のスタティックルートを設定するには、[追加 (Add)]アイコンをクリックします。

սիսիս

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ (previous)]をクリックします。
- ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポートが稼働している場合は、ウィザードの[インターネットアクセス(Internet Access)]画面が開きます。



**ステップ8** (任意) インターネット アクセス ポートの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明されているとおり、このポートは、アプライアンスをインター ネットにリンクする際、エンタープライズポート経由でアプライアンスをリンクできない場合に使用さ れるオプションのポートです。[専用インターネットアクセスを使用しますか? (Do you use a dedicated Internet Access?)] フィールドで、次のいずれかを実行します。

- このポートを使用してインターネットにアクセスする場合は、[はい(Yes)]ラジオボタンをクリックし、次の表に記載されている情報を入力します。(入力する必要のある値の詳細説明については「必要なIPアドレスおよびサブネット(34ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください)
- ・代わりに以前に設定したエンタープライズポートからインターネットにアクセスする場合は、[いいえ(No)] ラジオボタンをクリックして[次へ(Next)]をクリックします。

クラウドポートの IP アドレスを入力します。
ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。この操作は IP アドレスを入力する場合 に必要になります。
優先 DNS サーバの IP アドレスを入力します。複数 の DNS サーバを入力する場合には、リスト内の IP アドレスをスペースで区切ります。
<ul> <li>重要 クラスタ内の各アプライアンスに対して、 最大3つの DNS サーバを設定します。ア プライアンスに対して3つを超える DNS サーバを設定すると、問題が発生する可 能性があります。</li> </ul>
ポートに使用するデフォルトゲートウェイの IP ア ドレスを入力してください。
<ul> <li>重要 アプライアンスの少なくとも1つのイン ターフェイスに対してデフォルトゲート ウェイIPアドレスを入力してください。 入力しないと、設定ウィザードを完了で きません。</li> </ul>
スタティックルートを設定するには、このチェック ボックスをオンにして、次の情報を入力します。 ・ネットワーク IP プレフィックス ・サブネットマスク ・ネクストホップ IP アドレス 追加のスタティックルートを設定するには、[追加

表 51:インターネット アクセス ポート (enp53s0f1) のアドオンエントリ

. .

ここから次のいずれかを実行します。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ (Previous)]をクリックします。
- ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポートが稼働している場合は、ウィザードの[**クラスタ内(Intra-Cluster)**] 画面が開きます。

cisco	Cisco	DNA	Center	Appliance	Configuration
					-

Enterprise Network	Management Network	Internet Access	4 Intra-Cluster	5 Cluster Setting	6 Install
	$\sim$		$\sim$		
	Management Network	1	Enterprise Networ	k	
	Interface Name: enp53s0f0		Interface Name: enp6	i9s0f0	
	Gateway: N/A		Gateway: 17.192.1.1	.120	
			ើត		
			- <b>T</b>		
			NA		
	1	og land en			
	<u></u>				
	Internet Access		Intra-Cluster Link		
	Interface Name: enp53s0f1		Interface Name : enpl	69s0f1	
	Gateway: N/A		VIP : N/A		
Host IP Address*					
192.192.192.126	Color (D)				
	Enter IPV	4			
Subnet Mask*					
255.255.255.0					
	Enter IPV4 or 0-32 rang	0			
Connect to another netwo	rk via this enterprise network (Static Ro	ute)			
NUC & Exit					Desulation

**ステップ9** クラスタ内リンクの設定値を入力します。

「インターフェイスケーブル接続」で説明したように、このポートはアプライアンスをクラスタにリン クするために必要なポートです。入力する必要のある値の詳細説明については「必要なIPアドレスおよ びサブネット (34 ページ)」と「必須の設定情報」を参照してください。

表 52: クラスタ内リンク (enp690f1) のアドオンエントリ

[Host IP Address] フィールド	クラスタポートの IP アドレスを入力します。これ は必須です。クラスタポートのアドレスは後で変更 できないことに注意してください。
[Subnet Mask] フィールド	ポートの IP アドレスに対応するネットマスクを入 力します。これは必須です。

[このエンタープライズ ネットワーク(スタティッ クルート)を経由して別のネットワークに接続	スタティックルートを設定するには、このチェック ボックスをオンにして、次の情報を入力します。
(Connect to another network via this enterprise network (Static Route) )] チェックボックス	・ネットワーク IP プレフィックス
	• サブネットマスク
	• ネクストホップ IP アドレス
	追加のスタティックルートを設定するには、[追加 (Add)]アイコンをクリックします。

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ (Previous)]をクリックします。
- ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、対応するポートが稼働していることが確認され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する前に通知されます。入力した設定が有効で、ポートが稼働している場合は、次のダイアログボックスが開きます。

cisco Cisco	Primary Appliance Details		ation	
Click here to View/Edit info	Primary Intra-Cluster Interface IP* 192.192.192.192.192.242/24 Range Username* maglev Enter Linux Username Password*		Cluster Setting	6 Install
Linux Admin credential User Name maglev	Enter Linux Password	Save		
Password* Confirm Password* Password G Click he	eneration is optional, but its     recommended re to Generate New Password			
Exit				Previous Next

ステップ10 次のタスクを完了し、[保存 (Save)]をクリックします。

1. プライマリノードのクラスタ内リンクに設定されている IP アドレスを入力します。

- 2. [ユーザ名 (Username)]フィールドに「maglev」と入力します。
- 3. maglev ユーザに対して設定されているパスワードを入力します。

入力した情報がウィザードで検証されます。この情報が正しい場合は、ウィザードの[クラスタ設定 (Cluster Settings)] 画面が開きます。

terprise Network OManagement Network	Internet Access	Intra-Cluster	5 Cluster Setting	6 Install
Click here to View/Edit info of Primary Appliance in t	he cluster to be connecte	d		
NTP Servers*		Proxy Server		
2.ntp.esl.example.com,ntp.esl.example.com,1.ntp.es	sl.exa			
Use comma as sep	erator.	Proxy Type		
		HTTPS		
		Proxy Server*		
Linux Admin credential		http://proxy-wsa.es	I.example.com	
l Iser Nome			E.g: https://example.com	
magley		Port*		
		80		
Password*				
	Ø	User Name		
Confirm Password*				
	Ð	Password	¢	
Password Generation is optional, I	out its			
Click here to Generate New Pas	sword			

ステップ11 クラスタの設定値を入力します。

表 53: クラスタ設定のアドオンエントリ

[Primary Appliance in the cluster to be connected] リン クの情報を表示または編集する場合はここをクリッ	クリックすると、ダイアログボックスと次の情報が すべて表示されます。
	<ul> <li>プライマリノードのクラスタ内リンク用に設定 された IP アドレス。</li> </ul>
	・maglevユーザに対して設定されているパスワード。
[NTP Server (NTP サーバー)] フィールド	1 つまたは複数の NTP サーバアドレスまたはホス ト名をカンマで区切って入力します。1 つ以上の NTP アドレスまたはホスト名が必要です。
	実稼働環境への展開では、少なくとも3台のNTP サーバを設定するようお勧めします。
Linux 管理者クレデンシャル	

[パスワード (Password)]フィールドと[パスワー ドの確認 (Confirm Password)]フィールド	maglevユーザのパスワードを入力して確認します。		
新しいパスワードのリンクを生成する場合はここを クリック	を Cisco DNA Center の生成した Linux パスワードを 用する場合はクリックします。「Linux パスワー の生成」を参照してください。		
プロキシサーバー			
[プロキシタイプ(Proxy Type)] フィールド	クラスタのプライマリノード(HTTPS)用に設定 されたプロキシタイプのチェックボックスが表示さ れます。このノードに同じプロキシタイプを設定す るには、このチェックボックスをオンにします。		
[プロキシサーバー(Proxy Server)] フィールド	インターネットにアクセスする HTTPS ネットワー クプロキシの URL またはホスト名を入力します。 (注) Cisco DNA Center から HTTPS プロキシへ の接続は、このリリースの HTTP 経由の みでサポートされます。		
[Port] フィールド	アプライアンスがネットワークプロキシにアクセス するために使用したポートを入力します。		
[User Name] フィールド	ネットワークプロキシへのアクセスに使用するユー ザ名を入力します。プロキシログインが必要ない場 合には、このフィールドを空白のままにします。		
[Password] フィールド	ネットワークプロキシへのアクセスに使用するパス ワードを入力します。プロキシログインが必要ない 場合には、このフィールドを空白のままにします。		

- この画面で入力した設定を保存してウィザードを終了するには、[保存して終了(Save & Exit)]を クリックします。
- ・設定を変更するために前のウィザード画面に戻るには、[前へ(Previous)]をクリックします。
- ・次のウィザード画面を開くには、[次へ(Next)]をクリックします。入力した設定の確認を求める メッセージが表示されます。[はい(Yes)]をクリックして次に進みます。

入力した情報がウィザードで検証され、変更の必要な設定があれば、ウィザードの操作を続行する 前に通知されます。入力した設定が有効であれば、ウィザードの[インストール(Install)] 画面が 開きます。

cisco Cisco DNA Ce	enter Applia	ance Config	guration	
Enterprise Network Management Network	Internet Access	Intra-Cluster	Cluster Setting	6 Install
Congratulations ! The appliance has succes you can download the generated configura	sfully generated requi tion in JSON format fro	red configuration and r om <mark>here</mark> .	eady to install,	
If there are firewalls to your network, be su	re to open these ports	for communication wit	h assigned IP address	ed.
Exit				Previous

ステップ12 Cisco DNA Center アプライアンスの設定を完了するには、[インストール(Install)]をクリックします。

この設定プロセスには約90分かかります。プロセス中もウィザード画面が継続的に更新され、現在実行 しているタスクとその進行状況、発生したエラーが示されます。

# cisco DNA Center Appliance Configuration

This appliance with software version (1.3.0.77) is currently being configured as the Master in the cluster. It may take around 90 minutes.

If there are firewalls to your networks, be sure to open these ports for communication with IP addresses assigned.

この情報を別のペインで表示するには、画面の下部にある[詳細の表示(View Details)]リンクをクリックします。
### Installation Details 📋

 $\times$ 

Started.						
Status: Install						
Fetching data. Please wait						
019-08-21 23:08:32,125   Configuring IP addresses for appliance						
019-08-21 23:08:30,133   Please wait while we validate and configure host etworking						
1019-08-21 23:08:23,116   Upgrading from (5) to (6)						
1019-08-21 23:08:23,116   Using						
1019-08-21 23:08:23,116   Upgrading from (4) to (5)						
1019-08-21 23:08:23,116   Using						
1019-08-21 23:08:23,116   Upgrading from (3) to (4)						
1019-08-21 23:08:23,116   Using						
1019-08-21 23:08:23,115   Upgrading from (2) to (3)						
1019-08-21 23:08:23,115   Using						
019-08-21 23:08:23,115   Determining catalog_in_cluster						
1019-08-21 23:08:23,115   Upgrading from (1) to (2)						
1019-08-21 23:08:23,115   Using						
019-08-21 23:08:23,115   Attempting upgrade of cluster config from (1) to (6)						
019-08-21 23:08:23,114   Cluster config is at version (1), while the latest version s (6), need to upgrade the config						

この情報のローカルコピーをテキストファイル形式で保存するには、 🗅 をクリックします。

#### 次のタスク

タスクが完了した後:

- クラスタ内の3番目および最後のノードとして展開する追加のアプライアンスがある場合
   には、この手順を繰り返します。
- クラスタへのホストの追加が終了したら、初回セットアップ(「初期設定ワークフロー」)
   を実行して続行します。

### Linux パスワードの生成

アプライアンスを設定するときに、Cisco DNA Center で生成される Linux パスワードを使用するオプションがあります。このようなパスワードを生成するには、次のステップを実行します。

ステップ1	ウィザードの[クラスタ設定(Cluster Setting)]画面で[ここをクリックして新しいパスワードを生成(Click Here To Generate New Password)]リンクをクリックします。 [パスワードの生成(Generate Password)]ダイアログボックスが表示されます。				
	Generate Password				
	Password Generation Seed       Generate Password         Seed phrase must contain letters, digits, space, underscore and hyphen       Generate Password				
	Auto Generated Password				
	<ol> <li>User is advised to append personal password with generated password for recommended security. Caution: Remember generated password for future logins.</li> </ol>				
	Cancel Use Generated Password				
ステップ2	[パスワード生成シード (Password Generation Seed)]フィールドにシードフレーズを入力します。				

シードフレーズには、文字、数字、スペース、アンダースコア、ハイフンを使用できます。

ステップ3 [パスワードの生成 (Generate Password)] リンクをクリックします。

[自動生成されたパスワード(Auto Generated password)]フィールドには、Cisco DNA Center の生成する ランダムでセキュアなパスワードの一部としてシードフレーズが表示されます。このパスワードを使用す るか、適宜変更することができます。

**ステップ4** パスワードに満足したら、[生成したパスワードの使用(Use Generated password)]をクリックします。 今後のログインに備えて、このパスワードを必ず保管してください。

# 最新の Cisco DNA Center リリースへのアップグレード

Cisco DNA Center の現在のリリースへのアップグレードの詳細については、『Cisco DNA Center アップグレードガイド』を参照してください。



### 初期設定の完了

- 初期設定ワークフロー(213ページ)
- •互換性のあるブラウザ (213ページ)
- 初回ログイン (214ページ)
- Cisco ISE と Cisco DNA Center の統合 (216 ページ)
- ・認証サーバとポリシー サーバの設定 (223 ページ)
- SNMP プロパティの設定 (225 ページ)

### 初期設定ワークフロー

インストールしたすべての Cisco DNA Center アプライアンスの設定が完了したら、この章で説 明するタスクを実行して、Cisco DNA Center を実稼働に使用する準備をします。次の点に注意 してください。

- •この作業を完了するために必要なパラメータ情報については「必要な初期設定情報」を参照してください。
- 実稼働環境にハイアベイラビリティ(HA)を展開している場合、HAの動作を最適化する ためにクラスタノード間でサービスを再配布する必要もあります(「サービスの再配布」 を参照)。アプライアンスの SNMP 設定を行った後、この手順を完了します。

### 互換性のあるブラウザ

Cisco DNA Center の GUI は次の HTTPS 対応ブラウザと互換性があります。

- Google Chrome: バージョン 62.0 以降。
- Mozilla Firefox:バージョン 54.0 以降。

Cisco DNA Center へのログインに使用するクライアントシステムは、64 ビットオペレーティングシステムとブラウザを装備していることが推奨されます。

### 初回ログイン

Cisco DNA Center アプライアンスをインストールして設定した後、Web ベースの GUI にログ インできます。Cisco DNA Center にアクセスする際には、互換性のある HTTPS 対応ブラウザ を使用してください。

スーパーユーザ権限を持つ管理者 (admin というユーザ名、スーパー管理者ロール

(SUPER-ADMIN-ROLE)が割り当てられている)として初めてログインする場合、システム セキュリティを強化し、基本的なセットアップタスクを完了するのに役立つ、初回セットアッ プウィザードを完了するように求められます。ウィザードの各ステップを省略することは可能 ですが、システムをできるだけ早く使用できるようにするため、指示どおりにすべてのステッ プを完了することをお勧めします。

また、新しいCisco DNA Center ユーザを作成する必要があります。毎日の操作で使用する追加 のユーザアカウントを少なくとも1つ作成し、このユーザアカウントにネットワーク管理者 ロール (NETWORK-ADMIN-ROLE)を割り当てることをお勧めします。

#### 始める前に

Cisco DNA Center にログインして初回セットアップウィザードを完了するには、次の情報が必要です。

- 次のいずれかの手順を実行する際に指定したスーパーユーザ権限を持つ管理者のユーザ名とパスワード。
  - Maglev ウィザードを使用したプライマリノードの設定 (92 ページ)
  - ・ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノードの設定(134ページ)(44 または 56 コアアプライアンス)
  - ・ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノードの設定(176ページ)(112 コアアプライアンス)
- ・必要な初期設定情報に記載されている必要な情報。
- **ステップ1** Cisco DNA Center アプライアンスのリブートが完了したら、ブラウザを起動します。
- **ステップ2** HTTPS:// と設定プロセスの最後に表示された Cisco DNA Center GUI の IP アドレスを使用して、Cisco DNA Center GUI にアクセスするホスト IP アドレスを入力します。

IP アドレスを入力すると、次のいずれかのメッセージが表示されます(使用しているブラウザによって 異なります)。

- Google Chrome: 接続のプライバシーは保護されません
- Mozilla Firefox:警告:今後セキュリティリスクが見つかる潜在的可能性があります
- ステップ3 メッセージを無視して [詳細設定(Advanced)] をクリックします。

次のメッセージが表示されます。

• Google Chrome :

This server could not prove that it is *GUI-IP-address*; its security certificate is not trusted by your computer's operating system. This may be caused by a misconfiguration or an attacker intercepting your

operating system. This may be caused by a misconfiguration or an attacker intercepting your connection.

• Mozilla Firefox :

Someone could be trying to impersonate the site and you should not continue.

Websites prove their identity via certificates. Firefox does not trust *GUI-IP-address* because its certificate issuer is unknown, the certificate is self-signed, or the server is not sending the correct intermediate certificates.

こうしたメッセージが表示されるのは、コントローラが自己署名証明書を使用しているためです。Cisco DNA Center での証明書の使用方法については、『Cisco Digital Network Architecture Center 管理者ガイド』の「証明書と秘密キーのサポート」の項を参照してください。

- ステップ4 メッセージを無視し、次のいずれかを実行します。
  - Google Chrome : *GUI-IP-address*(安全でない) リンクをクリックして開きます。
  - Mozilla Firefox: [リスクを理解して続行する(Accept the Risk and Continue)] をクリックします。

[ログイン(Login)]Cisco DNA Center ウィンドウが表示されます。

**ステップ5** [ログイン (Login)] ウィンドウで Cisco DNA Center の設定時に設定した管理ユーザ名 (admin) とパス ワードを入力し、[ログイン (Log In)]をクリックします。

[ログインのリセット(Reset Login)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ6** 古いパスワードを入力してから、スーパーユーザ権限を持つ管理者の新しいパスワードを入力して確認し、[保存(Save)]をクリックします。

[Cisco.com ID の入力(Enter Cisco.com ID)] ウィンドウが表示されます。

ステップ7 Cisco.com ユーザのユーザ名とパスワードを入力してから[次へ(Next)]をクリックします。

Cisco.com ユーザログインが既知の Cisco スマート アカウント ユーザログインと一致しない場合には、 [スマートアカウント(Smart Account)] ウィンドウが表示されます。

ステップ8 [スマートアカウント (Smart Account)]ウィンドウが表示された場合には、組織のスマートアカウント のユーザ名とパスワードを入力するか、対応するリンクをクリックして新しいスマートアカウントを開 きます。完了したら [次へ (Next)]をクリックします。

#### [IP アドレスマネージャ(IP Address Manager)] ウィンドウが表示されます。

- **ステップ9** 組織が外部 IP アドレスマネージャ(IPAM)を使用している場合には、次の手順を実行してから [次へ (Next)]をクリックします。
  - IPAM サーバの名前と URL を入力します。
  - サーバへのアクセスに必要なユーザ名とパスワードを入力します。

- 使用中の IPAM プロバイダー(Infoblox など)を選択します。
- Cisco DNA Center で使用する利用可能な IP アドレスの特定のビューを IPAM サーバデータベースで 選択します。

[プロキシサーバの入力(Enter Proxy Server)] ウィンドウが表示されます。

- **ステップ10** 組織が使用するプロキシサーバ情報を入力し、[次へ(Next)]をクリックします。
  - プロキシサーバに対するログインが必要な場合には、サーバのユーザ名とパスワードを含めます。
  - ・続行する前にこの情報を検証する(推奨)場合には、[設定の検証(Validate Settings)]チェックボックスがオンになっていることを確認します。

ソフトウェアの [EULA] ウィンドウが表示されます。

**ステップ11** [次へ(Next)]をクリックして、ソフトウェアのエンドユーザライセンス契約書に同意します。

[準備完了(Ready to go!)] ウィンドウが表示されます。

ステップ12 このウィンドウでいずれかのリンクをクリックするか、[システム360に移動(Go To System 360)]をク リックして[システム360(System 360)]ダッシュボードを表示することにより、Cisco DNA Centerの使 用を開始できます。

> シスコでは、[ユーザ管理(User Management)]リンクをクリックして、[ユーザ管理(User Management)] ウィンドウを表示することを推奨しています。[追加(Add)]をクリックして、新しいCisco DNA Center ユーザの追加を開始します。新しいユーザの名前とパスワードを入力し、ユーザのロールを選択したら、 [保存(Save)]をクリックして新しいユーザを作成します。初期展開の新しいユーザすべてが追加され るまで、必要に応じてこの手順を繰り返します。ネットワーク管理者ロール(NETWORK-ADMIN-ROLE) を持つユーザを少なくとも1人作成してください。

#### 次のタスク

残りの管理設定タスクを任意の順序で実行します。

- Cisco ISE と Cisco DNA Center の統合
- ・認証サーバとポリシーサーバの設定
- SNMP プロパティの設定

### Cisco ISE と Cisco DNA Center の統合

このリリースの Cisco DNA Center は、Cisco ISE と信頼された通信リンクを作成するメカニズ ムを備えており、Cisco DNA Center は安全な方法で Cisco ISE とデータを共有できます。Cisco ISE が Cisco DNA Center に登録されると、Cisco DNA Center が検出するすべてのデバイスが、 関連する設定データやその他のデータとともに Cisco ISE にプッシュされます。ユーザは、Cisco DNA Center を使用してデバイスを検出し、Cisco DNA Center と Cisco ISE の両方の機能をそれ らに適用できます。これは、これらのデバイスが両方のアプリケーションに公開されるためで す。Cisco DNA Center および Cisco ISE デバイスはすべてデバイス名で一意に識別されます。

Cisco DNA Center デバイスは Cisco DNA Center サイト階層内の特定のサイトにプロビジョニン グされて所属すると、即座に Cisco ISE にプッシュされます。Cisco DNA Center デバイスのアッ プデート (IP アドレス、SNMP または CLI のログイン情報、Cisco ISE 共有秘密情報など) は すべて、自動的に Cisco ISE 上の対応するデバイスインスタンスに使用されます。Cisco DNA Center デバイスが Cisco ISE にプッシュされるのは、Cisco ISE が AAA サーバとして設定され ている特定のサイトにそれらのデバイスが関連付けられている場合に限ることに注意してくだ さい。

#### 始める前に

Cisco ISE を Cisco DNA Center と統合する前に、次の前提条件を満たしていることを確認します。

- ネットワークに1つ以上の Cisco ISE バージョン2.3 (以降)のホストを展開済みであること。Cisco ISE のインストールについては、『Cisco Identity Services Engine インストールおよびアップグレードガイド』(バージョン2.3 以降用)を参照してください。
- スタンドアロン Cisco ISE 展開環境がある場合は、Cisco ISE ノード上で pxGrid サービスおよび ERS と統合し、これらを有効化する必要があります。



(注) Cisco ISE 2.4 以降では、pxGrid 2.0 および pxGrid 1.0 がサポートされています。pxGrid 2.0 では Cisco ISE の展開で最大 4 つの pxGrid ノードを使用できますが、Cisco DNA Center 2.2.1.x 以前のリリースは 2 つを超える pxGrid ノードをサポートしていません。

• 分散型 Cisco ISE 展開がある場合:

 Cisco DNA Center を Cisco ISE 管理ノード、プライマリポリシー管理ノード(PAN) と統合し、プライマリ PAN で ERS を有効にする必要があります。また、セカンダリ PAN でも ERS を有効にする必要があります。Cisco ISE でプライマリ PAN のフェー ルオーバーが発生した場合に、セカンダリ PAN で ERS が有効になっていないと、 Cisco DNA Center でセカンダリ PAN を使用できません。その結果、Cisco DNA Center と Cisco ISE の間の接続が影響を受けます。



- (注) ベストプラクティスは、PANを介してERSを使用することです。ただしバックアップの場合は、ポリシーサービスノード(PSN)でERSを有効化してください。
  - ・単一ノードの導入環境と同様に、分散型の導入環境内のいずれかの Cisco ISE ノード 上で pxGrid サービスを有効化する必要があります。PAN 上で pxGrid サービスを有効

化することを選択できますが、必須ではありません。分散型の導入環境では、他の任 意の Cisco ISE ノード上で pxGrid を有効化できます。

- TrustSec/SD-AccessのコンテンツとPACを処理するように Cisco ISE で設定する PSN は、[Work Centers] > [Trustsec] > [Trustsec Servers] > [Trustsec AAA Servers] でも定 義する必要があります。詳細については、Cisco ISEのご使用のリリースに対応する管 理者ワークフローのセグメンテーションドキュメントを参照してください。
- ポート 22、443、5222、8910、9060 で Cisco DNA Center と Cisco ISE の通信が有効になっています。
- pxGrid が有効化されている Cisco ISE ホストには、Cisco ISE eth0 インターフェイスの IP アドレス上の Cisco DNA Center から到達できる必要があります。
- Cisco ISE ノードは、アプライアンス NIC 経由でファブリック アンダーレイ ネットワーク に到達できます。
- Cisco ISE 管理ノード証明書のサブジェクト名またはサブジェクト代替名(SAN)のいずれかに Cisco ISE の IP アドレスまたは FQDN が含まれている必要があります。
- Cisco DNA Center システム証明書のSAN フィールドに、Cisco DNA Center アプライアンスのIP アドレスと FQDN の両方がリストされている必要があります。

# 

(注) Cisco ISE 2.4 パッチ 13、2.6 パッチ 7、および 2.7 パッチ 3 では、 pxGrid 証明書に Cisco ISE のデフォルトの自己署名証明書を使用 している場合、証明書が Cisco ISE によって拒否されることがあ ります。これは、その証明書の古いバージョンに、SSL サーバと して指定された Netscape Cert Type 拡張があるためです。これは、 クライアント証明書が必要なため失敗します。

> この問題は Cisco ISE 3.0 以降では発生しません。詳細および推奨 される回避策については、『Cisco ISE Release Notes』を参照して ください。

Cisco DNA Center に対応した Cisco ISE の設定の詳細については、『*Cisco ISE Administrators Guide*』の「Integration with Cisco DNA Center」を参照してください。

- ステップ1 Cisco ISE の pxGrid サービスと ERS を有効化します。
  - a) Cisco ISE のプライマリ管理ノードにログインします。
  - b) [管理(Administration)]>[システム(System)]>[展開(Deployment)]を選択します。
     [展開設定(Deployment Configuration)] ウィンドウが開きます。
  - c) pxGrid サービスを有効化する Cisco ISE ノードのホスト名をクリックします。
     分散型展開の場合、これは展開環境内の任意の Cisco ISE ノードです。

[ノードの編集(Edit Node)] ウィンドウが開き、[General Settings(一般設定)] タブがデフォルトで 選択されています。

- d) [PxGrid] チェックボックスがオンになっていることを確認してから、[保存(Save)]をクリックしま す。
- e) [Administration] > [System] > [Settings] の順に選択します。
- f) 左側のナビゲーションウィンドウで[設定(Settings)]をクリックして、[設定(Settings)]ウィンド ウを開きます。
- g) [ENABLE 空調 For Read/Write]オプションボタンをクリックし、通知プロンプトで[OK]をクリッ クします。
- h) [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ2 Cisco ISE ノードを AAA サーバとして Cisco DNA Center に追加します。
  - a) Cisco DNA Center GUI にログインします。
  - b) [Menu] アイコン (=) をクリックし、[System] > [System 360] の順に選択します。
  - c) [Identity Services Engine (ISE)] ペインで、[設定 (Configure)] リンクをクリックします。
  - d) [Authentication and Policy Servers] ウィンドウで、[Add] をクリックし、ドロップダウンリストから [ISE] を選択します。
  - e) [AAA/ISE サーバの追加(Add AAA/ISE server)] スライドインペインで、次のタスクを実行します。
    - •[サーバ IP アドレス (Server IP address)]フィールドに、Cisco ISE 管理 IP アドレスを入力しま す。
    - ネットワークデバイスと Cisco ISE の通信を保護するために使用する [共有秘密(Shared Secret)]
       を入力します。
    - •該当する Cisco ISE 管理ログイン情報を [Username] と [Password] フィールドに入力します。
    - Cisco ISE ノードの FQDN を入力します。
    - (任意) Cisco ISE PSN が背後に配置されているロードバランサの仮想 IP アドレスを入力します。
       異なるロードバランサの背後に複数のポリシーサービス ノードファームがある場合は、最大6つの仮想 IP アドレスを入力できます。
  - f) [追加(Add)] をクリックします。

Cisco ISE との統合を初めて開始したときは、Cisco ISE からの証明書がまだ信頼されていないという通知が 表示されます。

- •証明書を表示して詳細を確認できます。
- [Accept] を選択して証明書を信頼し、統合プロセスを続行します。証明書を信頼せずに統合プロセス を終了する場合は、[Decline] を選択します。

統合が正常に完了すると、確認メッセージが表示されます。

統合プロセスで問題が発生した場合は、問題の詳細を示すメッセージが表示されます。編集または再試行 が可能な場合はそのオプションが表示されます。

- Cisco ISE 管理ログイン情報が無効であるというエラーメッセージが表示された場合は、[Edit] をクリックし、正しい情報を再入力します。
- ・統合プロセスで証明書にエラーが見つかった場合は、Cisco ISE サーバエントリを削除し、証明書の問題が解決した後に統合を最初からやり直す必要があります。
- **ステップ3** Cisco DNA Center が Cisco ISE に接続していること、Cisco ISE SGT グループとデバイスが Cisco DNA Center にプッシュされることを確認します。
  - a) Cisco DNA Center GUI にログインします。
  - b) [Menu] アイコン (三) をクリックし、[System] > [System 360] の順に選択します。
  - c) [Identity Services Engine (ISE)] ペインで、[Update (更新)] リンクをクリックします。
  - d) [認証サーバとポリシーサーバ (Authentication And Policy Servers)] ウィンドウで、Cisco ISE AAA サーバのステータスがまだ[アクティブ (Active)]であることを確認します。
- **ステップ4** 次のように Cisco ISE が Cisco DNA Centerに接続され、接続にサブスクライバがあることを確認します。
  - a) [Cisco Identity Services Engine (ISE) Deployment] ウィンドウで pxGrid サーバとして表示されている Cisco ISE ノードにログインします。
  - b) [Administration] > [pxGrid Services] の順に選択し、[Web Clients] タブをクリックします。

Cisco DNA Center サーバの IP アドレスとともに 2 つの pxGrid クライアントがリストに表示されます。

### グループベースのアクセスコントロール:ポリシーデータの移行と同 期

#### Cisco DNA Center 1.3.3.0の使用を開始するとき

Cisco DNA Center の以前のリリースでは、グループベースのアクセス コントロール ポリシー 機能でポリシーのアクセス契約とポリシーを Cisco DNA Center ローカルに保存していました。 Cisco DNA Center では同じデータを Cisco ISE にも反映します。Cisco ISE ではネットワークに ランタイムポリシーサービスも提供します。その一環でグループベースのアクセスコントロー ルポリシーのファイルがネットワークデバイスにダウンロードされます。通常、Cisco DNA Center のポリシー情報は Cisco ISE のポリシー情報と一致します。ただし、データが同期され ていない可能性があり、その場合はデータが一致していない可能性があります。このため、新 規であれアップグレードであれ Cisco DNA Center 1.3.3.0をインストールした後は、グループ ベースのアクセスコントロール機能を使用する前に、次の手順が必要になります。

- Cisco ISE と Cisco DNA Center を統合する(未統合の場合)
- Cisco ISE をアップグレードする(必須バージョンさえない場合)。Cisco ISE の必須バー ジョンについては「Cisco DNA Centerリリースノート」を参照してください。
- •ポリシーの移行と同期の実行

#### 「移行と同期」とは何ですか。

Cisco DNA Center は統合された Cisco ISE に含まれるグループベースのアクセス コントロール ポリシー データをすべて読み取り、そのデータを Cisco DNA Center のポリシーデータと比較 します。以前のバージョンからアップグレードした場合は、既存のポリシーデータが保持され ます。Cisco DNA Center のグループベースのアクセスコントロールポリシーを管理するには、 先にポリシーを同期しておく必要があります。

#### 移行と同期はどのように機能しますか。

通常、Cisco ISE と Cisco DNA Center のポリシーデータは一貫しているため、データの処理や 変換は特に必要ありません。ささいな不一致や不整合がある場合、移行中に一部のデータのみ が変換されることがあります。競合がある場合は、ネットワーク内でポリシーの挙動が変わら ないように Cisco ISE のデータが優先されます。次のリストは、移行中に実行されるアクショ ンを示しています。

- スケーラブルグループ(Scalable Groups):スケーラブルグループタグ(SGT)(数値)
   は、スケーラブルグループを一意に特定します。Cisco ISEセキュリティグループが Cisco DNA Center のスケーラブルグループと比較されます。
  - •名前とSGTの値が同じであれば、何も変更されません。Cisco DNA Centerの情報は Cisco ISE と一貫性があり、変更する必要はありません。
  - Cisco ISE セキュリティグループの SGT 値が Cisco DNA Center に存在しない場合は、 Cisco DNA Center に新しいスケーラブルグループが作成されます。新しいスケーラブ ルグループには「Default VN」のデフォルトの関連付けが施されます。
  - Cisco ISE セキュリティグループの SGT 値が Cisco DNA Center に存在しているが、名前が一致しない場合は、Cisco ISE セキュリティグループの名前が Cisco DNA Centerのスケーラブルグループの名前に置き換えられます。
  - Cisco ISE セキュリティグループの名前が同じであるが、SGT 値が異なる場合は、Cisco ISE からセキュリティグループが移行されます。この処理では名前とタグの値は保持 されますが、Cisco DNA Centerスケーラブルグループの名前は変更されます。「\_DNA」 というサフィックスが追加されます。

#### 契約

ポリシーの参照する Cisco ISE の SGACL はすべて、Cisco DNA Center の契約と比較されます。

- SGACLと契約の名前と内容が同一の場合、それ以上のアクションは必要ありません。Cisco DNA Center の情報はCisco ISE と一貫性があり、変更する必要はありません。
  - SGACL と契約の名前が同一で、内容が異なっている場合は、Cisco ISE から SGACL の内容が移行されます。Cisco DNA Center の以前の契約内容は破棄されます。

SGACL が Cisco DNA Center に存在しない場合、その名前で新しい契約が作成され、Cisco ISE からSGACL の内容が移行されます。



(注) Cisco ISE SGACL の内容に沿って新しいアクセス契約を作成する場合は、Cisco DNA Center が テキストコマンドラインが解析され、これらの SGACL コマンドが可能な限りアクセス契約モ デルとしてレンダリングされます。ACE行がそれぞれ「高度な」アプリケーション行としてレ ンダリングされます。Cisco ISE SGACL に正常に解析できないテキストが含まれている場合、 SGACL テキストの内容はモデル化された形式に変換されません。これは raw コマンドライン テキストとして保存されます。この SGACL 契約文は編集できますが、移行中、テキストの内 容の解析または構文チェックは実行されません。

#### ポリシー

ポリシーは、送信元グループと宛先グループのペアで一意に識別されます。すべての Cisco ISE TrustSec イーグレス ポリシー マトリックス ポリシーが、Cisco DNA Center のポリシーと比較 されます。

- •送信元グループと宛先グループのポリシーで Cisco ISE の同じ SGACL または契約名を参照している場合、変更は行われません。
- ・送信元グループと宛先グループのポリシーで Cisco ISE の別の SGACL または契約名を参照している場合、ポリシーでは Cisco ISE の契約名が参照されます。この結果、Cisco DNA Center で以前の契約参照が上書きされます。
- ・Cisco ISE のデフォルトポリシーがチェックされ、Cisco DNA Center に移行されます。



(注)

Cisco DNA Center はアクセスポリシー内のいずれか1つの契約をサポートします。Cisco ISE に はアクセスポリシーで複数の SGACL を使用するオプションがありますが、ISE ではこのオプ ションがデフォルトでは無効であり、広く一般的には使用されていません。以前のリリースの Cisco DNA Center を使用してグループベースのアクセス コントロール ポリシーを管理してい た既存の SDA のお客様は、このオプションを使用しないでください。

Cisco ISE で複数の Sgacl を許可するオプションを有効にしてポリシー作成時に使用した場合、 これらのポリシーはこのリリースでは Cisco DNA Center に移行できません。移行できない [multiple SGACL] オプションを利用する特定のポリシー機能は次のとおりです。

- ・ポリシー内で複数の SGACL
- ・ポリシーレベルの catch-all ルールは [Permit] または [Deny] に設定されています現在の移行 では [None] の値のみCisco DNA Centerサポートされています。
- ・顧客が作成した SGACL を使用するよう設定されたデフォルトポリシー。ただし現在、 Cisco DNA Center への移行では、[Permit IP]、[Permit\_IP\_Log]、[Deny IP]、[Deny\_IP\_Log]の標準値のみサポートされています。

ポリシー移行と同期の操作中に先行する SGACL が何か検出された場合は、通知が生成されま す。続行するには、次のオプションの中から選択する必要があります。

- Cisco DNA Center でのグループベース アクセス コントロール ポリシーを管理: このオプションが選択されている場合は、Cisco DNA Center でグループベースのアクセス コントロールポリシーの管理がすべて実行されます。Cisco ISE セキュリティグループ、SGCAL、イーグレスポリシーを管理する Cisco ISE のユーザインターフェイス画面は、読み取り専用モードで使用できます。(Cisco ISE で複数の SGACL を使用しているために)ポリシーの移行中に問題が生じた場合、これらのポリシーには Cisco DNA Center で選択した契約が含まれなくなります。このポリシーではデフォルトポリシーが使用され、移行が完了したら、そのポリシーに対応する契約を新しく選択できます。デフォルトポリシーの移行中に問題が発生した場合は、デフォルトポリシーが[許可(Permit)]に設定されます。
- Cisco ISE でのグループベース アクセス コントロール ポリシーを管理(Manage Group-Based Access Control Policy): このオプションが選択されている場合は、Cisco DNA Center グループベースのアクセス コントロール ポリシーの管理がすべて非アクティ ブになります。Cisco ISE は変更されず、ネットワーク内のポリシーの適用には影響しませ ん。グループベースのアクセスコントロールポリシーは、TrustSec ワークセンターの Cisco ISE で管理されます。
- Cisco DNA Center と Cisco ISE の両方でグループベースのアクセスコントロールポリシー を管理するにはこのオプションは Cisco ISE で加えられたポリシー変更が Cisco DNA Center と同期されないため、一般的な使用には推奨されません。2つのシステムを常に同期して オクことはできません。このオプションは短期または暫定オプションとして意図されてお り、Cisco ISE で [Allow Multiple SQUADI] オプションを有効にした場合にのみ考慮する必 要があります。Cisco ISEの更新でより多くの時間と一段と優れた柔軟性が必要になった場 合に使用できます。

### 認証サーバとポリシー サーバの設定

Cisco DNA Center は AAA サーバをユーザ認証に使用し、Cisco ISE をユーザ認証とアクセス制 御の両方に使用します。この手順を使って Cisco ISE を含む AAA サーバを設定します。

#### 始める前に

- Cisco ISE を使用してポリシーと AAA 機能の両方を実行する場合、Cisco DNA Center と Cisco ISE が「Cisco ISE と Cisco DNA Center の統合の統合」の説明に従って統合されたことを確 認します。
- •他の製品(Cisco ISE 以外)で AAA 機能を使用している場合、以下に注意してください。
  - AAA サーバで Cisco DNA Center を登録します。これには、AAA サーバと Cisco DNA Center の共有秘密を定義することが含まれます。
  - AAA サーバで Cisco DNA Center の属性名を定義します。
  - Cisco DNA Center マルチホストクラスタの設定の場合は、AAAサーバのマルチホスト クラスタに、すべての個別のホスト IP アドレスと仮想 IP アドレスを定義します。

- ステップ1 Cisco DNA Center のホームページで、<sup>◎</sup> >[System Settings]>[Settings]>[Authentication and Policy Servers] の順に選択します。
- ステップ3 次の情報を入力して、プライマリ AAA サーバを設定します。
  - [Server IP Address]: AAA サーバの IP アドレス。
  - [Shared Secret]: デバイス認証のキー。共有秘密情報の長さは、最大 128 文字です。
- ステップ4 AAA サーバ (Cisco ISE 以外)を設定するには、[Cisco ISE サーバ (Cisco ISE Server)]ボタンを[オフ (Off)]位置のままにして、次の手順に進みます。

Cisco ISE サーバを設定するには、[Cisco ISE サーバ(Cisco ISE server)]ボタンをクリックして [オン (On)]の位置に合わせ、次のフィールドに情報を入力します。

- •ユーザ名(Username): Cisco ISE CLI へのログインに使用する名前です。
  - (注) このユーザにはスーパーユーザの管理権限が必要です。
- •パスワード(Password): Cisco ISE CLI ユーザ名のパスワード。
- FQDN Cisco ISE サーバの FQDN。
  - (注) Cisco ISE ([Administration] > [Deployment] > [Deployment Nodes] > [List]) で定義されて いる FQDN をコピーして、このフィールドに直接貼り付けることをお勧めします。
    - 入力した FQDN は、Cisco ISE 証明書で定義されている FQDN、共通名(CN)または Subject Alternative Name (SAN)と一致する必要があります。

FQDN は次の形式で、ホスト名とドメイン名の2つのパートで構成されています。

hostname.domainname.com.

たとえば Cisco ISE サーバの FQDN は、ise.cisco.com である可能性があります。

- ・サブスクライバ名(Subscriber Name): Cisco ISE pxGrid サービスに登録するとき pxGrid クライアントを識別する一意のテキスト文字列(acme など)。サブスクライバ名は Cisco DNA Center を Cisco ISEに統合するとき使用されます。
- (任意) SSH キー: Cisco ISE への接続に使用される Diffie-Hellman-Group14-SHA1 SSH キー。
- (任意) 仮想IPアドレス: Cisco ISE ポリシーサービスノードが背後に配置されているロードバランサの仮想 IP アドレス。異なるロードバランサの背後に複数のポリシー サービス ノード ファームがある場合は、最大 6 つの仮想 IP アドレスを入力できます。
- (注) 設定された ISE サーバのステータスがパスワードの変更により [失敗(FAILED)] になっている 場合は、[再試行(Retry)] をクリックし、パスワードを更新して ISE 接続を再同期します。

ステップ5 [詳細設定の表示 (View Advanced settings)] をクリックし、次の設定を行います。

(注) 必要な設定は、サーバのプロトコル設定によって異なります。

- ・プロトコル(Protocol): [RADIUS] はデフォルトで設定されていますが、代わりに [TACACS] を選択 するか、両方のプロトコルを選択することもできます。
- 注目 Cisco ISE サーバに [TACAS] を選択しない場合、Cisco ISE ノードの設定には使用できません。
- 認証ポート(Authentication Port): RADIUS が AAA サーバに認証メッセージを中継するために使用 されるポート。デフォルト値は UDP ポート 1812 です。
- アカウンティングポート(Accounting Port): RADIUS が AAA サーバに重要なイベントを中継する ために使用するポート。これらのイベントの情報は、セキュリティと請求の目的で使用されます。デ フォルトの UDP ポートは 1813 です。
- ・ポート(Port): TACACS が AAA サーバとの通信に使用するポート。デフォルト ポートは 49 です。
- [Retries]:接続の試行が中止される前に、Cisco DNA Center が AAA サーバへの接続を試みた回数。デフォルトの試行回数は3回です。
- [Timeout]:接続の試行が中止される前に、デバイスが AAA サーバの応答を待機する時間。デフォル トのタイムアウトは4秒です。

ステップ6 [Apply] をクリックします。 ステップ7 セカンダリサーバを追加するには、ステップ2~6を繰り返します。

# SNMP プロパティの設定

SNMP の再試行とタイムアウトの値を設定できます。

#### 始める前に

SUPER-ADMIN-ROLE権限を持つユーザのみがこの手順を実行することができます。詳細については、*Cisco DNA Center*管理者ガイドを参照してください。

- **ステップ1** Cisco DNA Center のホームページで ☆ をクリックし、[システムの設定(System Settings)]>[設定 (Settings)]>[SNMP プロパティ(SNMP Properties)] の順に選択します。
- ステップ2 次のフィールドを設定します。
  - ・再試行回数(Retries):許容されるデバイス接続の最大試行回数。有効な値は1~3です。デフォルトは3です。
  - ・タイムアウト(秒数)(Timeout (in Seconds)): タイムアウトになるまでにデバイスとの接続の確 立を試みる際に、Cisco DNA Center が待機する秒数。有効な値は5秒間隔で1~300秒の範囲内です。 デフォルトは5秒です。

ステップ3 [適用 (Apply)]をクリックします。

(注) デフォルト設定に戻すには、[デフォルトに戻す(Revert to Defaults)]をクリックします。



# 展開のトラブルシューティング

- •トラブルシューティングタスク (227ページ)
- •ログアウト (227ページ)
- 設定ウィザードを使用したアプライアンスの再設定 (228 ページ)
- •アプライアンスの電源の入れ直し (230ページ)

# トラブルシューティング タスク

アプライアンスの設定に関する問題をトラブルシューティングする場合は、通常、次のタスク を実行します。

- 1. 現在、Cisco DNA Center GUI を使用している場合は、ログアウト。
- アプライアンスのハードウェアを再設定するには、「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」のステップ12および13の説明に従って、CIMCGUI にログインして使用します。
- 3. アプライアンスの設定を変更する必要がある場合は、「設定ウィザードを使用したアプラ イアンスの再設定」の説明に従って、Maglev 設定ウィザードを起動して使用します。
- **4.** アプライアンスの電源を再投入して、変更がアクティブになるようにします(アプライア ンスの電源の入れ直し(230ページ))。

アプライアンスのネットワークアダプタの詳細については、『*Cisco UCS C シ*リーズ サーバ *Integrated Management Controller GUI コンフィギュレーション ガイド* リリース *3.1*』の「アダ プタの管理」の項を参照してください。別の場所に記載されているように、Linux CLI を使用 してアプライアンスハードウェアを管理することは避けてください。アプライアンスの設定を 変更するには、CIMC GUI または Maglev 設定ウィザードのみを使用します。

### ログアウト

次の手順を実行し、Cisco DNA Center GUI からログアウトします。

セキュリティ上の理由から、作業セッションが完了したらログアウトすることをお勧めしま す。ユーザーがログアウトしない場合、非アクティブ状態になってから 30 分後に自動的にロ グアウトされます。

- **ステップ1** \* をクリックします。
- ステップ2 [Sign out] をクリックします。

これにより、セッションが終了してログアウトされます。

### 設定ウィザードを使用したアプライアンスの再設定

アプライアンスを再設定するには、設定ウィザードを使用してアプライアンス設定を更新する 必要があります。Linux CLI では実行できません。標準的な Linux サーバーの設定を更新する ために使用する通常の Linux 管理手順は動作しないため、試行しないでください。

アプライアンスの設定が終わると、設定ウィザードではすべてのアプライアンス設定を変更で きなくなります。変更は次の設定のみに制限されます。

- •アプライアンスのホスト IP アドレス
- DNS サーバの IP アドレス
- •デフォルトゲートウェイ IP アドレス
- •NTP サーバの IP アドレス
- クラスタ仮想 IP アドレス (Cluster Virtual IP address)
- ・クラスタホスト名 (FQDN)
- •スタティックルート
- プロキシサーバの IP アドレス
- Maglev ユーザのパスワード
- •管理ユーザのパスワード。

#### 始める前に

ターゲットアプライアンスに現在設定されている Linux ユーザ名 (*maglev*) とパスワードが必要になります。

ステップ1 お使いのブラウザで、実行した cisco imc GUI 設定で設定した Cisco IMC の IP アドレスをポイントし、cisco imc ユーザとして Cisco IMC GUI にログインします(「Cisco Integrated Management Controller に対するブラウザアクセスの有効化」を参照)。

ログインが成功すると、次に示すように、アプライアンスに [Cisco Integrated Management Controller Chassis Summary] ウィンドウが、ウィンドウ上部のハイパーリンクメニューとともに表示されます。

🕂 🔽 🚺 admin(	D76.21 - C220-FCH2206
Refresh   Host Power   Launch KVM	Ping Reboot Locator LED
Java based KVM	
HTML based KVM	

ステップ2 ハイパーリンクメニューで [Launch KVM] を選択してから [Java based KVM] と [HTML based KVM] のいず れかを選択します。[Java-based KVM] を選択した場合、KVM コンソールを独自のウィンドウで表示する ために、ブラウザまたはファイルマネージャから Java スタートアップファイルを起動する必要がありま す。[HTML-basedKVM] を選択すると、KVM コンソールが別個のブラウザウィンドウまたはタブで自動 的に起動します。

選択した KVM のタイプに関係なく、KVM コンソールを使用して、設定の進行状況をモニタし、Maglev 構成ウィザードのプロンプトに応答します。

- ステップ3 プロンプトが表示されたら、Linux パスワードを入力します。
- ステップ4 次のコマンドを入力して設定ウィザードにアクセスします。

#### sudo maglev-config update

Linux パスワードを入力するようプロンプトが表示されたら、再度入力します。

- ステップ5 設定ウィザードでは、「Maglev ウィザードを使用したアドオンノードの設定」に示される一連の画面の セッションが簡略化されています。表示された設定を適宜変更します。画面ごとに変更を終えたら[次へ (Next)]を選択して設定ウィザードを続行します。
- **ステップ6** 設定プロセスの最後に、設定ウィザードが変更の適用を実行できる状態になったことを示すメッセージが 表示されます。次のオプションを使用できます。

•[**戻る**(**back**)]:変更を確認して検証します。

•[キャンセル (cancel)]:変更を破棄して設定ウィザードを終了します。

•[続行(proceed)]:変更を保存して、それらの適用を開始します。

[続行(proceed>>)]を選択してインストールを完了します。設定ウィザードで変更が適用されます。 設定プロセスの最後に、「CONFIGURATION SUCCEEDED」というメッセージが表示されます。

#### 次のタスク

アプライアンスの電源を切ってから再度電源を入れて、変更が適用され、アクティブになって いることを確認します。「アプライアンスの電源の入れ直し(230ページ)」を参照してくだ さい。



(注) DNS サーバー IP アドレスを更新した場合、アプライアンスの電源を切ってから再度電源を入 れて、冷却ブートを実行することを推奨します。これで DNS の変更が確実に反映されます。

### アプライアンスの電源の入れ直し

Cisco DNA Center アプライアンスで次のいずれかの手順を実行して、アプライアンスを停止す るか、ウォームリスタートを実行します。ハードウェアを修復する前にアプライアンスを停止 することも、ソフトウェアの問題を修正した後にウォームリスタートを開始することもできま す。

### Cisco IMC GUI を使用

Cisco IMC GUI からアクセス可能な KVM コンソールを使用して、アプライアンスを停止する か、ウォームリスタートを実行する場合は、この手順で説明するタスクを実行します。

#### 始める前に

Cisco IMC GUI を使用して行ったハードウェアの変更は、アプライアンスのリブート後に適用 されることに注意してください。

Â

- 注意 Cisco IMC GUI からアプライアンスの電源を再投入すると、データの破損または喪失が発生す る可能性があります。アプライアンスが SSH、Cisco IMC コンソール、または物理コンソール に完全に応答しない場合にのみ実行してください。
- **ステップ1** お使いのブラウザで、実行した cisco imc GUI 設定で設定した Cisco IMC の IP アドレスをポイントし、cisco imc ユーザとして Cisco IMC GUI にログインします (Cisco Integrated Management Controller に対するブラウ ザアクセスの有効化 (70 ページ)を参照)。

ログインが成功すると、次に示すように、アプライアンスに [Cisco Integrated Management Controller Chassis Summary] ウィンドウが、ウィンドウ上部のハイパーリンクメニューとともに表示されます。

	÷	✓ 1	admin@10.	.122 - C220-WZF	P VH
Refre	sh   Host Power	Launch KVM	Ping CIMC	Reboot Locate	or LED   🧉
Но	st: Powered On				
Po	wer Off				
Po	wer On				
Po	wer Cycle				
Ha	rd Reset				
Sh	ut Down				

ステップ2 KVM が表示されたら、[Host Power]>[Power Cycle]の順に選択してアプライアンスをリブートします。 アプライアンスをリブートするかどうかの確認を求められたら、[OK] をクリックします。

### SSH を使用

SSHを使用してアプライアンスを停止するか、ウォームリスタートを実行する場合は、次のタ スクを実行します。

#### 始める前に

次のものが必要です。

- Secure Shell (SSH) クライアント ソフトウェア。
- ・再設定が必要なアプライアンス上の10Gbpsエンタープライズポートに設定された IP アドレス。ポート2222 でこのアドレスのアプライアンスにログインします。

エンタープライズポートを特定するには、前面パネルと背面パネル(5ページ)の背面 パネルを参照してください。

・現在ターゲットアプライアンスに設定されているLinuxユーザ名(maglev)とパスワード。

**ステップ1** セキュアシェル (SSH) クライアントを使用して、ポート 2222 上で再設定する必要のあるアプライアンスのエンタープライズポートの IP アドレスにログインします。

#### ssh maglev@Enterprise-port's-IP-address -p 2222

- ステップ2 プロンプトが表示されたら、Linux パスワードを入力します。
- ステップ3 実行するタスクに適したコマンドを入力します。
  - •アプライアンスを停止するには、次のように入力します。 sudo shutdown -h now
  - ・ウォームリスタートを開始するには、次のように入力します。 sudo shutdown -r now

Linux パスワードを入力するようプロンプトが表示されたら、再度入力します。

- ステップ4 ホストがシャットダウンされたときに表示されるコマンド出力を確認します。
- ステップ5 アプライアンスを停止した場合には、前面パネルの電源ボタンを使用して、アプライアンスを再びオンに することにより、Maglev ルートプロセスの電源を入れます。



# ハイ アベイラビリティ クラスタの展開シ ナリオの確認

Cisco DNA Center のハイアベイラビリティ(HA)の実装については『*Cisco Digital Network Architecture Center*管理者ガイド』を参照してください。最初にこの情報を確認してから、実稼 働環境にHAを展開するかどうかを決定するようお勧めします。これを選択する場合は、次の タスクを実行します。

- 1. 次のとおりネットワークに適した導入手順を実行します。
  - 新しい HA の展開
  - ・標準インターフェイス設定を使用したプライマリノードの既存 HA の展開
  - 非標準インターフェイス設定を使用したプライマリノードの既存 HA の展開
- 2. クラスタノード間でサービスをサービスの再配布します。
- 3. HAの展開に関する追加の考慮事項を参照し、必要な追加の設定を行います。
  - •新しい HA の展開 (233 ページ)
  - ・標準インターフェイス設定を使用したプライマリノードの既存 HA の展開 (234ページ)
  - ・非標準インターフェイス設定を使用したプライマリノードの既存HAの展開(235ページ)
  - ・サービスの再配布 (236ページ)
  - •HAの展開に関する追加の考慮事項(236ページ)

### 新しいHAの展開

最新のHA クラスタをインストールするには、次の手順を実行します。

**ステップ1** 次のとおり、最初にインストールされたアプライアンスをプライマリノードとして設定します。

 Maglev 設定ウィザードを使用している場合は「Maglev ウィザードを使用したプライマリノードの設定 (92ページ)」を参照してください。

- ・ブラウザベースの設定ウィザードを使用してアプライアンスを設定する場合は、アプライアンスに固有の「ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノードの設定」のトピックを参照してください。
  - •ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノードの設定
  - •ブラウザベースのウィザードを使用したプライマリノードの設定
- **ステップ2**次のとおりクラスタ内の2番目と3番目のアプライアンスを設定します。
  - Maglev 設定ウィザードを使用している場合は「Maglev ウィザードを使用したアドオンノードの設定 (112ページ)」を参照してください。
  - ・ブラウザベースの設定ウィザードを使用してアプライアンスを設定する場合は、お使いのアプライアンスに特化した「ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定」を参照してください。
    - ・ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定
    - ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定

# 標準インターフェイス設定を使用したプライマリノードの既存 HA の展開

プライマリノードが必要なインターフェイスケーブル設定を使用する既存のHAクラスタを展開するには、次の手順を実行します。

**ステップ1** プライマリノードを Cisco DNA Center 1.3.3.0 にアップグレードします。

Cisco DNA Center の現在のリリースへのアップグレードの詳細については、『Cisco DNA Center アップグレードガイド』を参照してください。

- **ステップ2** プライマリノードで必要なインターフェイスケーブル設定を使用していることを確認します。 「インターフェイスケーブル接続」を参照してください。
- **ステップ3** 仮想 IP アドレスを更新します(仮想 IP アドレスがまだ追加されていない場合)。 「設定ウィザードを使用したアプライアンスの再設定」を参照してください。
- ステップ4 次のとおりクラスタ内の2番目と3番目のアプライアンスを設定します。
  - Maglev 設定ウィザードを使用するアプライアンスを設定している場合は「Maglev ウィザードを使用したアドオンノードの設定(112ページ)」を参照してください。

・ブラウザベースの設定ウィザードを使用してアプライアンスを設定する場合は、お使いのアプライアンスに特化した「ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定」を参照してください。

・ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定

•ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定

ステップ5 次のコマンドを入力して GlusterFS のサイズを確認します。

sudo du -h /data/maglev/srv/maglev-system/glusterfs/mnt/bricks/default\_brick/ | tail -1 | awk '{print \$1}'

GlusterFS ファイルシステムのサイズが 150 GB を超える場合には、「非標準インターフェイス設定を使用 したプライマリノードの既存 HA の展開」の手順を実行します。

# 非標準インターフェイス設定を使用したプライマリノー ドの既存 HA の展開

プライマリノードが標準以外のインターフェイス設定を使用する既存のHAクラスタを展開するには、次の手順を実行します。

ステップ1 プライマリノードを Cisco DNA Center 1.3.3.0 にアップグレードします。

Cisco DNA Center の現在のリリースへのアップグレードの詳細については、『Cisco DNA Center アップグレードガイド』を参照してください。

**ステップ2** リモートリポジトリのバックアップを作成します。

『Cisco DNA Center Administrator Guide』の「Backup and Restore」の章を参照してください。

- **ステップ3** 必要なインターフェイスケーブル設定を使用して、プライマリノードイメージを作成し直します。 「インターフェイスケーブル接続」と「Cisco DNA Center ISO イメージのインストール」を参照してくだ さい。VIP がプライマリノードで正しく設定されていることを確認します。
- **ステップ4** プライマリノードで、バックアップ中に選択したパッケージと同じ一連のパッケージをインストールします。
- **ステップ5** ステップ2で作成したバックアップファイルを使用して、リモートリポジトリのデータを復元します。
- ステップ6次のとおりクラスタ内の2番目と3番目のアプライアンスを設定します。
  - Maglev 設定ウィザードを使用するアプライアンスを設定している場合は「Maglev ウィザードを使用したアドオンノードの設定(112ページ)」を参照してください。

- ・ブラウザベースの設定ウィザードを使用してアプライアンスを設定する場合は、お使いのアプライアンスに特化した「ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定」を参照してください。
  - •ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定
  - •ブラウザベースのウィザードを使用したアドオンノードの設定

### サービスの再配布

Cisco DNA Center の HA の実装については『*Cisco Digital Network Architecture Center* 管理者ガ イド』を参照してください。最初にこの情報を確認してから、実稼働環境にHAを展開するか どうかを決定するようお勧めします。展開を選択する場合は、次のとおりクラスタノード間で サービスを再配布することによって HA の動作を最適化します。

1. ホームページで [\*] をクリックし、[システム設定(System Settings)]を選択します。

[システム360 (System 360)] タブは、デフォルトで表示されます。

**2.** [ホスト (Hosts)]領域で、[サービス配布の有効化 (Enable Service Distribution)]をクリックします。

[サービス配布の有効化(Enable Service Distribution)]をクリックすると、Cisco DNA Center がメンテナンスモードになります。このモードではサービスの再配布が完了するまで Cisco DNA Centerを使用できません。HA 展開のスケジュールを設定する場合は、このことを考慮す る必要があります。



(注) Cisco DNA Center は、データベースの復元、システムアップグレード(パッケージアップグレードではない)の実行、HAのサービス再配布の有効化を実行するたび、(前述のとおり)メンテナンスモードになります。

### HAの展開に関する追加の考慮事項

既存の HA の導入では、次の追加設定を行う必要があります。

(注) 既知のHAのバグと回避策については、『Cisco Digital Network Architecture Center リリースノート』の「未解決のバグ - HA」を参照してください。

### テレメトリ

(VIP を有効にせずに)デバイスのテレメトリを有効にした場合には、次の手順を実行します。

ステップ1 maglev-config update コマンドを使用して、クラスタ VIP を更新します。

**ステップ2** デバイスでテレメトリを無効にします。

- Cisco DNA Center ホームページで [Tools] エリアの [Network Telemetry] を選択します。
   [Telemetry] ウィンドウが表示されます。
- 2. [Site View] タブをクリックします。
- 3. テレメトリを無効にするデバイスのチェックボックスをオンにします。次に、[Actions] > [Disable Telemetry] を選択します。

ステップ3 以前デバイスに関連付けたプロファイルを使用して、テレメトリをもう一度有効にします。

### ワイヤレス コントローラ

ネットワーク内のワイヤレスコントローラを Cisco DNA Center の新しい VIP で更新する必要があります。